

令和5年度
第3期新庄市子ども・子育て支援事業計画
策定に関するニーズ調査

結果報告書

令和6年3月

新 庄 市

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

II. 調査結果

II-1 就学前児童

1. お住まいの地域について【問 1】	3
2. お子さんと家族の状況について【問 2～6】	3
3. 子どもの育ちをめぐる環境について【問 7～11】	6
4. 保護者の就労状況について【問 12～14】	10
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について【問 15～16】	17
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について【問 17～19】	24
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望について【問 20～21】	29
8. 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）【問 22～23】	31
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について【問 24～26】	35
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について【問 27～31】	38
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について【問 32】	42
12. 地域の子育て支援事業の利用状況について【問 33】	48
13. 子育て支援に関する情報について【問 34】	49
14. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について【問 35～36】	50

II-2 小学生児童

1. お住まいの地域について【問 1】	57
2. お子さんと家族の状況について【問 2～6】	57
3. 子どもの育ちをめぐる環境について【問 7～10】	60
4. 保護者の就労状況について【問 11～13】	63
5. 病気の際の対応について【問 14～16】	70
6. 放課後の過ごし方について【問 17～21】	76
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について【問 22】	80
8. 子育て支援に関する情報について【問 23】	85
9. 地域の子育て支援事業の利用状況について【問 24】	86

10. 宛名のお子さんご本人への設問【問 25】	87
11. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について【問 26～27】	89

Ⅲ. ニーズ量の推計

Ⅲ－１. ニーズ量の推計	97
1. 家庭類型の分類	98
2. 児童人口の推計	99
3. ニーズ量の推計	100

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援法第61条に規定する子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和7～11年度）を策定するための基礎資料として、各種保育サービス等のニーズを把握するため、ニーズ調査を実施する。

2. 調査の項目

（1）就学前児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用される方のみ）
- ⑨不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑫地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑬子育て支援に関する情報について
- ⑭本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

（2）小学生児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤病気の際の対応について
- ⑥放課後の過ごし方について
- ⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑧子育て支援に関する情報について
- ⑨地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑩宛名のお子さんご本人への設問
- ⑪本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

3. 調査の設計

- (1) 調 査 地 域 : ①就学前児童：新庄市全域
②小学生児童：新庄市全域
- (2) 調 査 対 象 : ①就学前児童の保護者 ②小学生児童の保護者
- (3) 標 本 数 : ①就学前児童： 9 4 2 名
②小学生児童： 1, 0 0 0 名
- (4) 抽 出 方 法 : ①就学前児童：全員調査
②小学生児童：無作為抽出法
ただし同一世帯に複数の調査対象者がいる場合は末子を優先
- (5) 調 査 方 法 : 郵送によるアンケート調査
- (6) 調 査 期 間 : 令和5年12月

4. 回収結果

- (1) 回 答 数 (率) : ①就学前児童：4 8 9 件 (5 1 . 9 %)
②小学生児童：4 9 0 件 (4 9 . 0 %)
- (2) 有 効 数 (率) : 同上

5. 報告書の見方

- (1) 図表の中の全体とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は回答者総数全体（該当質問においては該当者数）に占める質問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 1つの質問において2つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはずすなど、参考として傾向をみるにとどめている。
- (5) 図表で、「無回答」を一部省略して表しているために、合計が合致しない場合がある。
- (6) 図表等で、選択肢等の語句を一部簡略化して表している。

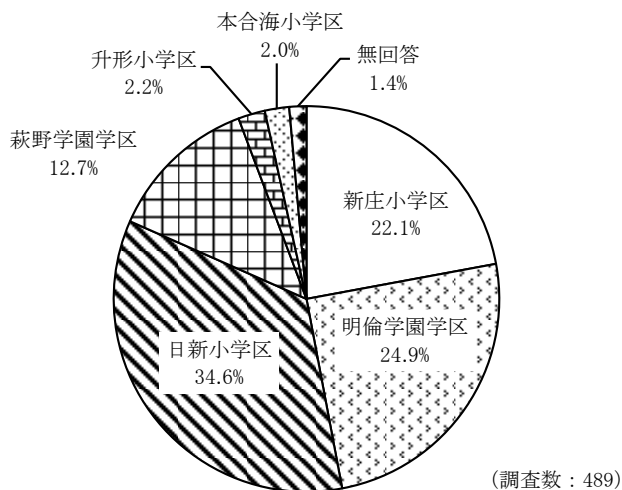
Ⅱ 調査結果

Ⅱ－１ 就学前児童

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

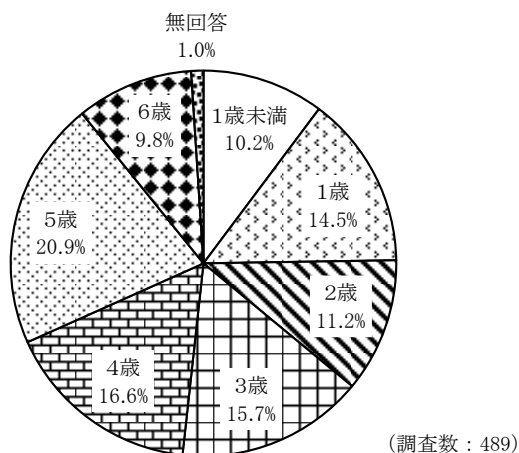


住まいの地区では、「日新小学区」(34.6%) が最も多く、次いで「明倫学園学区」(24.9%)、「新庄小学区」(22.1%) となっている。

2. お子さんと家族の状況について

(1) お子さんの生年月（年齢）【問2】

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

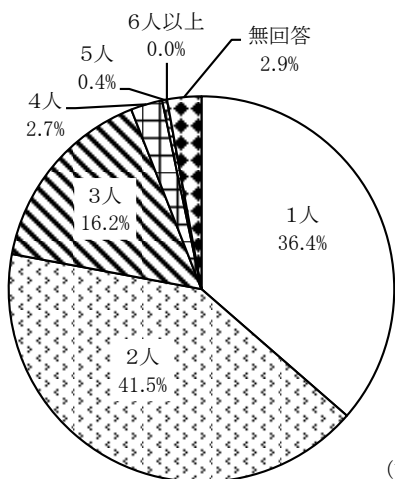


子どもの生年月から年齢をみると、「5歳」(20.9%) が最も多く、次いで「4歳」(16.6%)、「3歳」(15.7%) となっている。

※年齢算出基準は、抽出時点（令和5年11月）とする。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。



(調査数: 489)

子どもの人数では、「2人」(41.5%)が最も多く、次いで「1人」(36.4%)、「3人」(16.2%)となっている。

また、子どもが2人以上いる方の末子の年齢では、「1歳」(15.8%)が最も多く、次いで「5歳」(15.2%)、「0歳」(13.8%)となっている。

【末子の年齢】[2人以上のお子さんがいらっしゃる場合]

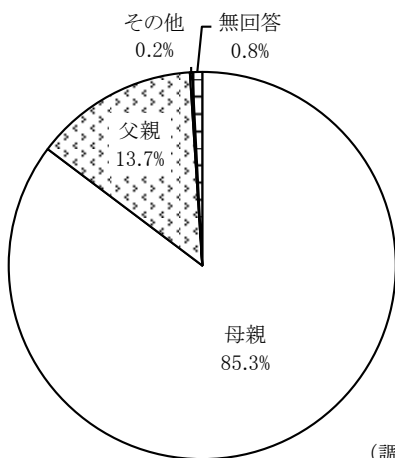
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	無回答	合 計
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳		
構成比	13.8%	15.8%	10.4%	13.1%	12.1%	15.2%	9.1%	10.4%	100.0%

(調査数: 297)

(3) この調査票にご回答いただく方（宛名のお子さんからみた関係）【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

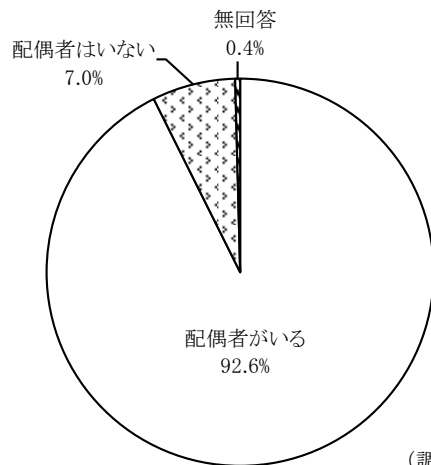


(調査数: 489)

調査の回答者では、「母親」が85.3%、「父親」が13.7%となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

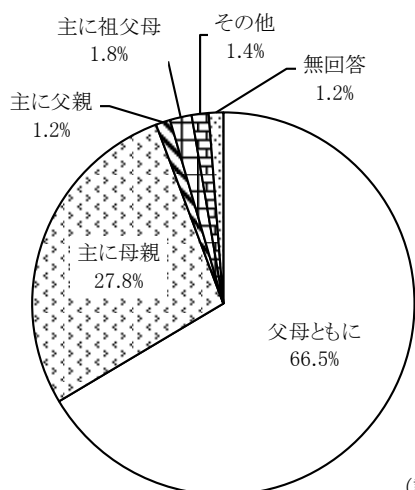


(調査数：489)

配偶者の有無では、「配偶者がいる」が92.6%、「配偶者がいない」が7.0%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



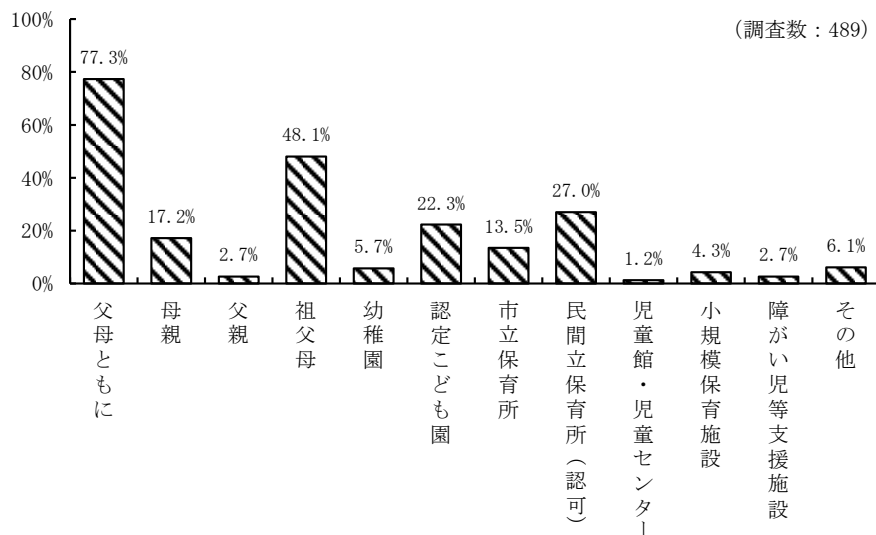
(調査数：489)

子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(66.5%)が最も多く、次いで「主に母親」(27.8%)となっている。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）【問7】

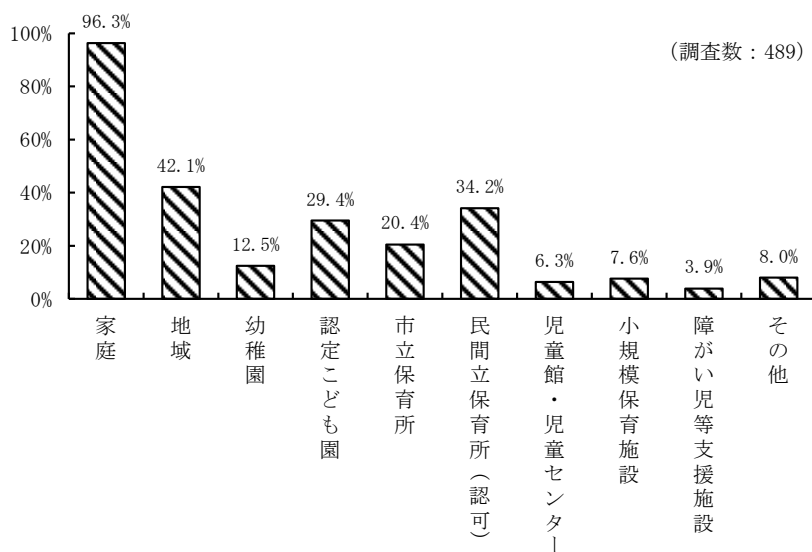
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係（人や施設）で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）では、「父母ともに」が77.3%と最も多く、次いで「祖父母」（48.1%）、「民間立保育所（認可）」（27.0%）となっている。

(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境【問8】

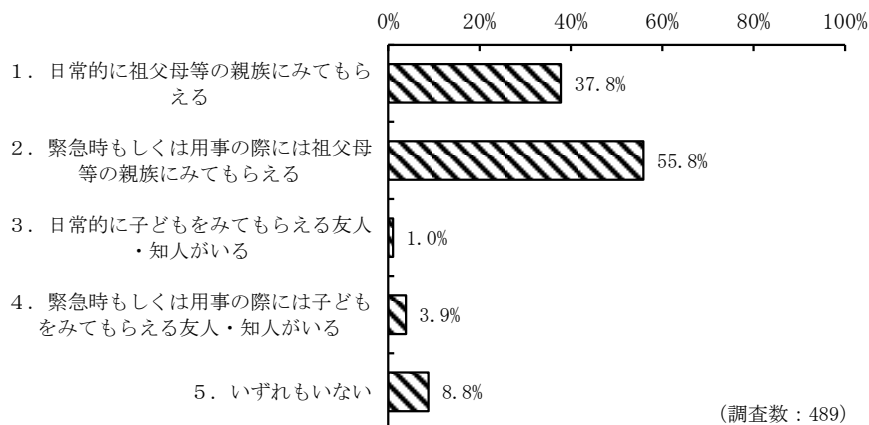
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境では、「家庭」が96.3%と最も多く、次いで「地域」（42.1%）、「民間立保育所（認可）」（34.2%）となっている。

（３）日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問９】

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

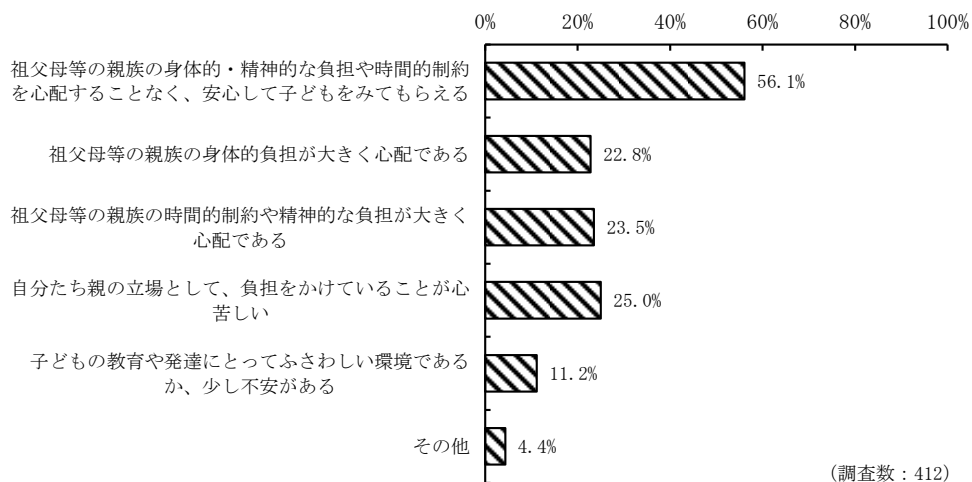


日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(37.8%)となっている。

一方、「いずれもない」という回答も8.8%ある。

（４）祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況【問9-1】

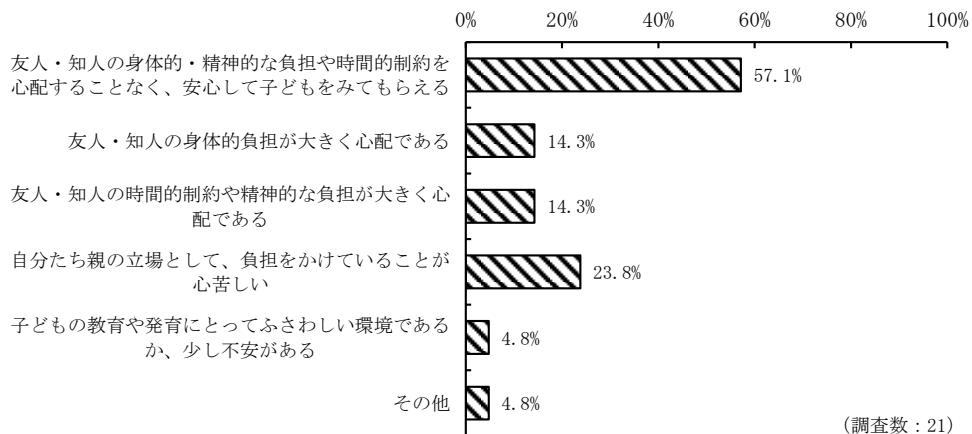
問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況では、56.1%が「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.0%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.5%)と心配や心苦しいという回答や、「祖父母も仕事をしているのでタイミングが合わないと見てもらえない」などの回答もある。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況【問9-2】

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

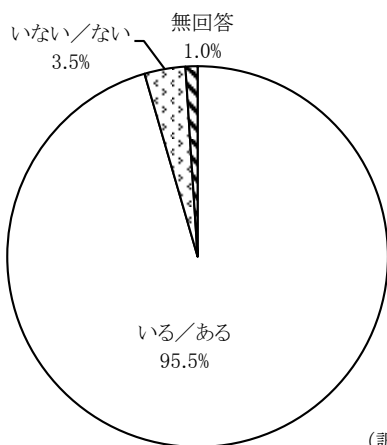


友人・知人に子どもをみてもらっている状況では、57.1%が「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(23.8%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(ともに 14.3%) と心配や心苦しいという回答もある。

(6) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、

気軽に相談できる人や場所の状況【問10】

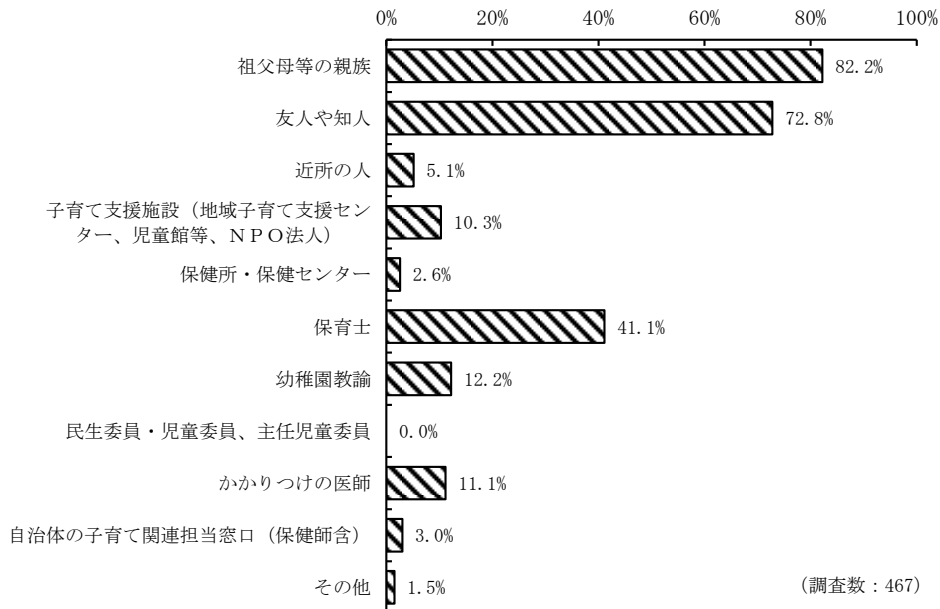
問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、95.5%が「いる／ある」と回答している。

(7) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問 10-1】

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「祖父母等の親族」が 82.2%と最も多く、次いで「友人や知人」（72.8%）、「保育士」（41.1%）、その他記載として、インターネットや SNS などの回答となっている。

(8) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問 11】

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

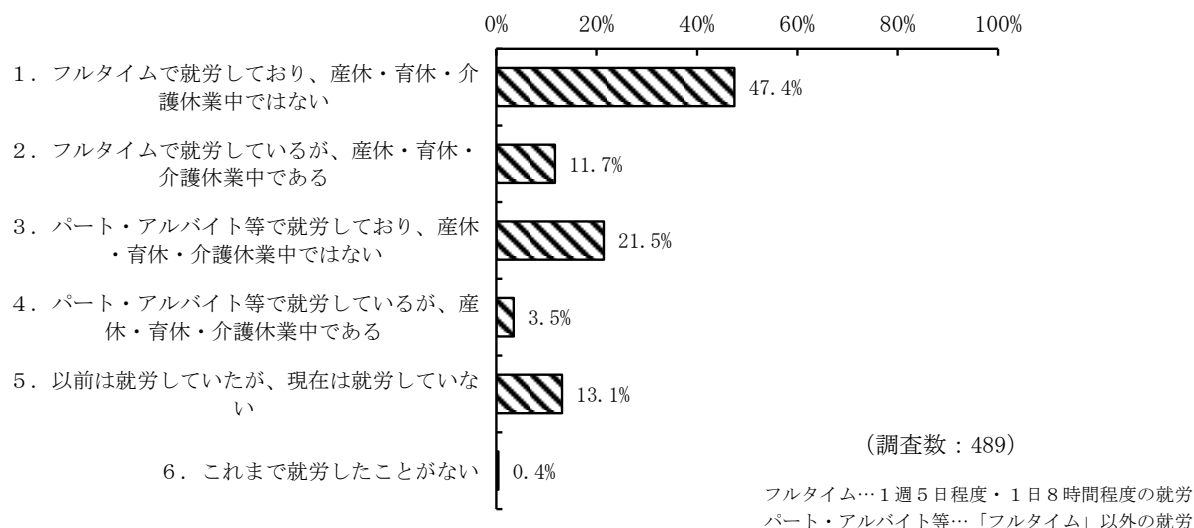
分 類	件 数	構成比
相談できるサポート	34	14.7%
金銭的なサポート	25	10.8%
病児に対するサービス	24	10.3%
一時預かりサポート	21	9.1%
医療関係のサポート	14	6.0%
情報発信のサポート	11	4.7%
保育園・認定こども園サポート	9	3.9%
体調不良時のサポート	9	3.9%
イベント・交流の場のサポート	9	3.9%
遊び場のサポート	9	3.9%
家事代行等サポート	8	3.4%
土日保育サポート	7	3.0%
行政のサポート	5	2.2%
訪問等支援サポート	4	1.7%
学童サポート	3	1.3%
発達支援のサポート	3	1.3%
見守りサポート	3	1.3%
職場のサポート	3	1.3%
その他	17	7.3%
特にサポートは不要：満足	7	3.0%
特になし	7	3.0%
合 計	232	

子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）へ望むサポートをたずねたところ、232 件の意見が寄せられ、「相談できるサポート」に関する記述が 14.7%と最も多くなっている。

4. 保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 12(1)】

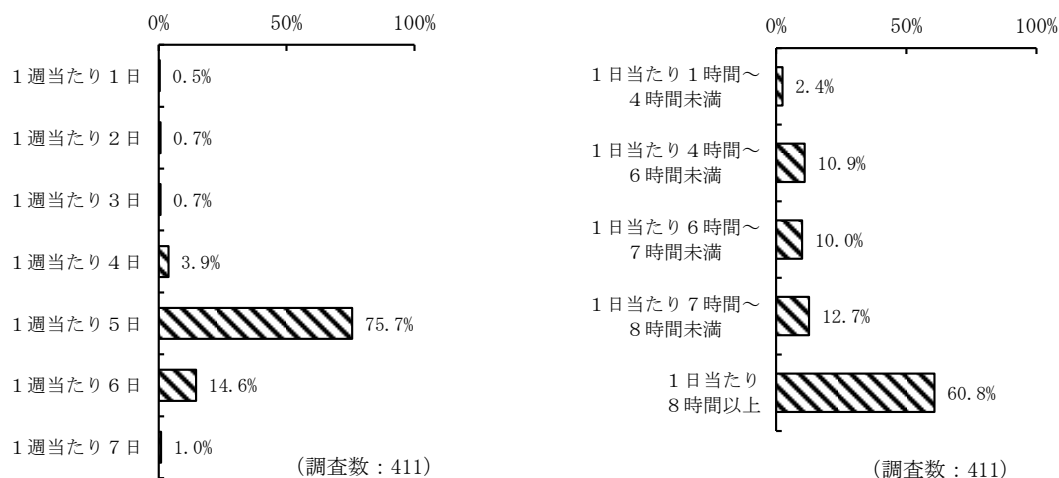
問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（21.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（13.1%）となっている。

(2) 母親の就労日数、就労時間について【問 12(1)-1】

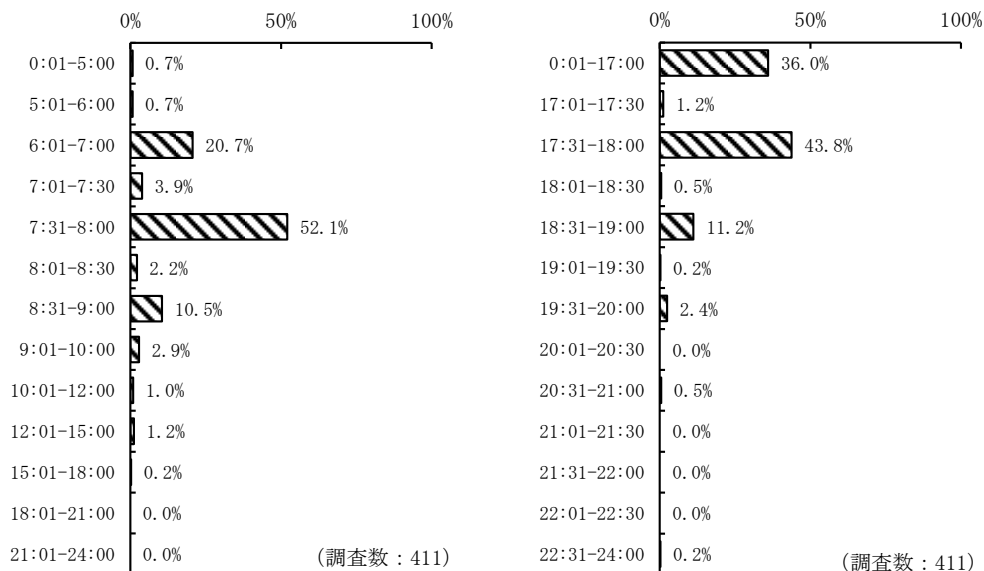
問 12(1)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が75.7%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が60.8%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(1)-2】

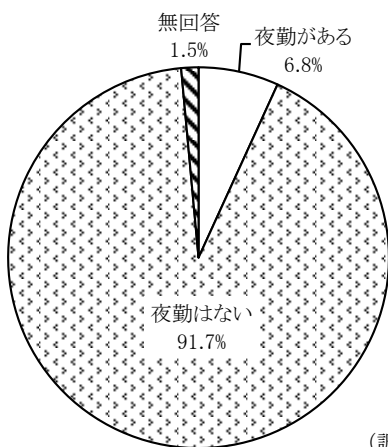
問 12(1)-2 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「7 時 31 分～8 時」が 52.1%と最も多く、帰宅時間では、「17 時 31 分～18 時」が 43.8%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無【問 12(1)-3】

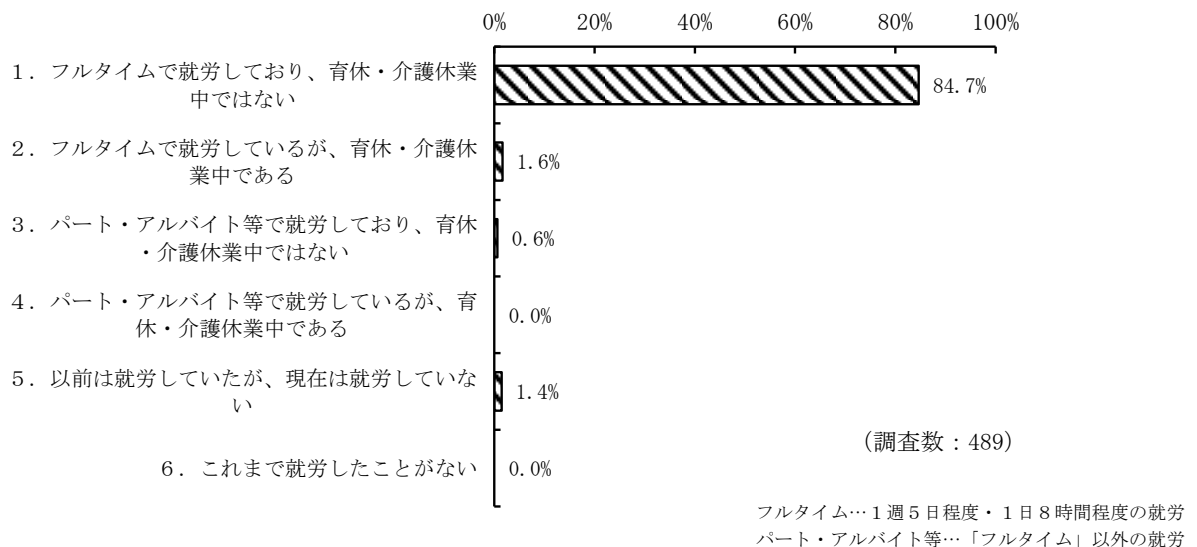
問 12(1)-3 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が 6.8%、「夜勤はない」が 91.7%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況〔母子家庭の場合は記入は不要〕【問 12(2)】

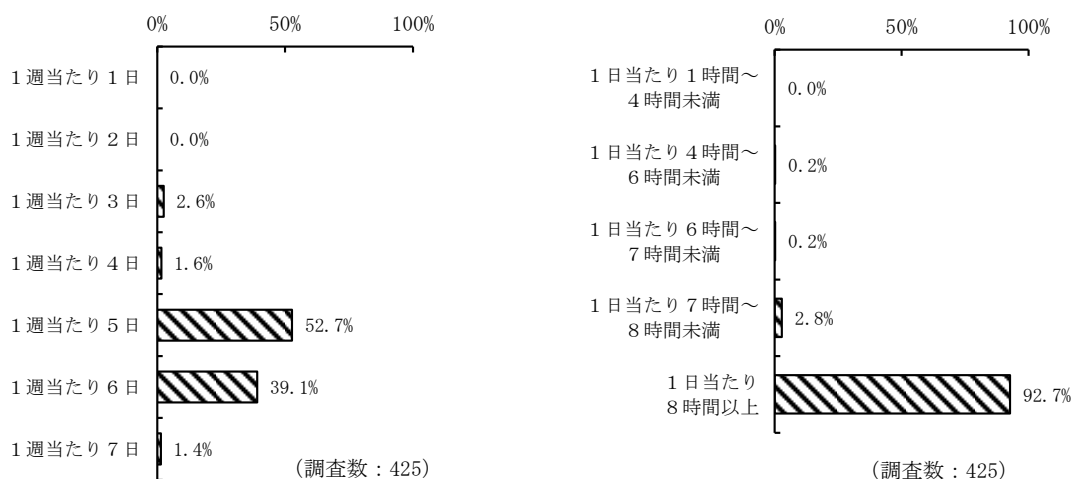
問 12(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.7%と最も多く、8割以上となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 12(2)-1】

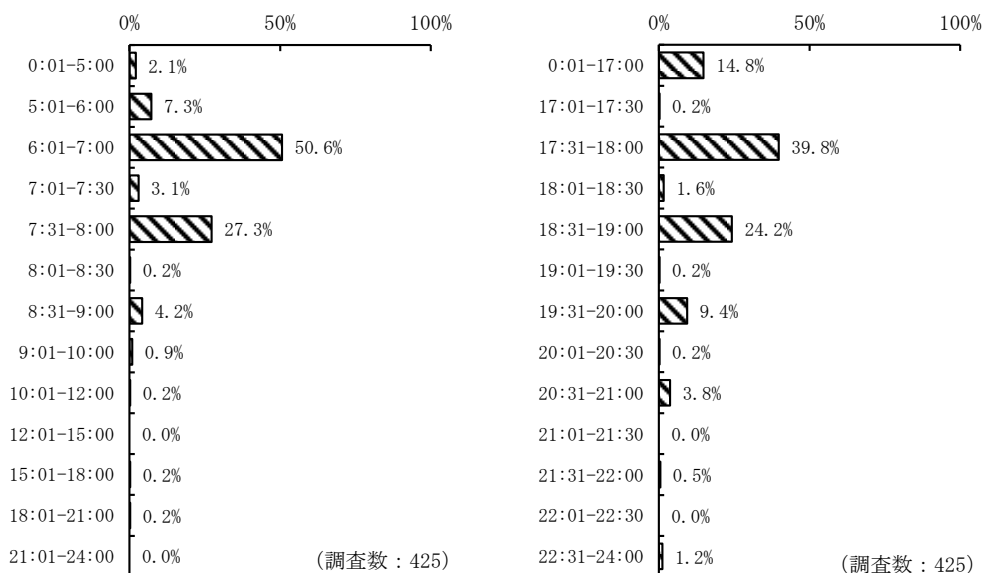
問 12(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が52.7%と最も多く、次いで「6日」(39.1%)となっている。1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が92.7%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(2)-2】

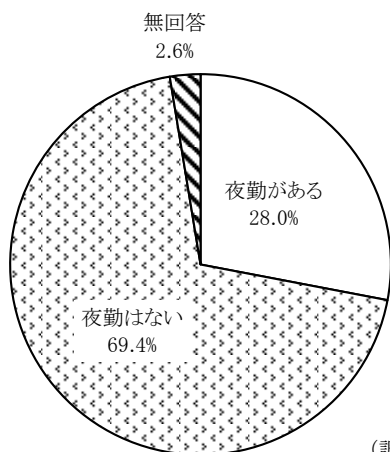
問 12(2)-2 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「6 時 1 分～7 時」が 50.6%と最も多く、帰宅時間では、「17 時 31 分～18 時」が 39.8%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無【問 12(2)-3】

問 12(2)-3 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無をお答えください。

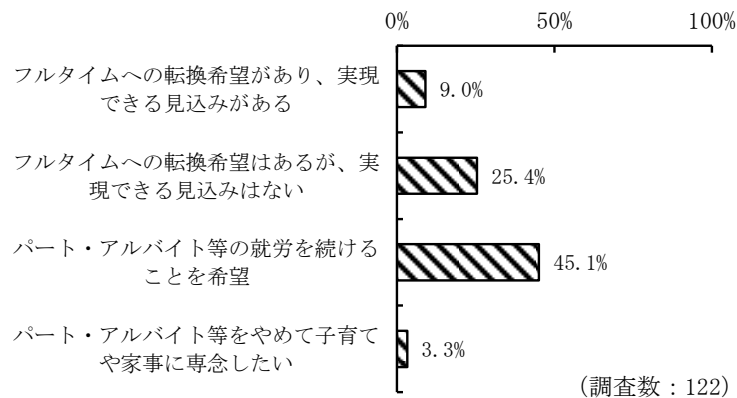


(調査数：425)

夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が 28.0%、「夜勤はない」が 69.4%となっている。

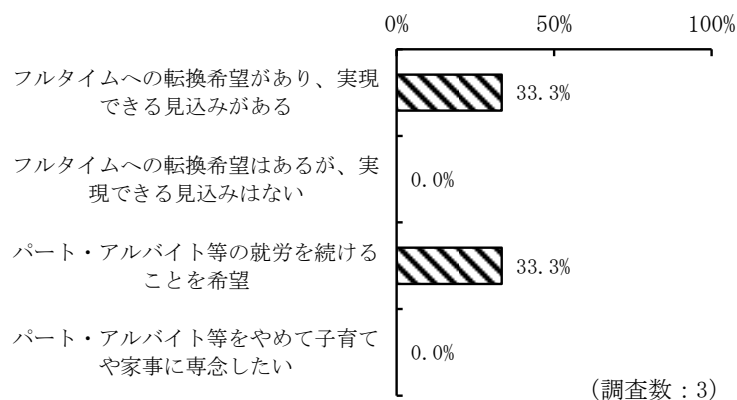
問 13 問 12 の（１）または（２）で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（９）母親のフルタイムへの転換希望【問 13(1)】



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 45.1%と最も多く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（25.4%）となっている。

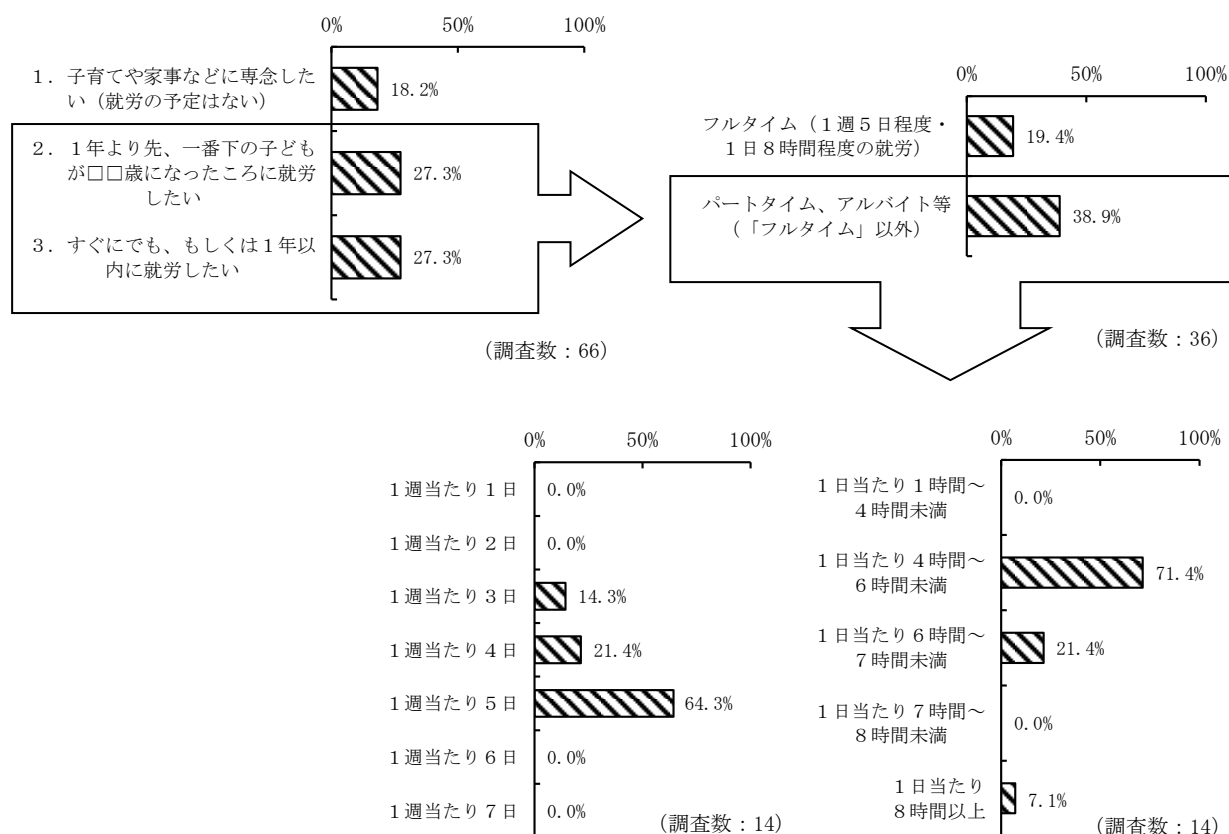
（10）父親のフルタイムへの転換希望【問 13(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」がともに 33.3%となっている。

問 14 問 12 の（１）または（２）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ１つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

（11）母親の就労希望【問 14(1)】



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】[問14(1)で2を選択]

（単一回答）

	1	2	3	4	5	無回答	合 計
	1 歳～2 歳	3 歳～5 歳	6 歳～8 歳	9 歳～11 歳	12 歳以上		
構成比	16.7%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%

（調査数：18）

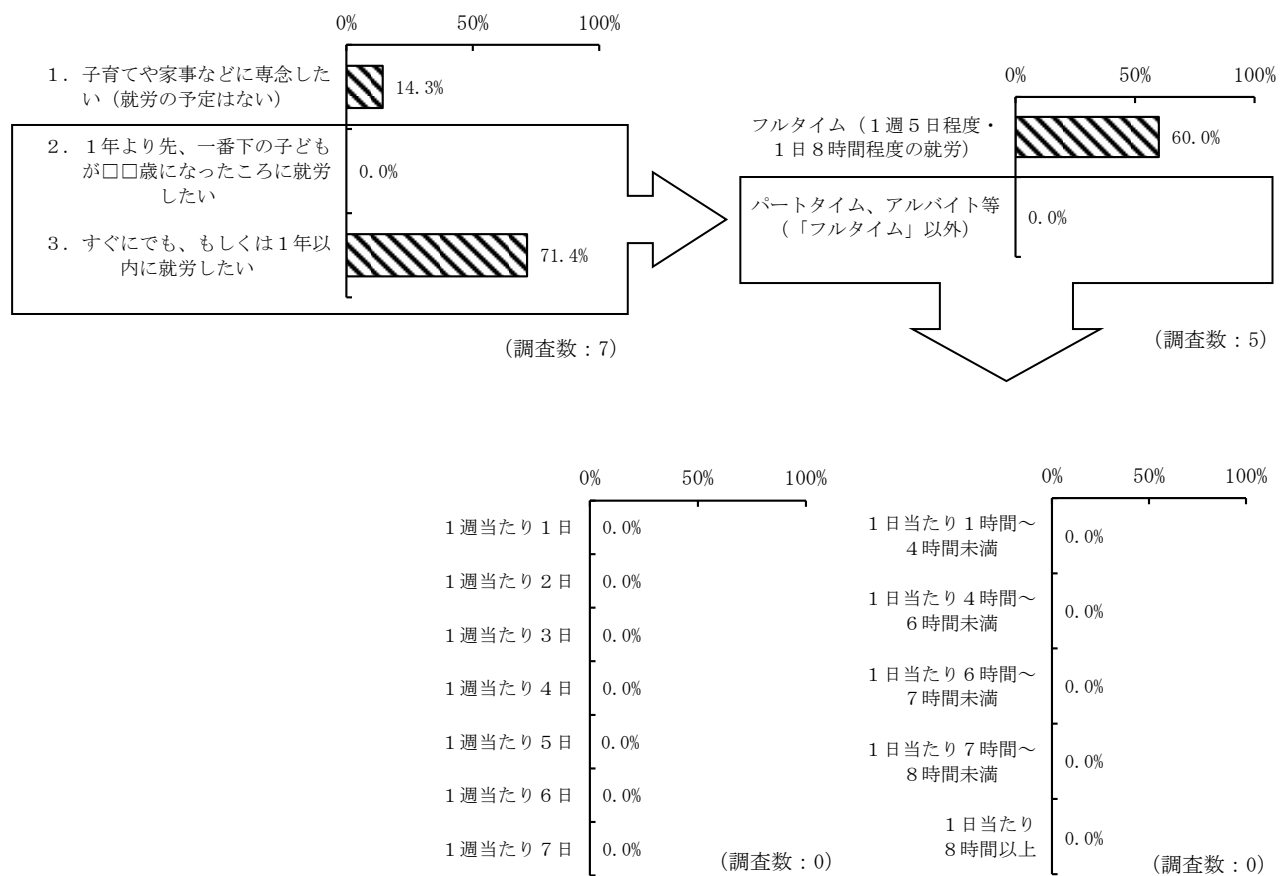
現在就労していない母親の就労希望では、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」（「3歳～5歳」が最も多い）、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに27.3%と最も多く、5割以上の就労希望がある。

希望する就労形態では、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」（38.9%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（19.4%）となっている。

パートタイム・アルバイト等による就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「5日」が64.3%と最も多くなっている。

また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が71.4%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 14(2)】



現在就労していない父親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が71.4%となっている。

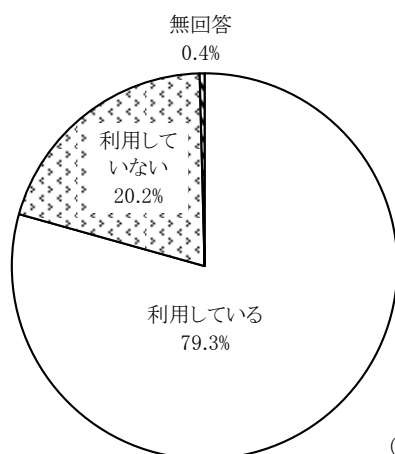
希望する就労形態では、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が60.0%となっている。

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

(1) 現在の教育・保育事業の利用状況【問 15】

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

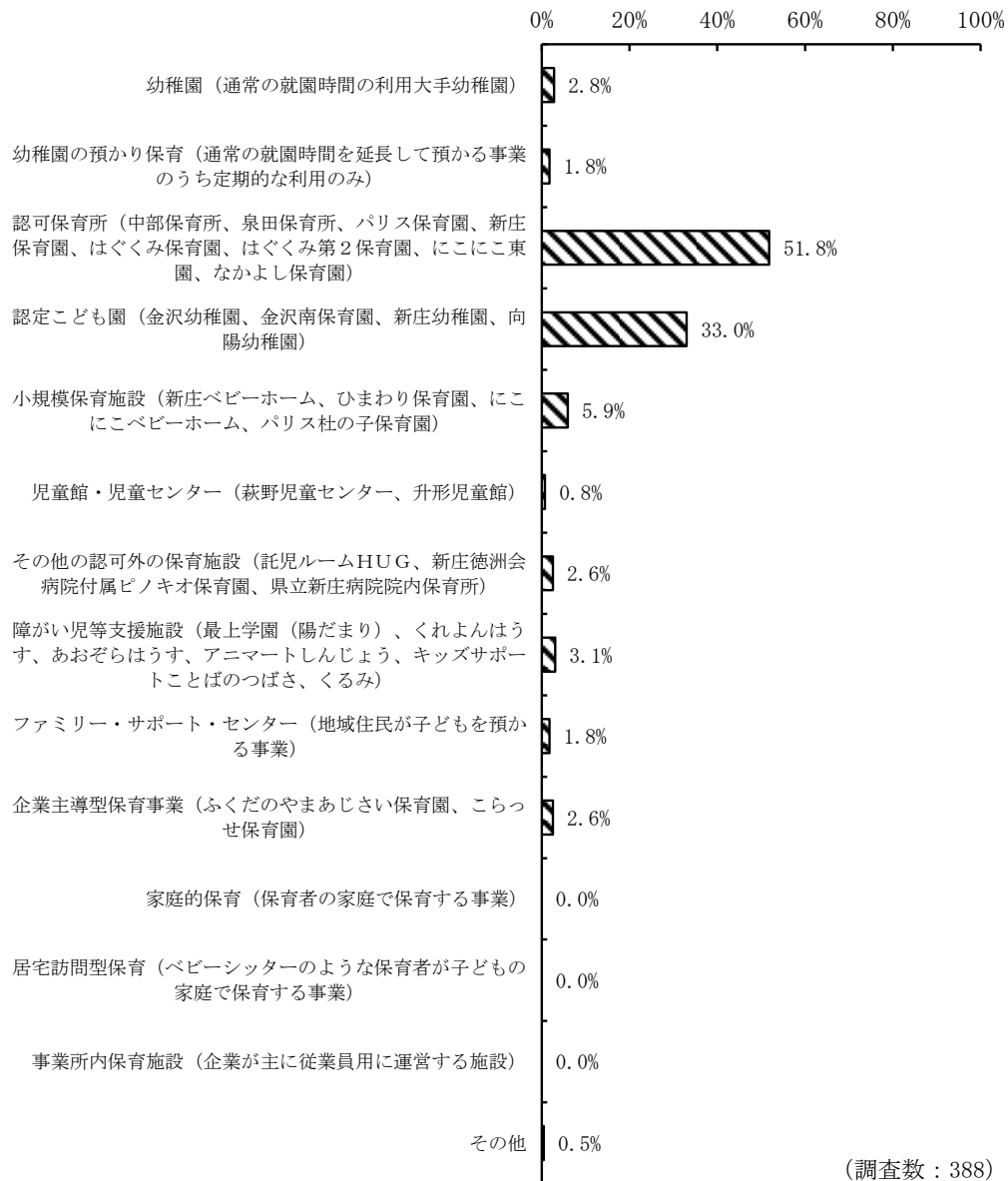


(調査数：489)

現在の教育・保育事業の利用状況では、「利用している」が 79.3%、「利用していない」が 20.2%となっている。

(2) 現在、利用している教育・保育事業【問 15-1】

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

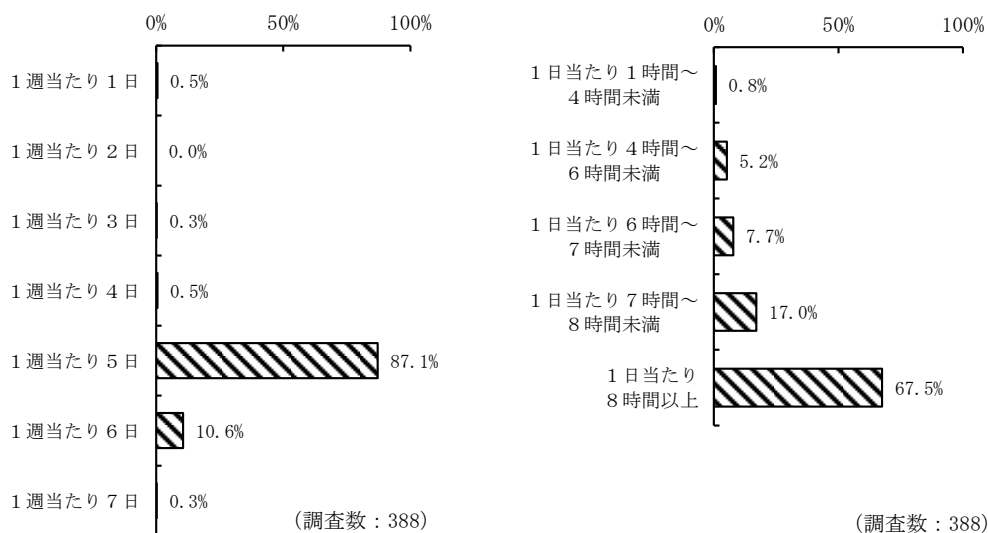


注：上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しています。

現在利用している教育・保育事業では、「認可保育所（中部保育所、泉田保育所、パリス保育園、新庄保育園、はぐくみ保育園、はぐくみ第2保育園、にこにこ東園、なかよし保育園）」が51.8%と最も多く、次いで「認定こども園（金沢幼稚園、金沢南保育園、新庄幼稚園、向陽幼稚園）」(33.0%)となっている。

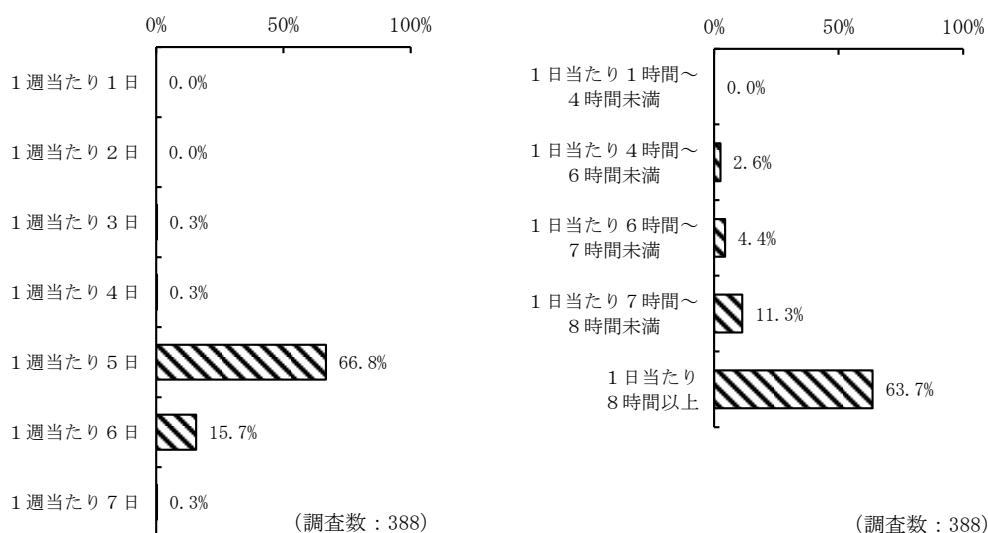
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何
時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

（３）現在、教育・保育事業を利用している日数・時間【問 15-2(1)】



現在利用している教育・保育事業の 1 週当たりの利用日数では、「5 日」が 87.1%と最も多く、1 日当たりの利用時間では、「8 時間以上」が 67.5%と最も多くなっている。

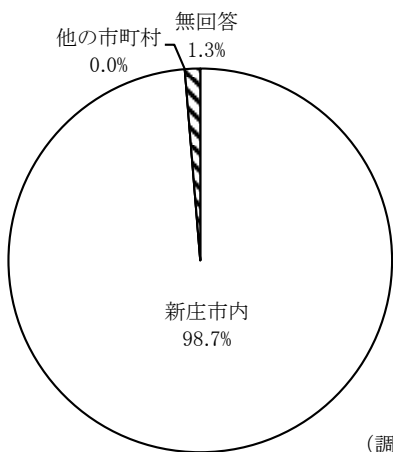
（４）希望する教育・保育事業の利用日数・時間【問 15-2(2)】



希望する教育・保育事業の 1 週当たりの利用日数では、「5 日」が 66.8%と最も多く、1 日当たりの利用時間では、「8 時間以上」が 63.7%と最も多くなっている。

(5) 現在、利用している教育・保育事業の場所【問 15-3】

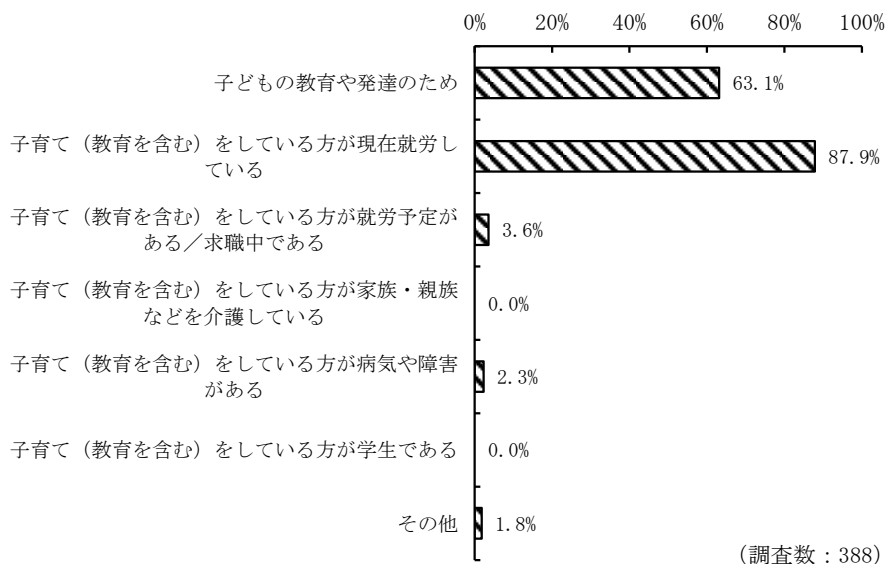
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



現在利用している教育・保育事業の場所では、「新庄市内」が 98.7%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用している。

(6) 教育・保育事業を利用している理由【問 15-4】

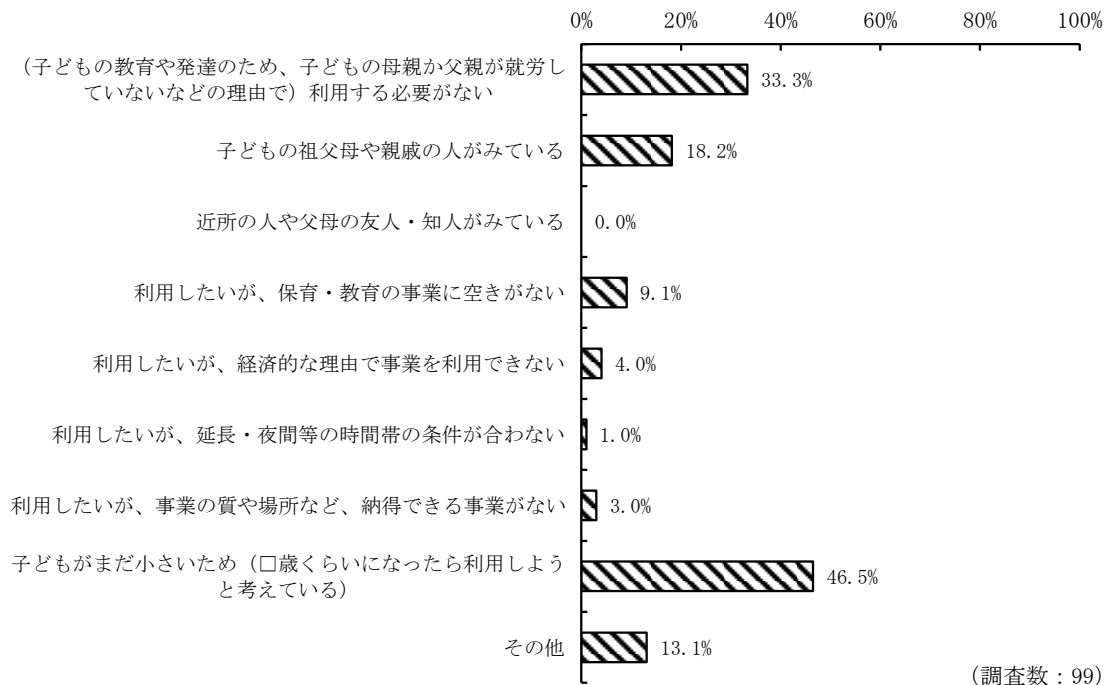
問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



教育・保育事業を利用している理由では、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 87.9%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（63.1%）となっている。

(7) 教育・保育事業を利用していない理由【問 15-5】

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



【子どもがまだ小さいためと回答した者のうち、利用しようと考えている年齢】

(単一回答)

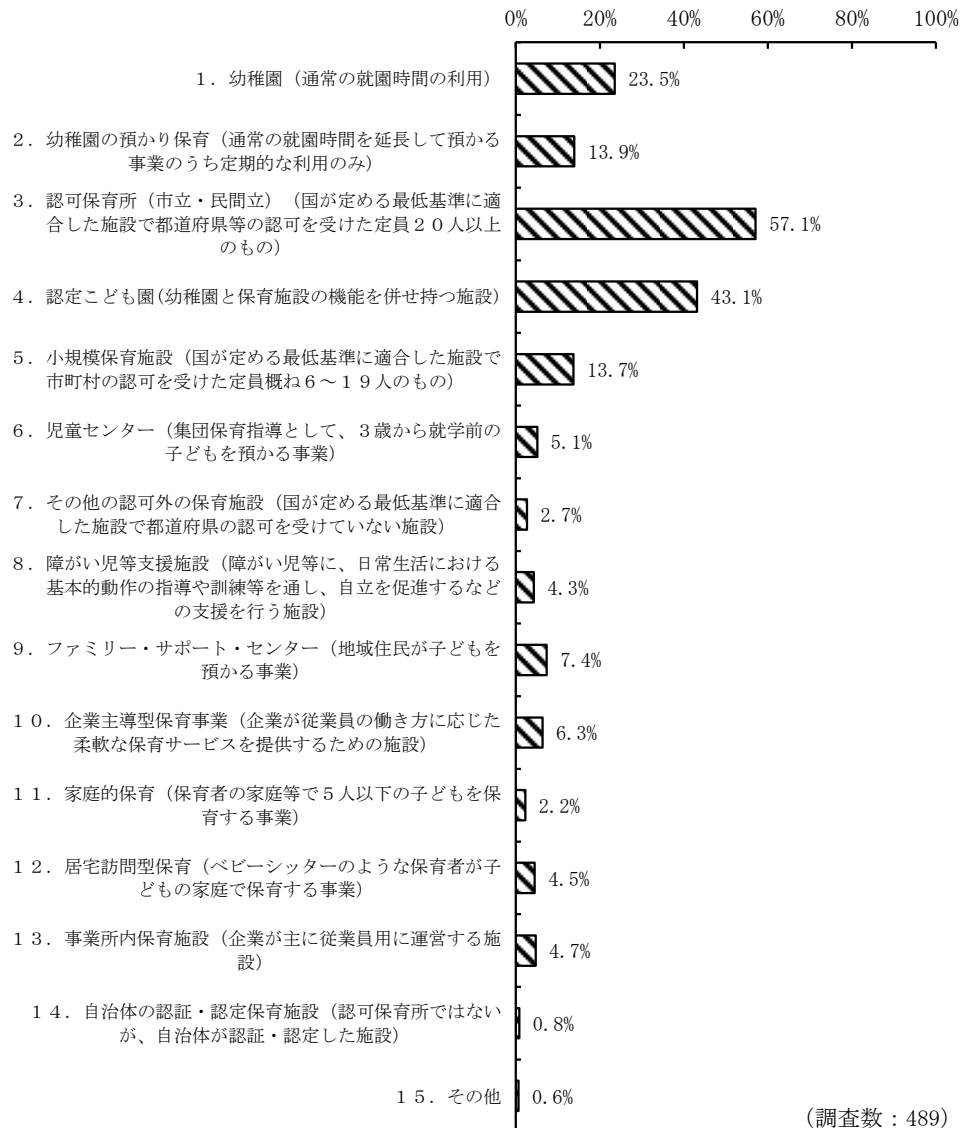
	1	2	3	4	無回答	合 計
	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳		
構成比	39.1%	13.0%	34.8%	8.7%	4.3%	100.0%

(調査数: 46)

教育・保育事業を利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため (□歳くらいになったら利用しようと考えている)」「1 歳」がもっとも多い) が 46.5% と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」(33.3%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(18.2%) となっている。

(8) 利用したい教育・保育事業【問 16】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

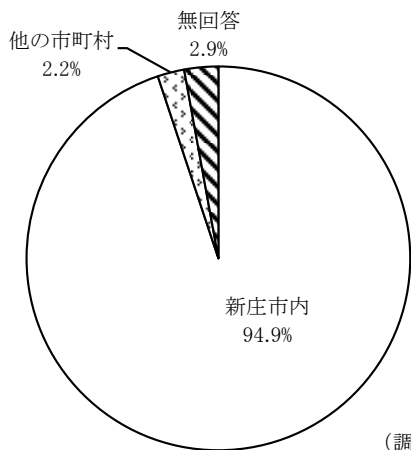


注：上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しています。

利用したい教育・保育事業では、「認可保育所（市立・民間立）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が57.1%と最も多く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」（43.1%）、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（23.5%）となっている。

(9) 教育・保育事業を利用したい場所【問 16-1】

問 16-1 教育・保育の事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

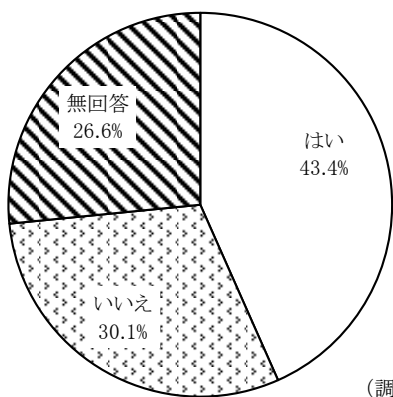


教育・保育事業を利用したい場所では、「新庄市内」が 94.9%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用したいと考えている。

(10) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）

の利用を強く希望【問 16-2】

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～15 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

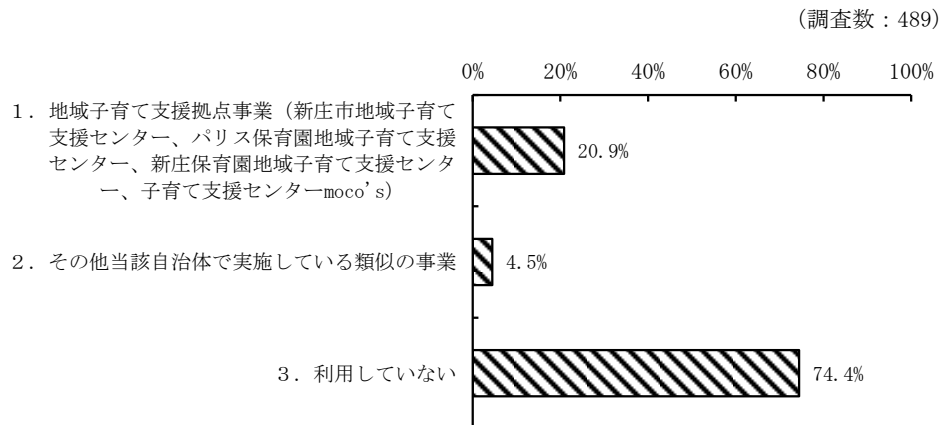


特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望では、「はい」が 43.4%、「いいえ」が 30.1%となっている。

6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況【問17】

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センターなどの、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業です）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センター、パリス保育園地域子育て支援センター、新庄保育園地域子育て支援センター、子育て支援センターmoco's）」が20.9%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が4.5%となっている。

一方、「利用していない」は74.4%となっている。

【地域子育て支援拠点事業 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数】【問17で1を選択】

(単一回答)

1週 当たり		1 1回	2 2回	3 3回	4 4回	5 5回	6 6回	7 7回	合 計
	件 数	17	8	2	3	2	1	0	33
	構成比	51.5%	24.2%	6.1%	9.1%	6.1%	3.0%	0.0%	100.0%
1ヶ月 当たり		1 1回～5回	2 6回～10回	3 11回～15回	4 16回～20回	5 21回～31回	合 計		
	件 数	76	3	1	0	1	81		
	構成比	93.8%	3.7%	1.2%	0.0%	1.2%	100.0%		

※無回答2件

【その他当該自治体で実施している類似の事業 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数】【問17で2を選択】

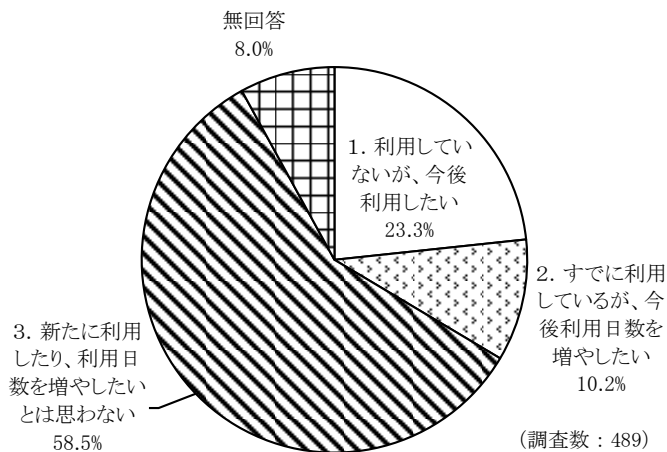
(単一回答)

1週 当たり		1 1回	2 2回	3 3回	4 4回	5 5回	6 6回	7 7回	合 計
	件 数	3	1	0	0	0	0	0	4
	構成比	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1ヶ月 当たり		1 1回～5回	2 6回～10回	3 11回～15回	4 16回～20回	5 21回～31回	合 計		
	件 数	20	0	0	0	0	20		
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

※無回答1件

(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望について【問18】

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望では、「利用していないが、今後利用したい」(23.3%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(10.2%)と利用希望は3割を超える。

【利用していないが、今後利用したい 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数】[問18で1を選択]

(単一回答)

1週当たり		1 1回	2 2回	3 3回	4 4回	5 5回	6 6回	7 7回	合 計
	件 数	27	6	1	0	1	1	0	36
	構成比	75.0%	16.7%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	100.0%
1ヶ月当たり		1 1回～5回	2 6回～10回	3 11回～15回	4 16回～20回	5 21回～31回	合 計		
	件 数	89	3	0	0	1	93		
	構成比	95.7%	3.2%	0.0%	0.0%	1.1%	100.0%		

※無回答9件

【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数】[問18で2を選択]

(単一回答)

1週当たり		1 1回	2 2回	3 3回	4 4回	5 5回	6 6回	7 7回	合 計
	件 数	13	3	1	1	0	0	0	18
	構成比	72.2%	16.7%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1ヶ月当たり		1 1回～5回	2 6回～10回	3 11回～15回	4 16回～20回	5 21回～31回	合 計		
	件 数	37	1	0	1	0	39		
	構成比	94.9%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	100.0%		

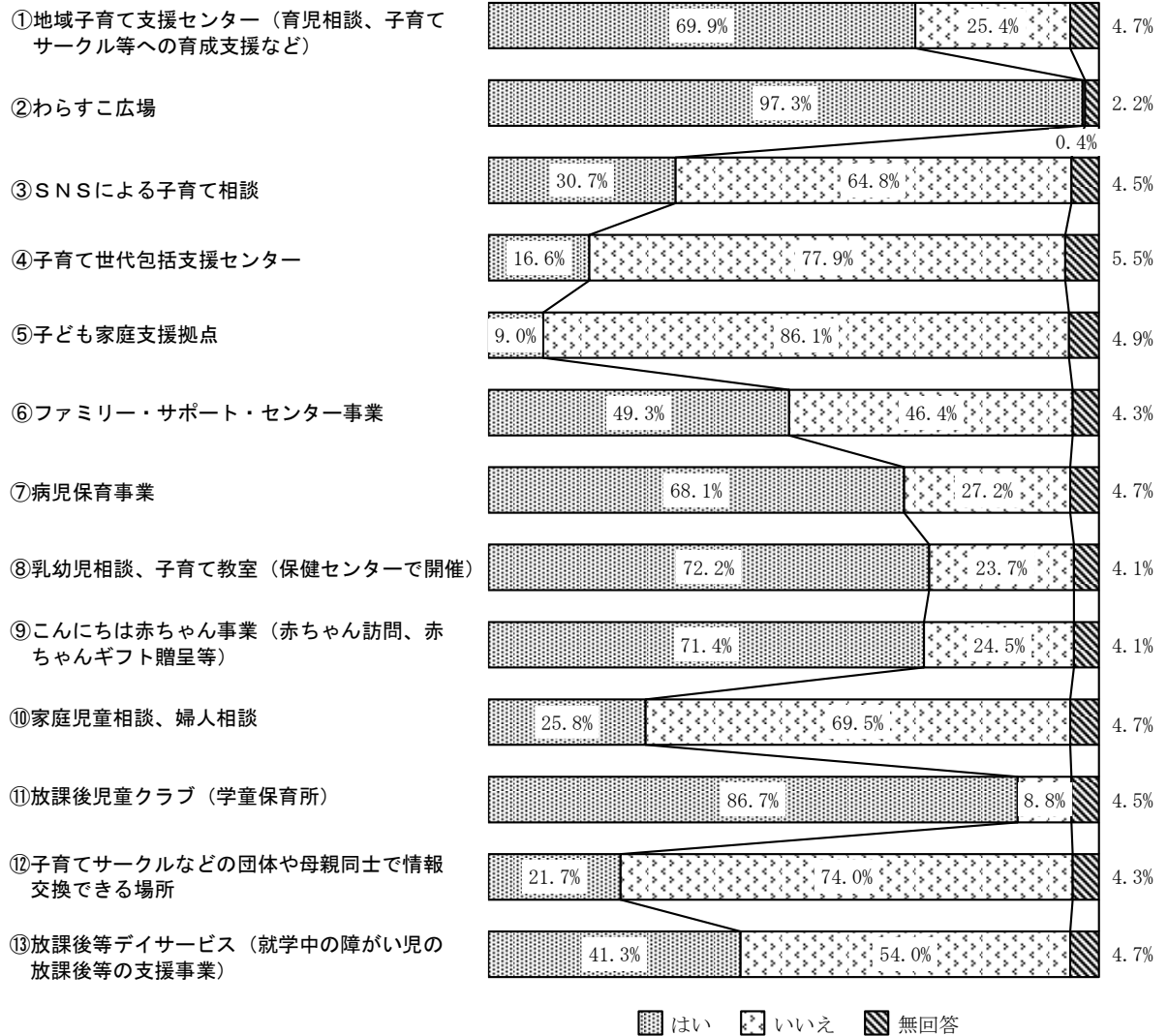
※無回答1件

(3) 本市で行っている事業の認識度、利用の有無、今後の利用希望について【問 19】

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A知っている】

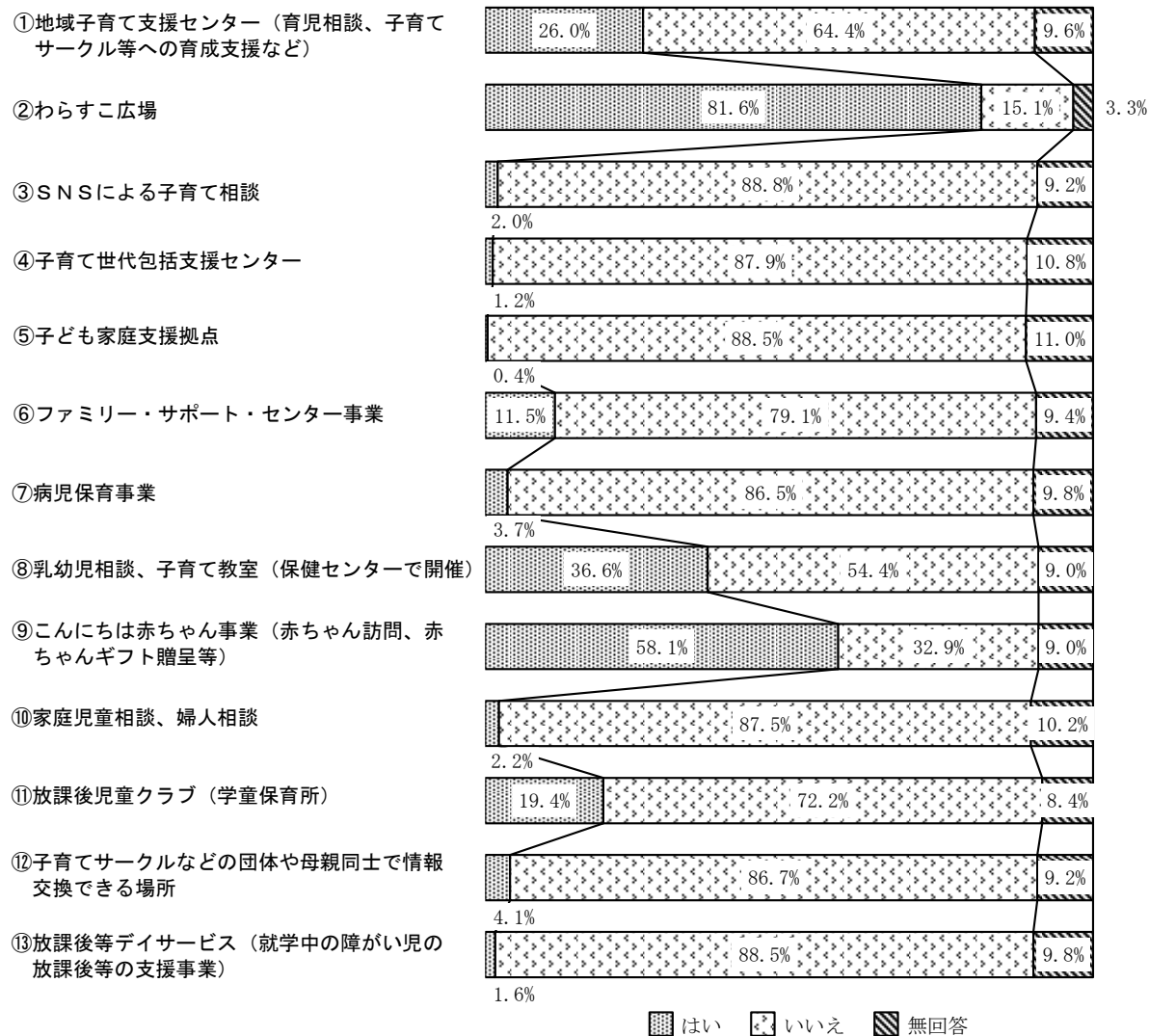
(調査数：489)



事業の認識度では、「わらすこ広場」が97.3%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育所）」(86.7%)、「乳幼児相談、子育て教室（保健センターで開催）」(72.2%)となっている。

【B これまでに利用したことがある】

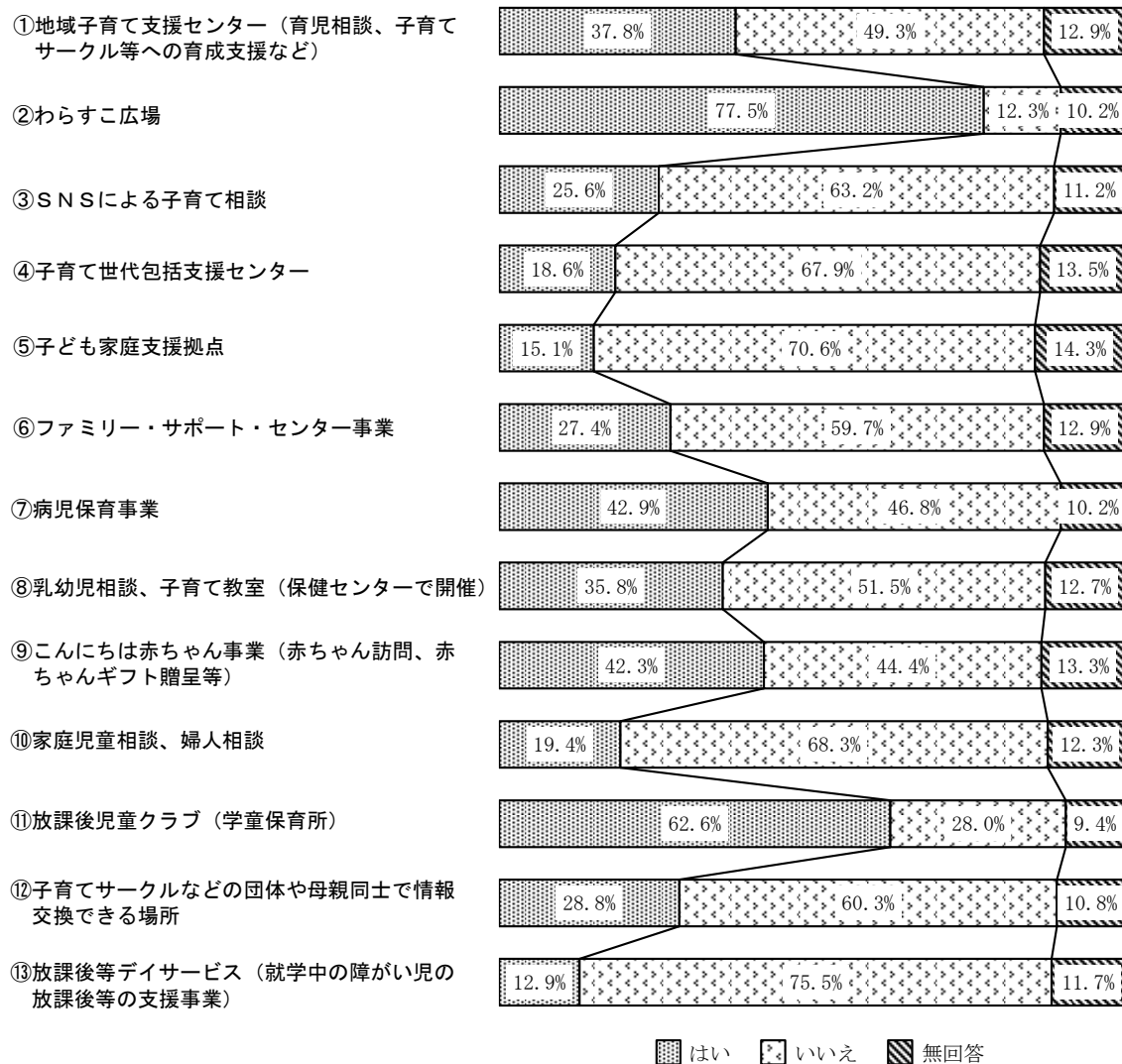
(調査数：489)



事業を利用したことがあるかでは、「わらすこ広場」が81.6%と最も多く、次いで「こんにちは赤ちゃん事業（赤ちゃん訪問、赤ちゃんギフト贈呈等）」（58.1%）、「乳幼児相談、子育て教室（保健センターで開催）」（36.6%）となっている。

【C今後利用したい】

(調査数：489)



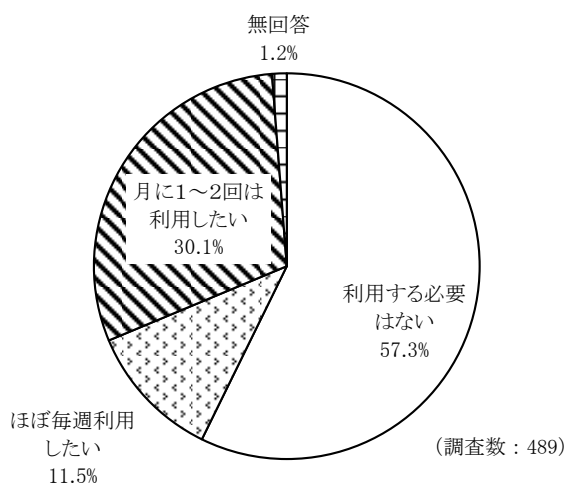
今後の事業の利用希望では、「わらすこ広場」が77.5%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育所）」（62.6%）、「病児保育事業」（42.9%）、「こんにちは赤ちゃん事業（赤ちゃん訪問、赤ちゃんギフト贈呈等）」（42.3%）となっている。

7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

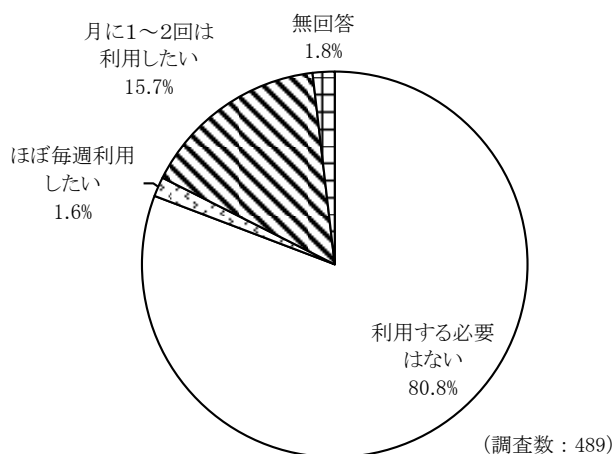
（1）土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(1)】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が57.3%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」(30.1%)、「ほぼ毎週利用したい」(11.5%)と利用希望は4割以上となっている。

（2）日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(2)】

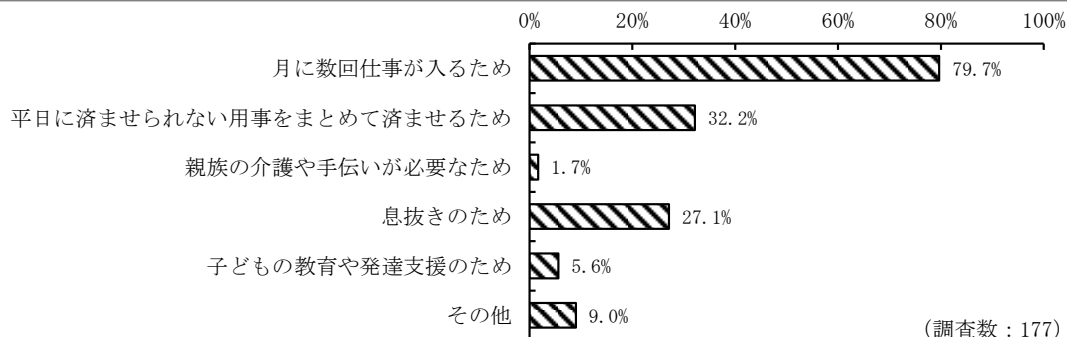


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が80.8%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」(15.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)と利用希望は約2割となっている。

(3) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【問 20-1】

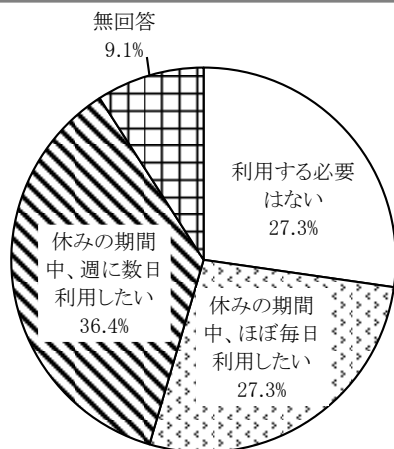
問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



毎週ではなく、たまに利用したい理由では、「月に数回仕事が入るため」が 79.7%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.2%)、「息抜きのため」(27.1%)、「土日祝日は基本仕事なので、祖父母の都合もつかず、世話が頼めないときがあるため」などの回答となっている。

(4) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望【問 21】

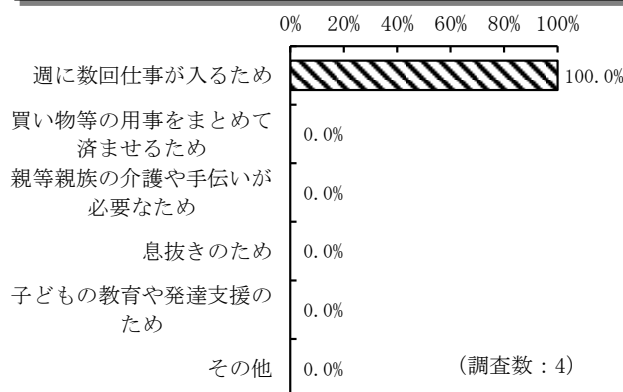
問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。



幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」(36.4%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(27.3%)と利用希望は6割以上となっている。

(5) 毎日ではなく、たまに利用したい理由【問 21-1】

問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



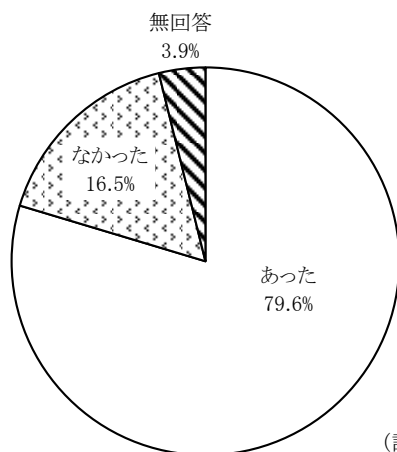
毎日ではなく、たまに利用したい理由では、「週に数回仕事が入るため」が 100.0%となっている。

8. 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

（１）この１年間に、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった状況【問 22】

問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。

この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

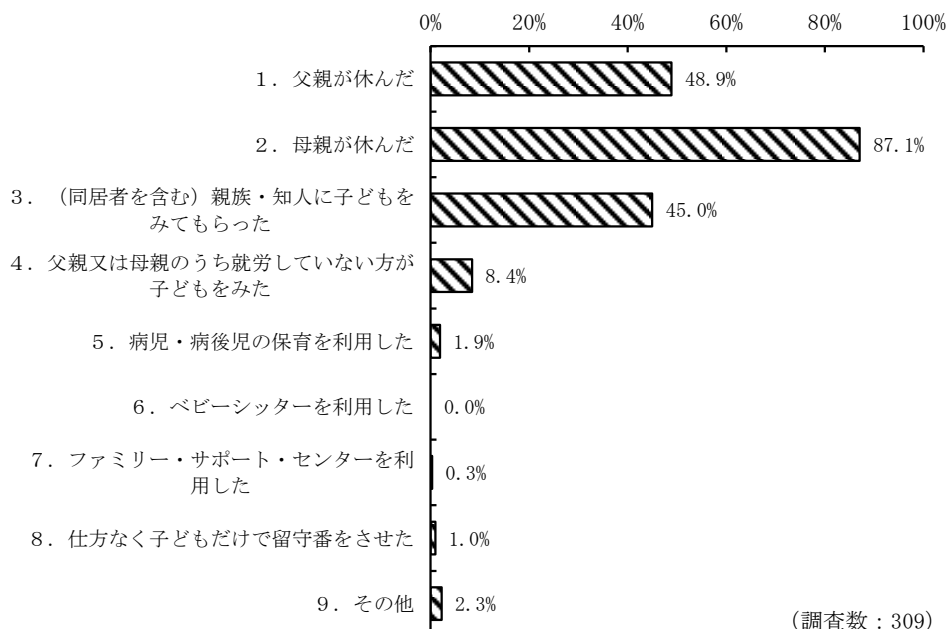


（調査数：388）

この１年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況では、「あった」が 79.6%、「なかった」が 16.5%となっている。

（２）通常の事業が利用できなかった場合の対処方法【問 22-1】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）。



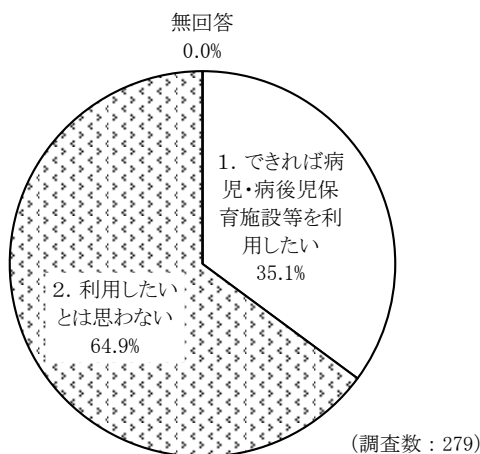
（調査数：309）

病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が 87.1%、日数は 7～12 日が最も多く、次いで「父親が休んだ」(48.9%)、日数は 7～12 日、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(45.0%) となっており、母親への依存度が高くなっている。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 22-2】

問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。



病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が 64.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 35.1%となっている。

【保育施設等を利用したいと思われた日数】〔問22-2で1を選択〕

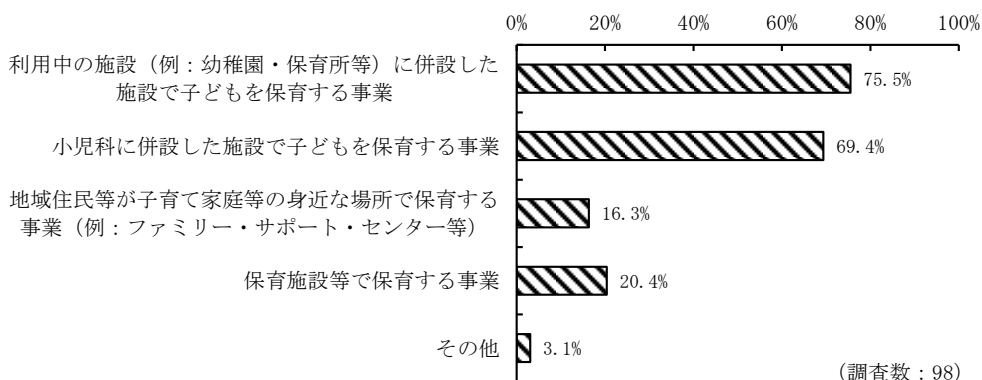
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	合 計
	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日 ～ 12 日	13 日 ～ 24 日	25 日 ～ 30 日	31 日 ～		
構成比	6.1%	12.2%	20.4%	2.0%	16.3%	1.0%	21.4%	7.1%	2.0%	0.0%	11.2%	100.0%

(調査数:98)

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 22-3】

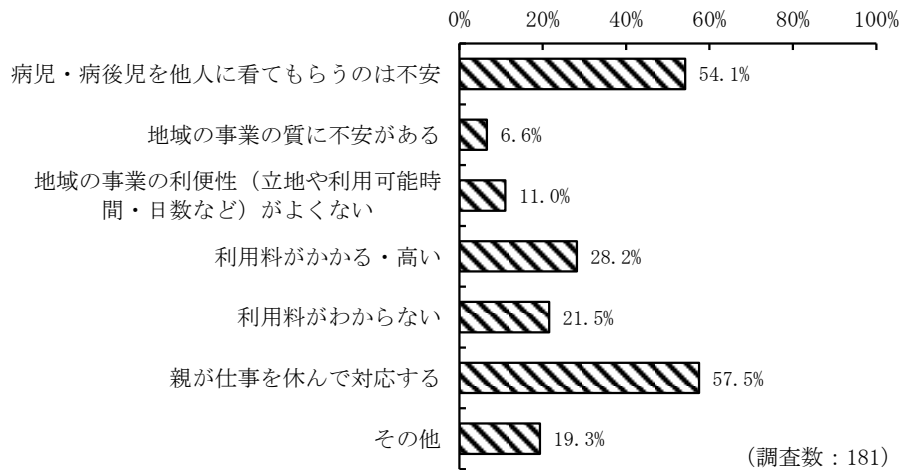
問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「利用中の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 75.5%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（69.4%）となっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 22-4】

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

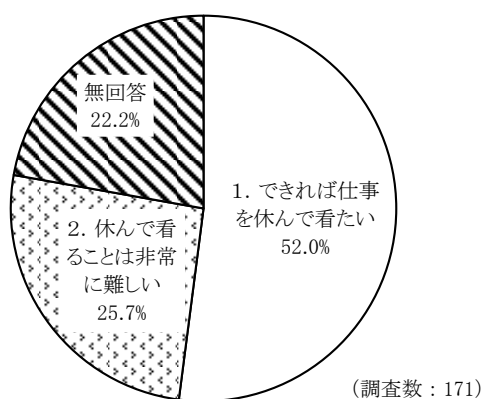


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が 57.5%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(54.1%)、「子供に寄り添っていたい」などの回答となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 22-5】

問 22-1 で「3.」から「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。



病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が 52.0%、「休んで看ることは非常に難しい」が 25.7%となっている。

【仕事を休んで看たかった日数】〔問22-5で1を選択〕

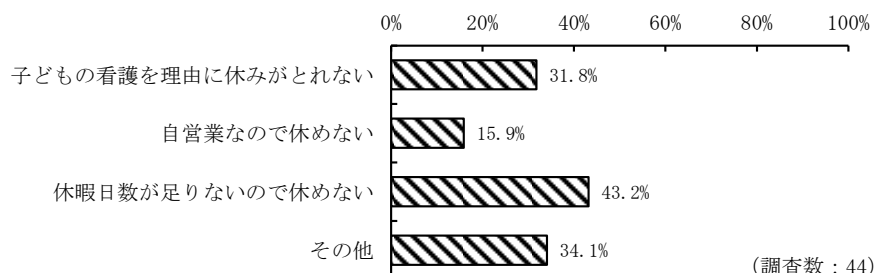
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	合 計
	0 日	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日 ～ 12 日	13 日 ～ 24 日	25 日 ～ 30 日	31 日 ～		
構成比	0.0%	9.0%	4.5%	16.9%	0.0%	23.6%	0.0%	20.2%	9.0%	2.2%	2.2%	12.4%	100.0%

(調査数：89)

(7) 病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由【問 22-6】

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



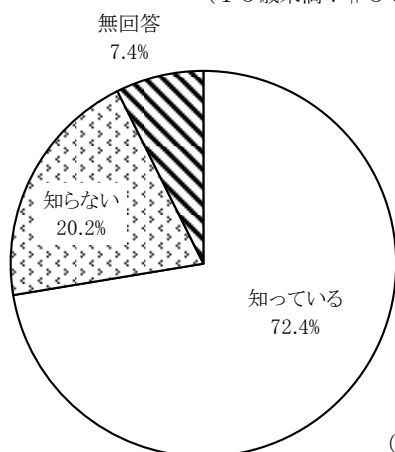
病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由では、「休暇日数が足りないので休めない」が 43.2%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(31.8%)となっている。

「その他」では、「職場の人手不足」、「仕事を代理できる人がいない」などが挙げられた。

(8) 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度【問 23】

問 23 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルを知っていますか。

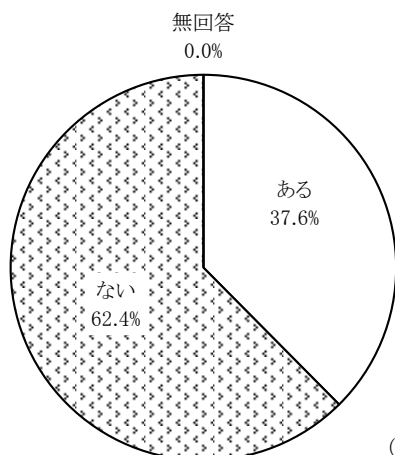
(15歳未満：#8000 または、TEL023-633-0299 午後6時～翌日午前8時)



山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度では、「知っている」が 72.4%、「知らない」が 20.2%となっている。

(9) 利用の有無【問 23-1】

問 23 で「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。
問 23-1 利用したことは、ありますか。

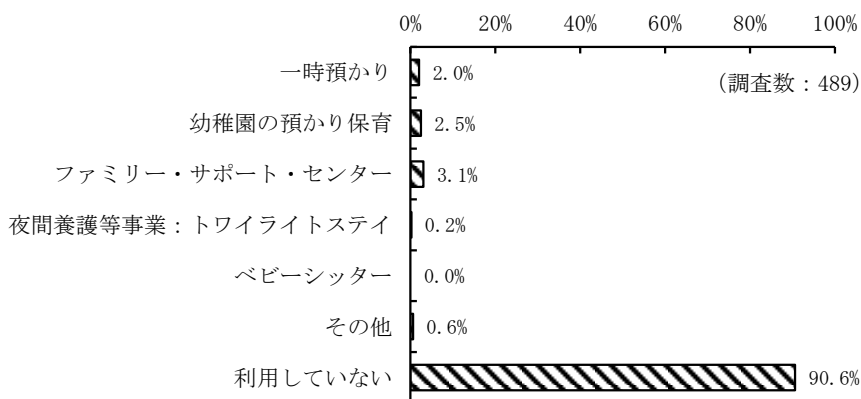


利用したことが「ない」が 62.4%、「ある」が 37.6%となっている。

9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業【問 24】

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。



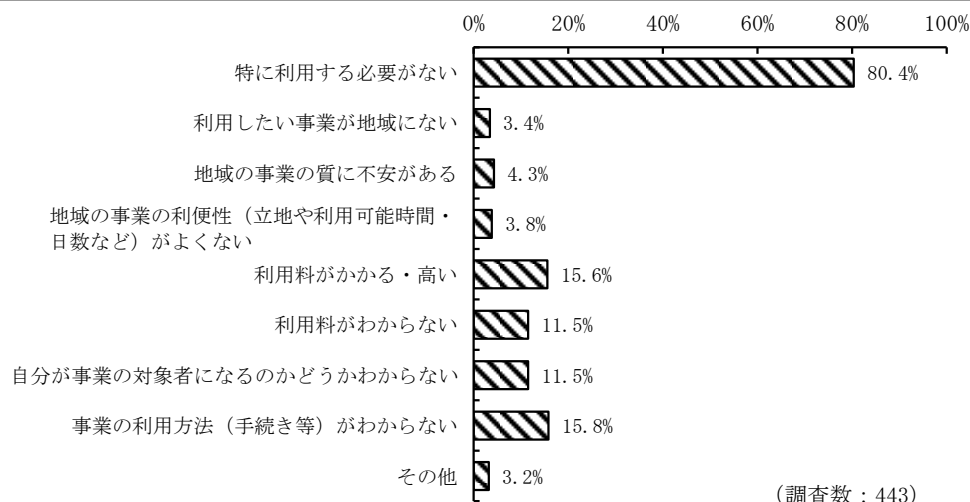
一時預かり … 私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む
 幼稚園の預かり保育 … 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
 ファミリー・サポート・センター … 地域住民が子どもを預かる事業
 夜間養護等事業：トワイライトステイ … 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業では、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」(3.1%)、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」(2.5%)、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む）」(2.0%) と一時預かりの利用率は低くなっている。

(2) 現在利用していない理由【問 24-1】

問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

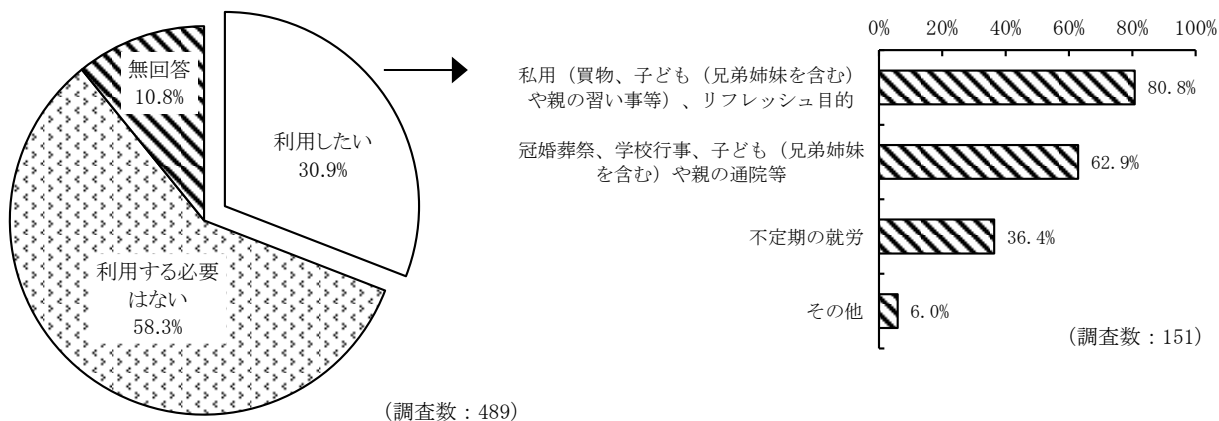
問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由では、「特に利用する必要がない」が80.4%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」(15.8%)、「利用料がかかる・高い」(15.6%) となっている。

(3) サービスの利用希望【問 25】

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。

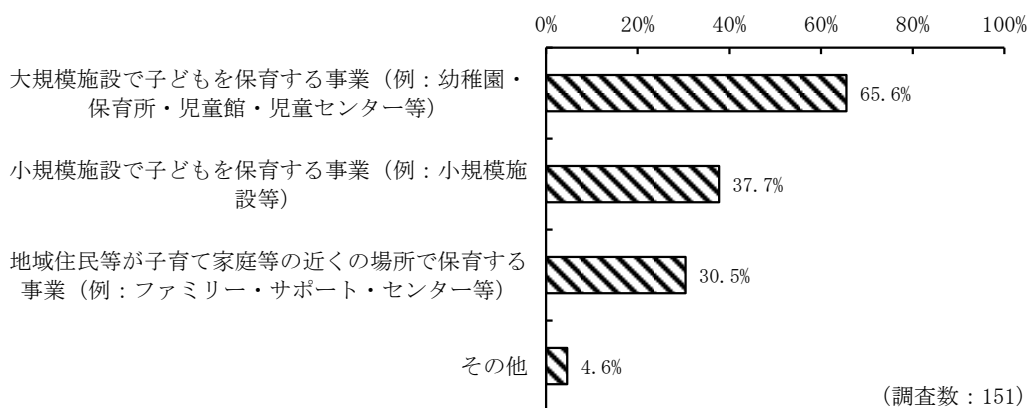


利用希望の有無では、「利用したい」が 30.9%、「利用する必要はない」が 58.3%となっている。

利用したい理由では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 80.8%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が（62.9%）となっている。

(4) 私用等の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態【問 25-1】

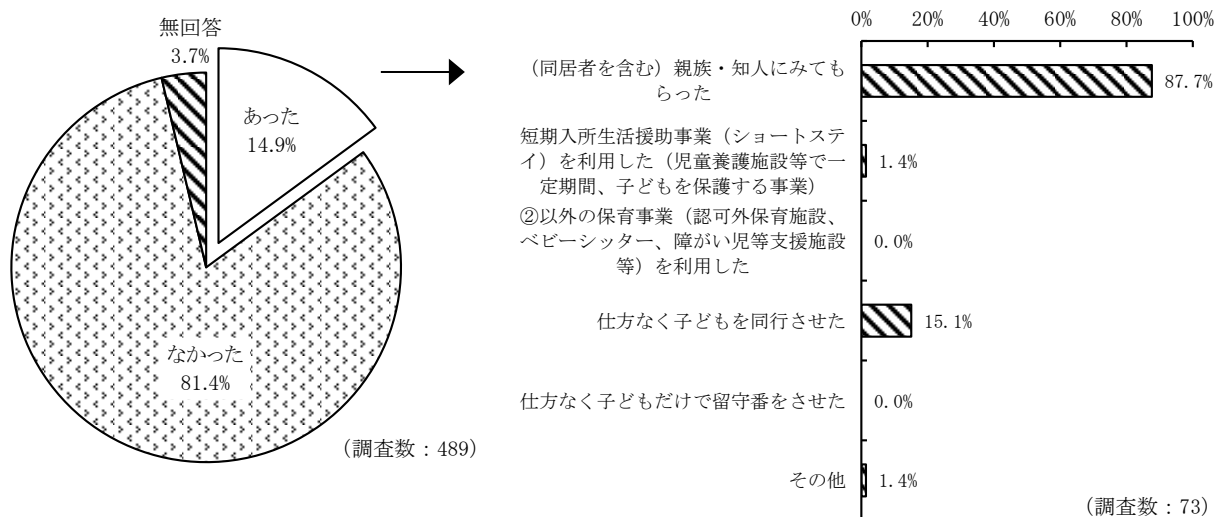
問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



私用等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態では、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・児童館・児童センター等）」が 65.6%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模施設等）」（37.7%）となっている。

(5) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 26】

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

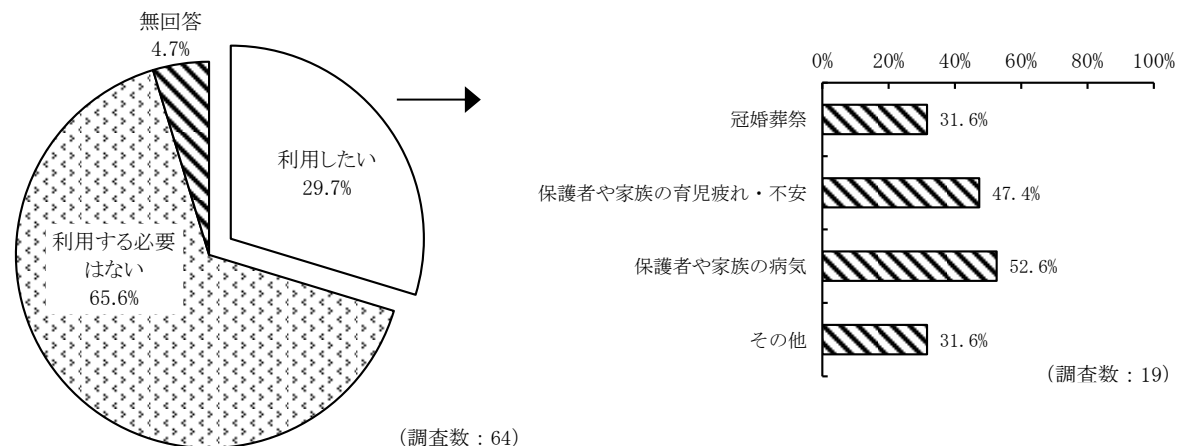


保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が14.9%、「なかった」が81.4%となっている。

あった場合の対処方法では、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が87.7%と最も多くなっている。

(6) 短期入所生活援助事業の利用希望の有無【問 26-1】

問 26 で「1. あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
問 26-1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を口内に数字でご記入ください。



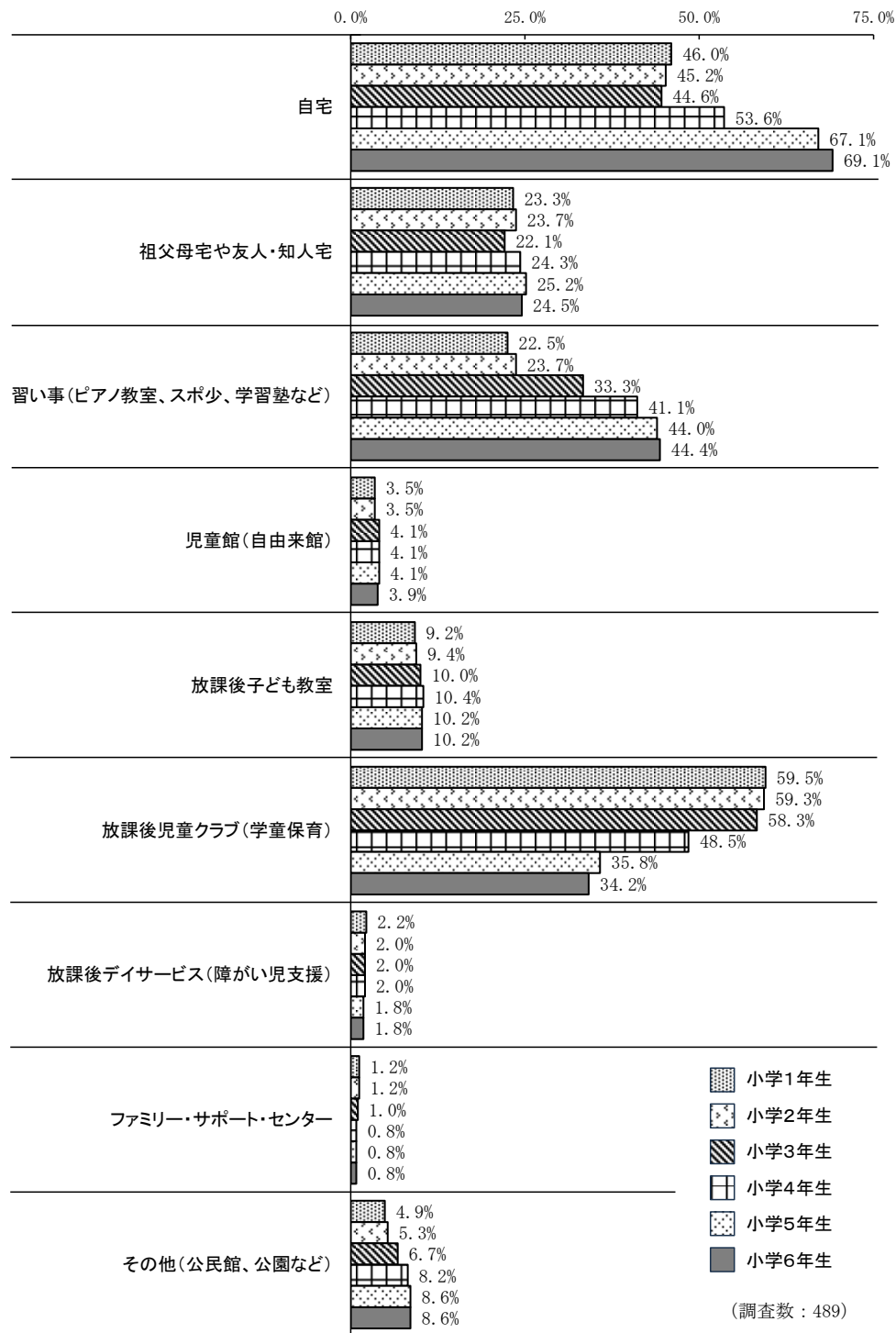
短期入所生活援助事業の利用希望の有無では、「利用したい」が29.7%、「利用する必要はない」が65.6%となっている。

利用したい理由では、「保護者や家族の病気」が52.6%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（47.4%）となっている。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 過ごさせたい場所【問 27】

問 27 宛名のお子さんについて、小学生になったら、1年生から6年生までの放課後を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別の欄に下記（選択肢1から9までの選択した番号すべてを記入してください。）



放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、低学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」が多く、高学年では「自宅」、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」が多い傾向となっている。

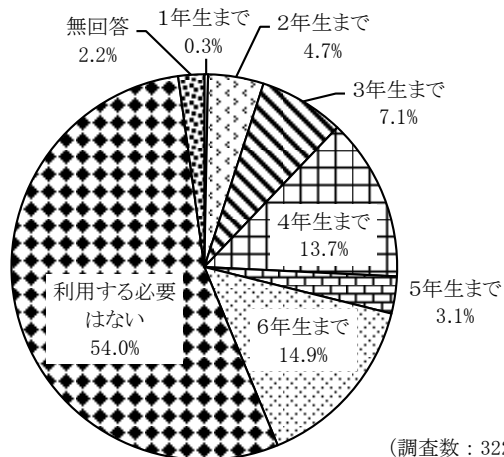
(2) 場所ごとの日数【問 28】

問 28 宛名のお子さんについて、問 27 で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、週何日ぐらいですか。選択した番号に対応する表の内に数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」の場合には、何時まで利用を希望するかも数字でお書きください。

		1 自宅	2 祖父母宅や友人・知人宅	3 習い事（ピアノ教室、スポーツ、学習塾など）	4 児童館（自由来館）	5 放課後子ども教室	6 放課後児童クラブ（学童保育）	7 放課後デイサービス（障がい児支援）	8 ファミリー・サポート・センター	9 その他（公民館、公園など）
小学1年生	週1日	4.9%	14.9%	44.5%	29.4%	44.4%	2.4%	27.3%	50.0%	20.8%
	週2日	10.7%	24.6%	30.9%	29.4%	8.9%	5.2%	0.0%	0.0%	54.2%
	週3日	8.0%	7.0%	9.1%	5.9%	4.4%	3.4%	9.1%	33.3%	4.2%
	週4日	1.8%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	39.1%	36.0%	0.0%	11.8%	15.6%	75.3%	63.6%	0.0%	0.0%
	週6日	4.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	20.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学2年生	週1日	5.4%	14.7%	43.1%	29.4%	43.5%	2.1%	30.0%	50.0%	26.9%
	週2日	11.3%	25.9%	31.9%	35.3%	10.9%	5.2%	0.0%	0.0%	46.2%
	週3日	7.2%	7.8%	11.2%	0.0%	4.3%	3.4%	10.0%	33.3%	3.8%
	週4日	2.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%
	週5日	37.6%	34.5%	0.9%	11.8%	15.2%	75.2%	60.0%	0.0%	0.0%
	週6日	5.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	20.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学3年生	週1日	6.9%	13.0%	34.4%	30.0%	40.8%	2.5%	30.0%	60.0%	24.2%
	週2日	13.8%	25.0%	32.5%	35.0%	16.3%	5.6%	0.0%	0.0%	45.5%
	週3日	6.0%	13.0%	17.2%	0.0%	4.1%	5.3%	10.0%	20.0%	6.1%
	週4日	3.2%	1.9%	1.2%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	3.0%
	週5日	36.2%	31.5%	2.5%	10.0%	12.2%	72.6%	60.0%	0.0%	3.0%
	週6日	4.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	19.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学4年生	週1日	6.1%	17.6%	22.9%	30.0%	37.3%	3.4%	30.0%	50.0%	17.5%
	週2日	11.8%	18.5%	41.3%	30.0%	15.7%	6.3%	0.0%	0.0%	42.5%
	週3日	9.2%	15.1%	15.9%	5.0%	5.9%	6.3%	0.0%	25.0%	12.5%
	週4日	3.8%	3.4%	4.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	2.5%
	週5日	41.2%	26.1%	2.5%	0.0%	11.8%	70.5%	60.0%	0.0%	5.0%
	週6日	2.3%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	16.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学5年生	週1日	4.9%	17.9%	23.3%	35.0%	36.0%	5.1%	33.3%	50.0%	21.4%
	週2日	11.0%	21.1%	43.3%	25.0%	18.0%	9.1%	0.0%	0.0%	33.3%
	週3日	8.5%	13.8%	14.9%	5.0%	6.0%	8.0%	0.0%	25.0%	14.3%
	週4日	3.4%	4.1%	5.6%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	2.4%
	週5日	44.8%	23.6%	3.3%	10.0%	14.0%	60.6%	66.7%	0.0%	2.4%
	週6日	2.4%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	14.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学6年生	週1日	4.7%	17.5%	23.0%	36.8%	38.0%	5.4%	33.3%	50.0%	21.4%
	週2日	10.1%	20.8%	41.5%	26.3%	18.0%	9.6%	0.0%	0.0%	33.3%
	週3日	8.6%	14.2%	16.6%	0.0%	6.0%	7.8%	0.0%	25.0%	11.9%
	週4日	3.0%	4.2%	5.1%	5.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.8%
	週5日	46.2%	22.5%	3.7%	5.3%	14.0%	59.3%	66.7%	0.0%	2.4%
	週6日	3.0%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	14.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 29 問 27 または問 28 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ等の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

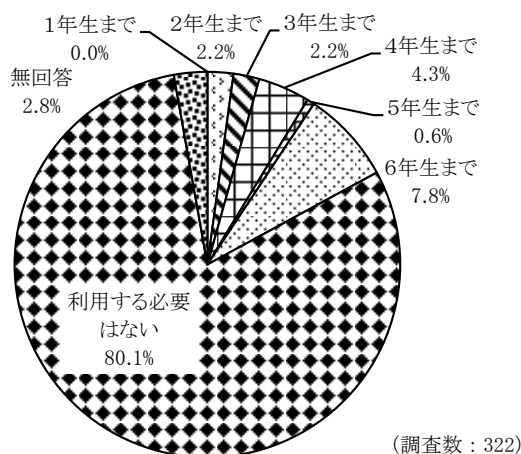
（３）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 29(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が 14.9%、「4年生までは利用したい」が 13.7%となっている。

一方、「利用する必要はない」は 54.0%となっている。

（４）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 29(2)】

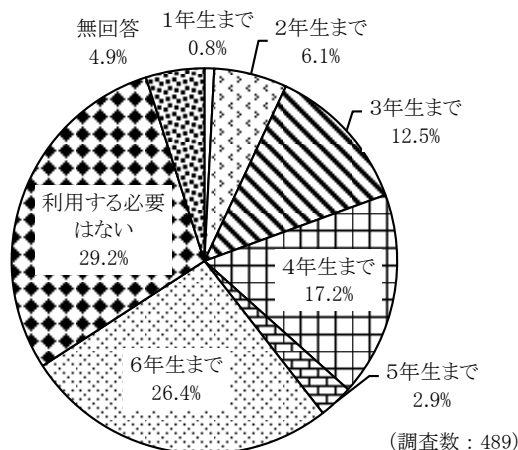


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が 7.8%、「4年生までは利用したい」が 4.3%となっている。

一方、「利用する必要はない」は 80.1%となっている。

（５）長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 30】

問 30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

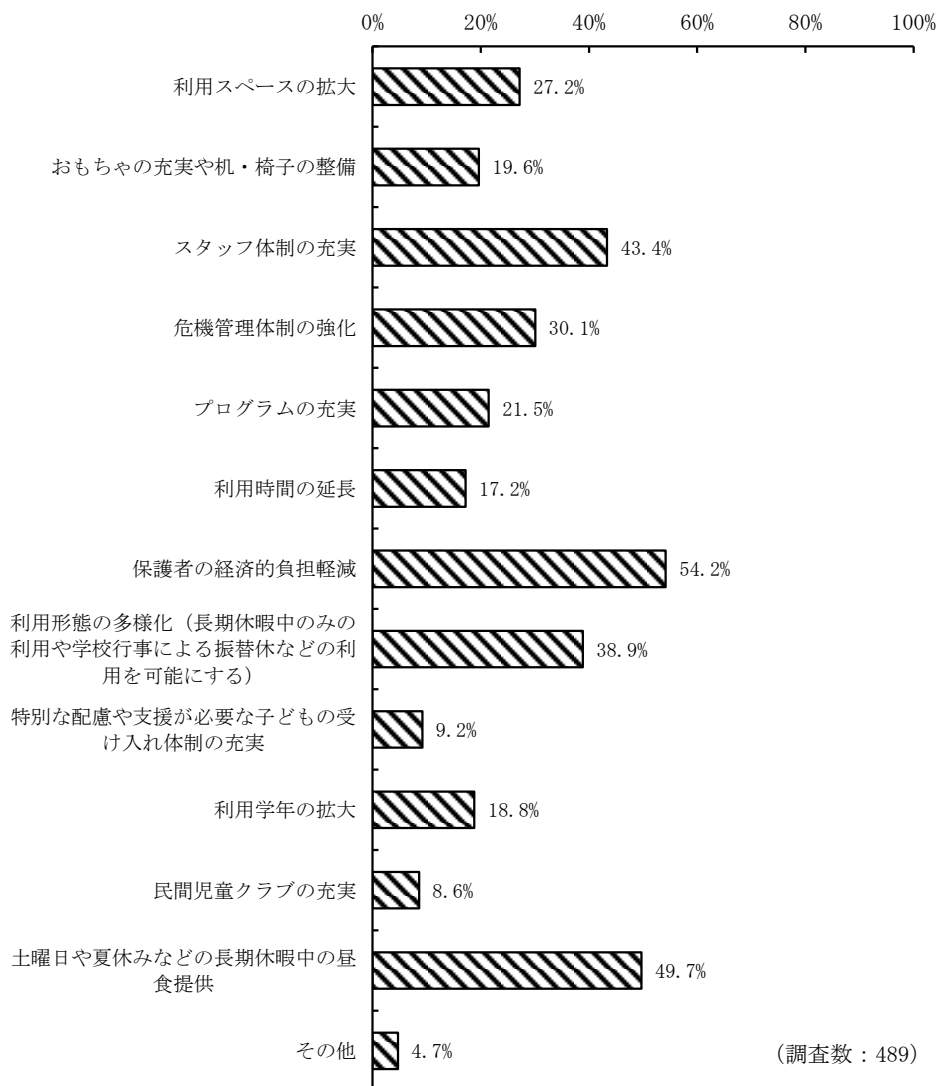


長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が 26.4%、「4年生までは利用したい」(17.2%)、「3年生までは利用したい」(12.5%)となっている。

一方、「利用する必要はない」は 29.2%となっている。

(6) 放課後児童クラブに今後望むこと【問31】

問31 放課後児童クラブに今後望むことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



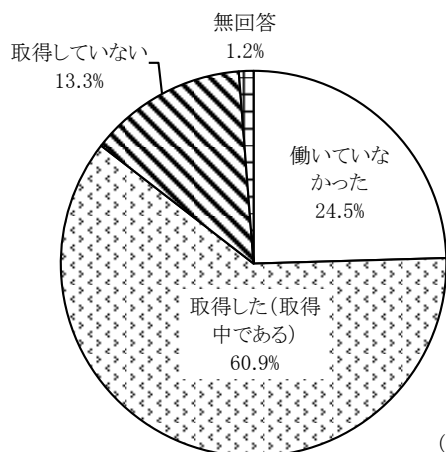
放課後児童クラブに今後望むことでは、「保護者の経済的負担軽減」が54.2%と最も多く、次いで「土曜日や夏休みなどの長期休暇中の昼食提供」（49.7%）、「スタッフ体制の充実」（43.4%）となっている。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

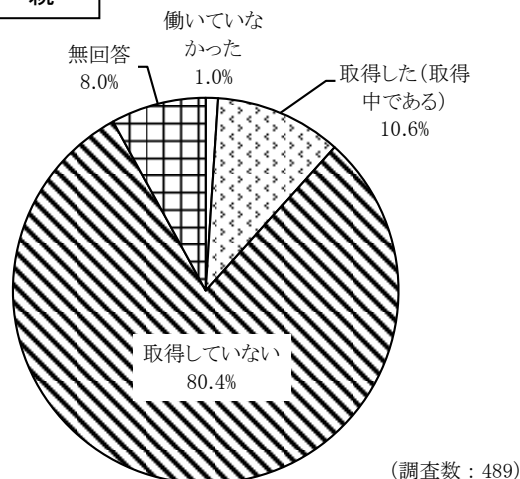
(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 32】

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

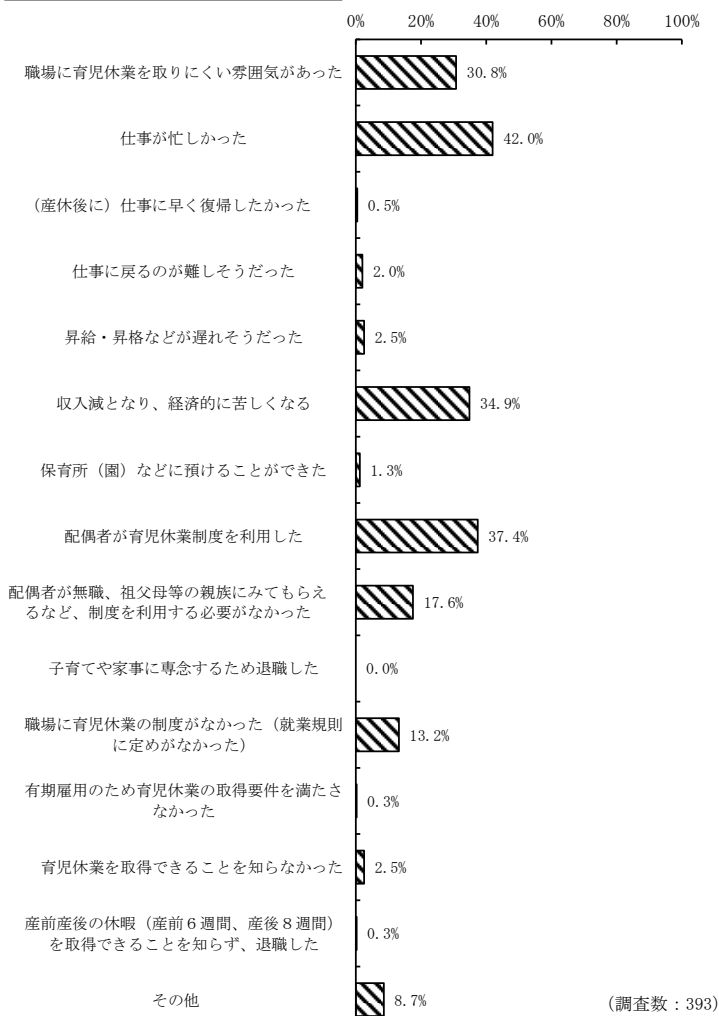
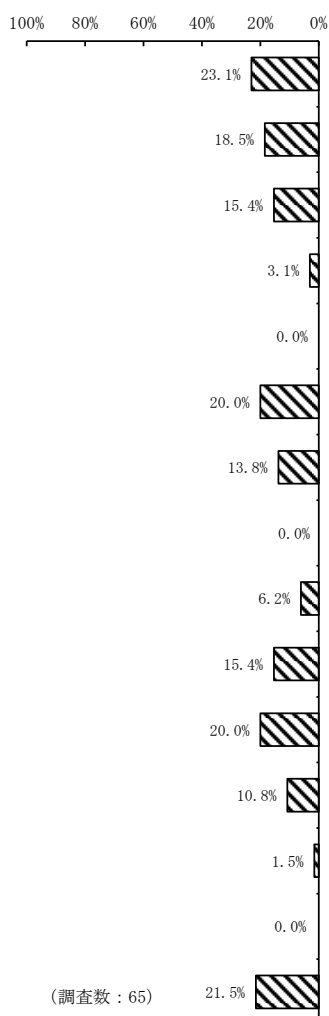
母 親



父 親



取得していない理由



子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が60.9%、「取得していない」が13.3%となっている。

また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が23.1%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(ともに20.0%)となっている。

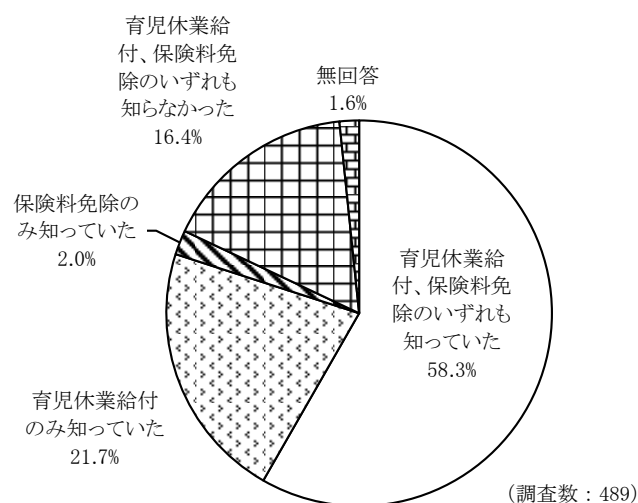
「その他」では、「自営業のため」、「勤務年数が1年未満」などが挙げられた。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が10.6%であり、「取得していない」が80.4%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が42.0%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(37.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(34.9%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.8%)となっている。

(2) 育児休業給付、保険料免除の認識度【問 32-1】

問 32-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

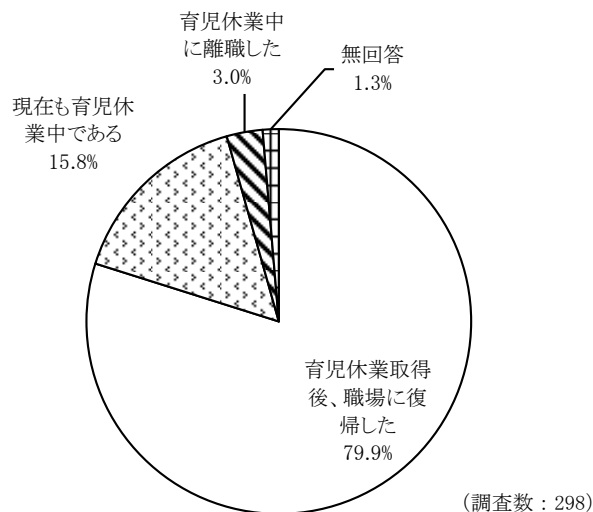


育児休業給付と保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が58.3%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(21.7%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(16.4%)となっている。

問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

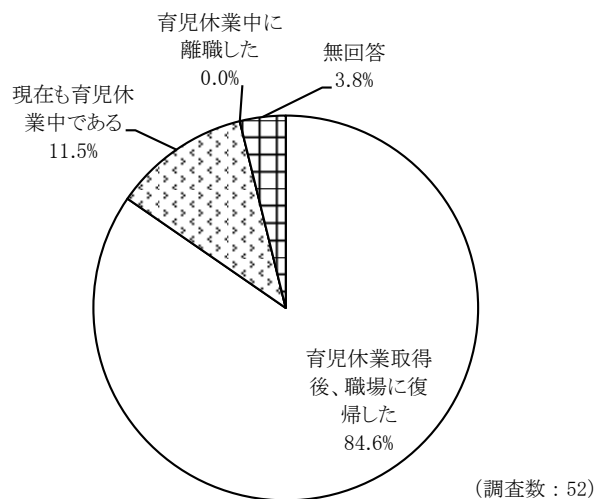
問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（３）母親の育児休業取得後の職場復帰【問 32-2(1)】



母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 79.9%となっている。

（４）父親の育児休業取得後の職場復帰【問 32-2(2)】

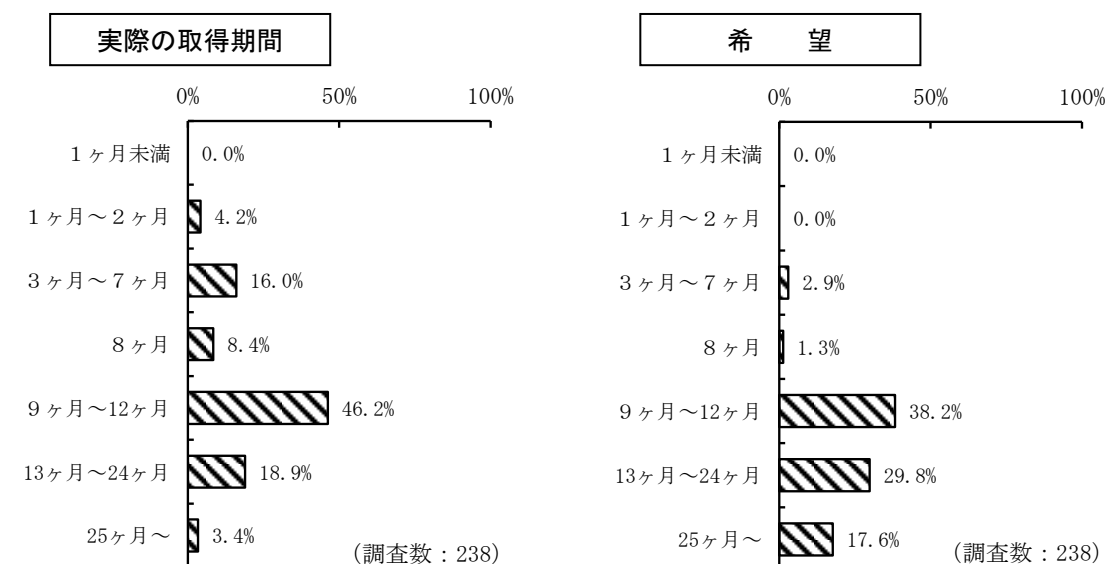


父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 84.6%となっている。

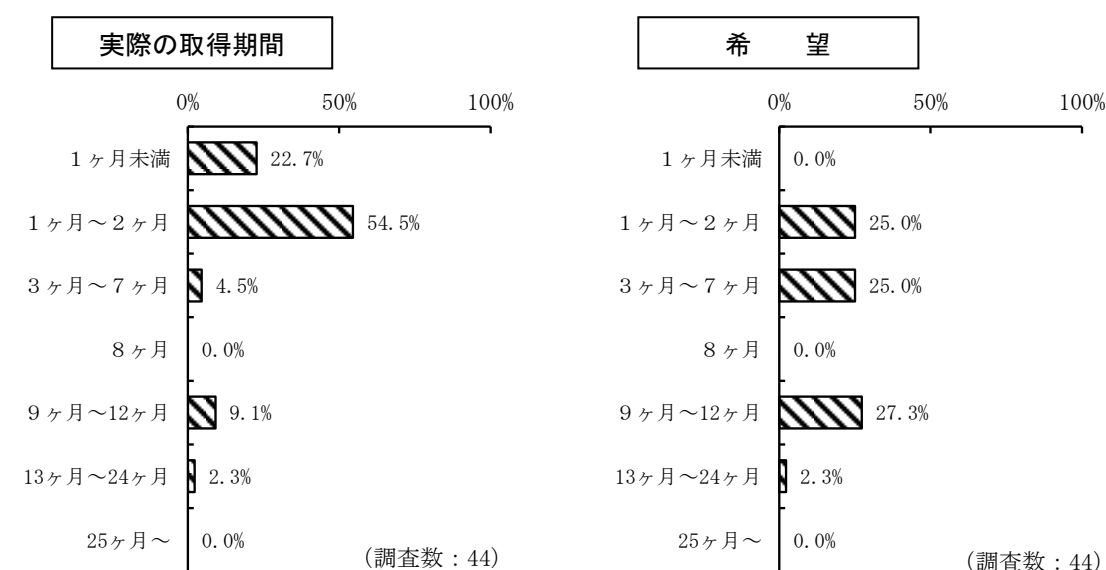
問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 32-3(1)】



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 32-3(2)】

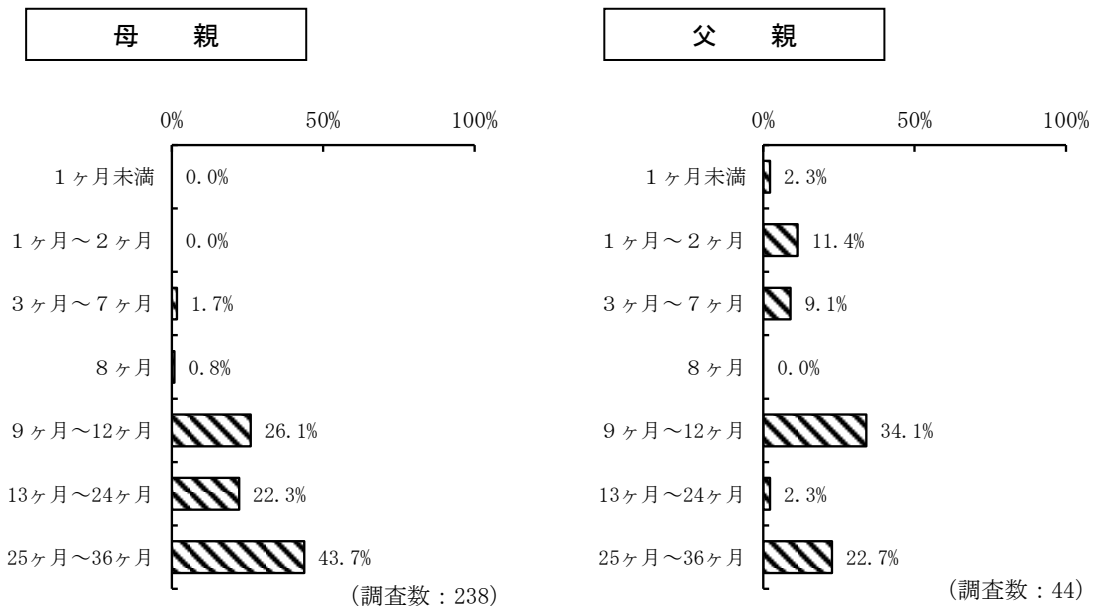


母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」が46.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(18.9%)となっている。また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が38.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(29.8%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「1ヶ月～2ヶ月」が54.5%となっている。また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が27.3%、「1ヶ月～2ヶ月」、「3ヶ月～7ヶ月」がともに25.0%となっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【32-4(1)(2)】

問 32-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。



母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～36ヶ月」が43.7%と最も多く、次いで「9ヶ月～12ヶ月」(26.1%)、「13ヶ月～24ヶ月」(22.3%)となっている。

父親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が34.1%と最も多く、次いで「25ヶ月～36ヶ月」(22.7%)となっている。

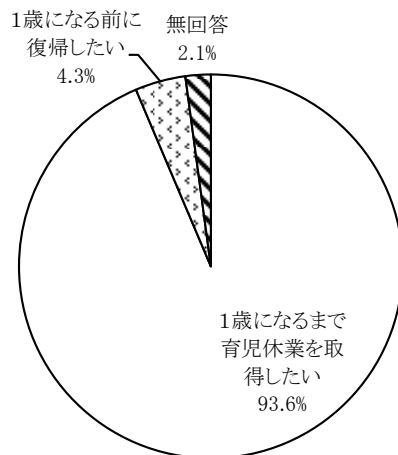
(8) 1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の

育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無【問32-5(1)(2)】

問32-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問32-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

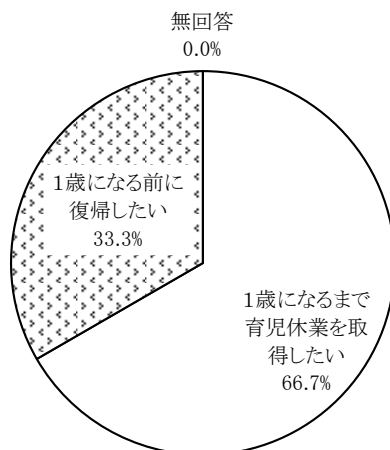
母 親



(調査数：47)

母親の子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.6%、「1歳になる前に復帰したい」が4.3%となっている。

父 親



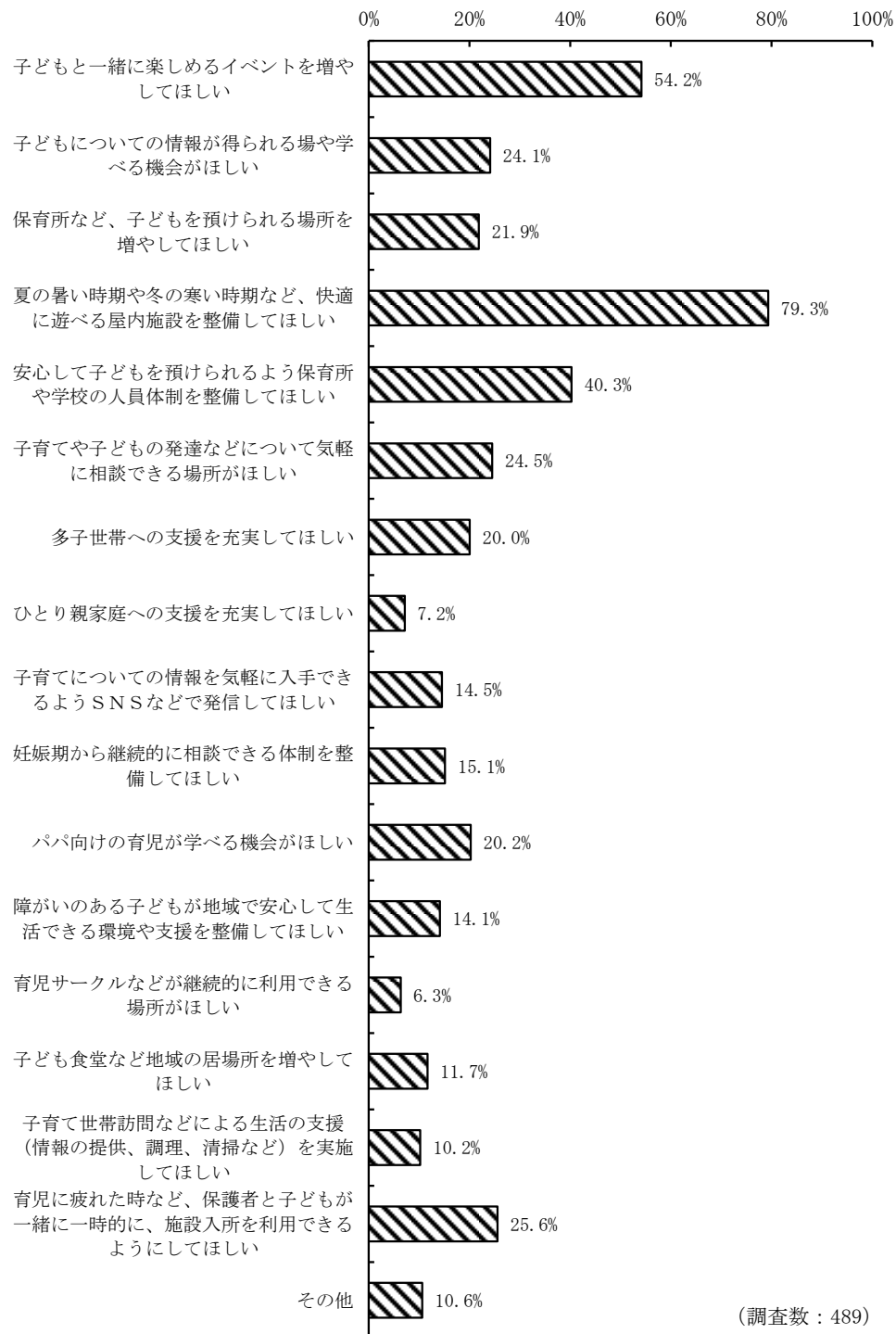
(調査数：6)

父親の子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%、「1歳になる前に復帰したい」が33.3%となっている。

12. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 充実を図ってほしい子育て支援【問 33】

問 33 本市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

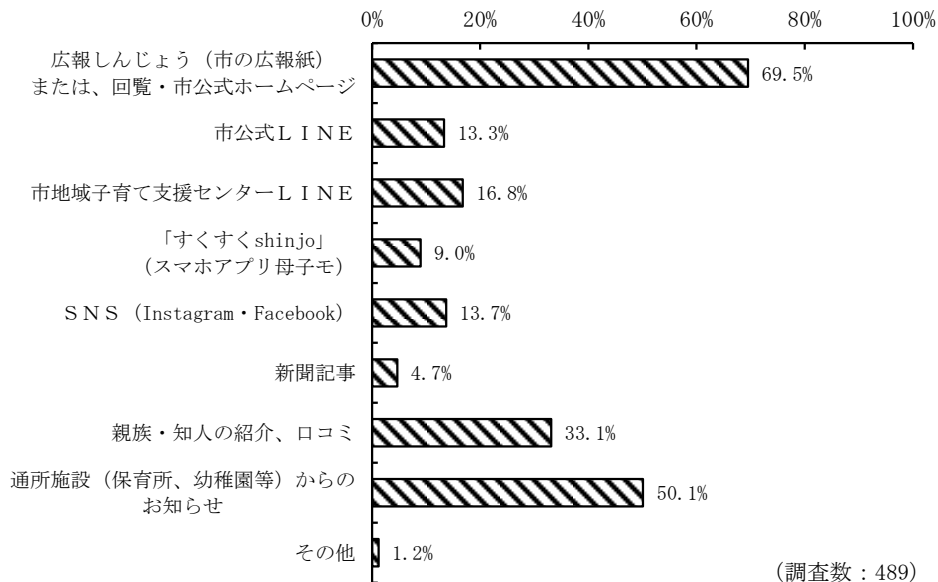


新庄市に充実を図ってほしい子育て支援では、「夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる屋内施設を整備してほしい」が79.3%と最も多く、次いで「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」(54.2%)、「安心して子どもを預けられるよう保育所や学校の人員体制を整備してほしい」(40.3%)、経済的な支援などの回答となっている。

13. 子育て支援に関する情報について

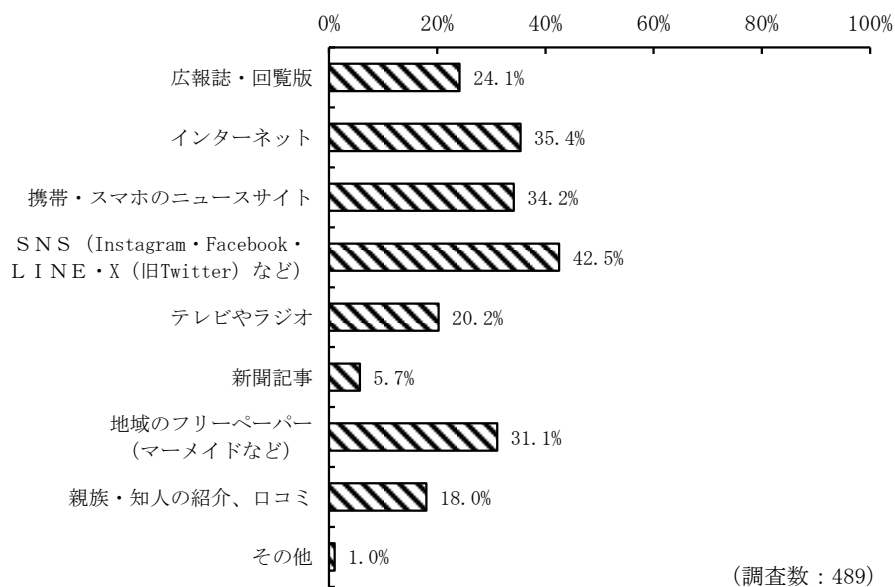
問 34 普段、どのように子育て支援に関する情報を得ているか、うかがいます。

(1) 本市の子育て支援に関する情報を得る方法【問 34(1)】



新庄市の子育て支援に関する情報を得る方法では、「広報しんじょう (市の広報紙) または、回覧・市公式ホームページ」が 69.5% と最も多く、次いで「通所施設 (保育所、幼稚園等) からののお知らせ」(50.1%)、「親族・知人の紹介、口コミ」(33.1%) となっている。

(2) 本市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法【問 34(2)】

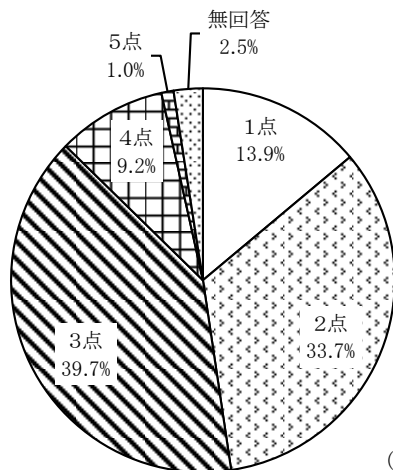


新庄市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法では、「SNS (Instagram・Facebook・LINE・X (旧Twitter) など)」が 42.5% と最も多く、次いで「インターネット」(35.4%)、「携帯・スマホのニュースサイト」(34.2%)、「地域のフリーペーパー (マーメイドなど)」(31.1%) となっている。

14. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 35】

問 35 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



(調査数：489)

新庄市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が 39.7%と最も多くなっている。

また、「4点」(9.2%)と「5点」(1.0%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は 10.2%となっている。

一方、「1点」(13.9%)と「2点」(33.7%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は 47.6%と約5割となっている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、

妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関する意見【問 36】

問 36 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関して 553 件の意見が寄せられ、「遊び場」や「手当て・補助金」に関する記述が多くなっている。

大分類	小分類	件数	構成比
1. 保育サービス	①保育所	18	3.3%
	②幼稚園・認定こども園	6	1.1%
	③一時保育・休日保育	6	1.1%
	④学童保育	14	2.5%
	⑤教育	11	2.0%
	⑥保育料	25	4.5%
	⑦給食費	3	0.5%
	⑧その他	32	5.8%
2. 子育て支援	①子育て支援センター	10	1.8%
	②イベント	17	3.1%
	③手当て・補助金	67	12.1%
	④情報提供	21	3.8%
	⑤相談	16	2.9%
	⑥その他	54	9.8%
3. 医療	①医療費	13	2.4%
	②医療機関	20	3.6%
	③健診	12	2.2%
	④その他	1	0.2%
4. 環境	①遊び場	105	19.0%
	②交通	8	1.4%
	③商業施設	9	1.6%
	④公共施設	11	2.0%
	⑤その他	31	5.6%
5. その他		43	7.8%
合 計		553	

【１． 保育サービス ①保育所】

- ◆市立保育所等でも英語や体操教室など、簡単なものでいいので取り入れてほしい。
- ◆今現在は保育所の先生との連絡帳のやり取りが私の心の支えだ。いつも私より長い間見てくれている先生の言葉は響く。私にも相談できる方ができて、とても心強い。
- ◆現在リモートワークで１８時まで自宅で仕事をしているが、同居の祖母が１７時までの勤務なので、１７時までしか保育園でみてもらえない。子どもが家に帰ってくると結局仕事ができない。そのあたりも多様に対応してほしい。
- ◆子供が少ないのに、保育園等に入所するのが難しいことも大きな課題だと思う。
- ◆保育園の慣らし保育は大切な期間と感じるが、職場復帰や仕事始めと重なる場合、出勤初日から仕事を早退するような状況となり、心苦しい思いをした。できれば職場復帰の前月や数日前から慣らし保育をできるようにになると、職場復帰もしやすくなると思う。

ほか 13 件

【１． 保育サービス ②幼稚園・認定こども園】

- ◆幼稚園の可否連絡が遅いので、準備に取り掛かれない。万が一不合格だった場合の対応もできない。
- ◆行きたい幼稚園にスムーズに入れるといい。小さい子どもと一緒に手続きなどで市役所に行かなければならないのも、できれば郵送などで楽にしてほしい。
- ◆働いている働いていないに関係なく、幼稚園でも２号の子供と同じ時間までみてもらえるようになったら助かる。

ほか 3 件

【１． 保育サービス ③一時保育・休日保育】

- ◆一時保育を利用しやすいように、受け入れ施設を増やしてほしい。
- ◆祝日は基本休園のところが多い。職場は祝日も出勤だったりすると、有休や欠勤しなければならないので、そのときに預けられるような所があると助かる。学童も休みになるので、そこも開けてもらえると助かると思う。
- ◆急用時や親の体調不良時に、一時的に預かってくれる施設がほしい。もしあるとしても、知らない人が多いと思う。共働きもしくは片親でもない限り保育園に入れないのであれば、幼稚園の数を増やしてほしい。幼稚園にしか入れない人たちの選択肢が少なすぎる。

ほか 3 件

【１． 保育サービス ④学童保育】

- ◆姉が学童に行っているが、今のところ４年生で終わり。祖父母と同居だが、この子が１０歳のころには車の運転が不安なため、６年生まで延長になるとうれしい。
- ◆学童保育の受け入れ人数が少なすぎる。民間学童の申し込みが１２月１日からと言われ待っていたら、来年度は新規で受け入れをしないとされた。その後、社会福祉協議会に行ったら、市の放課後児童クラブの申し込みは終了と言われた。４月から小学１年生の子どもは、放課後どうすればいいのか。仕事を続けるのが難しい。長期の休み中ずっと祖父母に預けるのは無理だ。フルタイムの仕事に替えたいが、子どもの預け先がないと無理だ。せめて２年生くらいまでの学童を希望する子どもは受け入れてもらえないと、現実的に考えて、放課後１人で留守番させることになってしまう。もっときちんと考えてほしい。
- ◆学童も職場との時間調整が難しく、申請しても受け入れてもらえず、結局、長期休みの際は休業して対応しないといけない。働きたくて預けたいのに、働いている実績がないと申請が通らないので、２番目のときは大丈夫なのか心配。
- ◆学童保育を利用するとなったとき建物が古いと、この施設に預けて大丈夫なのかと不安になるし、知り合いからそういったことをよく耳にするので、建物の安全性を気にしてほしい。

ほか 10 件

【１． 保育サービス ⑤教育】

- ◆学校も登下校スクールバスが出てもらえるといい。登校班が消滅したため、各自送迎している。
- ◆少子化で、小学校や中学校の子ども数がとても減っていて、住んでいる学区の学校以外にも自由を選べると嬉しい。
- ◆もう少し、実際育児している親の意見に耳を傾けてほしい。もっとこのような意見を言える機会を増やしてほしい。学区などの縛りを緩和させてもっと子どもたちの精神的な支えを増やしてほしい。学区外申請の際の役

場の対応の冷たさにがっかりしたところだ。もっと親身になって対応してほしい。決まりばかりつくるのではなく、もっともっと住みやすい新庄市にしていかなければ、住民も減っていく一方だと思う。新庄市はいい街だと自信をもって言えるように、子どもたちの未来をもっと考えていくべきだと思っている。そうすれば自然といい街になるはず。

ほか 8 件

【1. 保育サービス ⑥保育料】

- ◆ 0 歳からも保育料を無償にしてほしい。市町村民税額で年 2 回見直しがかかるが、収入が上がっても保育料も上がれば生活に余裕がなくなる。ミルクやおむつなど必要なものはたくさんあり、それに合わせ保育料となると、児童手当をもらっても全く足りない。そのため、すぐに第 2 子を望むことはできない状況。どうか 0 歳から保育料無償化を検討願いたい。
- ◆ 保育料の階層をもっと細かく区切ってほしい。高い。
- ◆ 我が家もそうなのだが、共働き世帯で子どもを保育園等に預けている家庭では、子が病気のときや体調を崩したときのサポートが本当に大事だと感じる。育児時間の拡充や子の看護休暇の取得のしやすさ等、職場の体制づくりへの市や県、国からの働きかけはもちろんだが、病児保育がもっと利用しやすくなると大変助かると思う。手続きの簡素化も含めて。村山市に住んでいる知人は病児保育に関して、人数制限や手続きの面倒さはあるが未就学児の利用が無料なのは大変ありがたいと言っていた。
- ◆ 保育に関しては、3 歳から保育料が無料になり助かった。また、未満児の保育料も、第 1 子が小学生でも第 2 子が半額になり、良かった。新庄市は住民税が高く、住民税で保育料が決まるため、未満児の保育料を納めるのはとても厳しかった。

ほか 21 件

【1. 保育サービス ⑦給食費】

- ◆ 給食費の無償化に取り組んでほしい。

ほか 2 件

【1. 保育サービス ⑧その他】

- ◆ 親が共働きなため、子どもが感染症などになった場合、預け先の保育園に併設された病児保育などがあれば助かる。
- ◆ 働く場所が決まっていたのに保育園が満員で預け先がなく、働くことができていない。他の市町村では自宅保育者への支援もあるが、新庄市はない。金銭的に余裕がないし、預け先もないとなると、2 人目 3 人目を考える余力はない。保育園の一時預かりも満員で断られてしまうため、他にも預かり先を増やしてほしい。核家族で他に頼れる人がいないため、保育園や一時預かりが思うように使えないと厳しい。
- ◆ 待機児童がいない市になってほしい。待機児童がいても、産褥期の母親の負担を考えた仕組みを市として考えてほしい。宛名の子どもは 2 人兄弟の上の子で、2 歳のときに民間立保育園に預けているときに下の子が生まれた。宛名の子どもの年代は待機児童がおり、育休を取得するならば民間立保育園を退園し、家庭で面倒をみる旨の説明を受けた。待機児童がいる家庭も大変困っていることは理解しているつもりだが、新生児と 2 歳児を、出産して間もない母親が同時に面倒をみることは大変負担が大きいと感じた。産後間もない母親に、元気があり余る子供と手のかかる新生児の面倒をみるか、まだ体調も戻りきらないまま職場に復帰して働いてもらうか、2 択以外が選べるような市になってほしい。
- ◆ 保育園の先生方には大変お世話になっていて、とても有難いと思っている。先生方が長く働ける環境を作っていただけたらと思う。例えば給与、人数、施設環境などの面の支援。
- ◆ 出産した時点で保育施設を利用して職場復帰する予定のある方は、何月から利用するといったふうに保育施設に枠を空けていただければ、子育てしやすい親がいると思う。年の途中では預ける施設がなく、復帰延長したり 1 歳前の早くに預けるしかない状態である。1 歳まで復帰せず育休を取りたかったが、1 歳まで休んでしまうと 9 月では預ける場所がなかった。結果、4 月に合わせて生後 6 か月で復帰せざるを得なかった。
- ◆ 1 歳のときに仕事復帰したかったが、年度の途中で保育所などに空きがなく入所することができず、4 月まで仕事復帰を延ばすことになってしまった。0 歳児でも入所できる人数をもう少し増やしてほしいと思った。
- ◆ 難聴の障がい児が通えるところや学童などを増やしてもらいたい。障害とひとくくりにはせず別として考え、支援してほしい。郡部は酒田の方に行かないといけなのだが、通うとなったときの補助や何かあると助かる。通いたくても通えないなんてこともある。学童は使えないので、それに合わせて仕事から帰って来なくてはいけない。少しでも多く通えるところがあると、こちらとしても助かる。
- ◆ 言葉の教室の先生を増やしてほしい。受け入れ待ちが多いと思う。

ほか 24 件

【2. 子育て支援 ①子育て支援センター】

- ◆わらすこ広場もいいが、他の市町村のように建物が独立した支援センターなどがほしい。新庄は古いし、おもしろみもあまり感じないため行きたいと思わない。
- ◆わらすこ広場に図書館で借りた本の返却ができるといい。
- ◆現在子育てをしている中で、わらすこ広場やm o c o' s を利用させていただいているところだが、そういった独立した子育て支援センターの数がもっとあると、選択肢も増えて日々の子育てもより楽しくなるのではないかと思う。また、その中で行われるイベント内容も、季節にちなんだイベントや制作活動などが増えると、より充実するのではないかと思う。園内に併設している支援センターにも興味があるが、感染症などのことを考えると利用に悩むこともある。

ほか7件

【2. 子育て支援 ②イベント】

- ◆子育て中の方が集まってリラックスできる場所がほしい。コミュニティーの場や遊び場のあるカフェ、ベビーマッサージなど平日以外にも行ってほしい。コンサートや絵本の読み聞かせ、習い事体験などイベントをしてほしい。
- ◆妊娠中のプレママ広場での父親向けの話などを充実させてほしい。普段、保健センターでの遊びの広場や、子育て支援センターでのイベントなど、よく参加させていただいている。市の保健師さんやセンターの保育士さんには、いつもよくしていただいて感謝している。
- ◆子育てについての情報交換や悩み相談が子連れで気軽にできる、サークルのようなものがもっとあるといいと思う。子どもが遊んでいるときに、ママたちは気軽にお茶しながら話せるような場所。
- ◆幼児から参加できる英語のイベントや、読み聞かせなどを増やしてほしい。楽しく学べるようなイベントを開催してほしい。幼児期からできるものはたくさんある。土曜日が仕事なので、イベントも日曜日にしてほしい。
- ◆子供同士が遊べる場所や、コミュニティーサークルがもっとあるといい。子育て相談できる場所が増えると嬉しい。育休中に資格やスキル、これからのマネー講座のように、気分転換しつつ学べる場所やイベントがあると助かる。市が主催のおさがりイベントがあると助かる。
- ◆プレママに対しての母親学級があるように、祖父母も参加できる教室等があるといいと思う。

ほか11件

【2. 子育て支援 ③手当て・補助金】

- ◆現金や商品券の給付よりも、保育園や学校の給食費の無償化や、インフルエンザ等の予防接種の無償化を進めてもらいたい。
- ◆産後、市から10万円の支給があつてとても助かった。今後も続けてほしい。
- ◆第3子以降の保育料が無料、大学費が無料、援助などの条件付きの国からの保障は意味があるとは思えない。コロナ禍での子育て給付金はありがたかったが、一時的ではなく、持続した保証がなければ不安だらけの子育てで安心できない。生涯で1人も産まない若者が増えるのも当然である。子育て世代のファミリーカーなどの車の維持費の軽減や減税などあれば、リアルに有難く助かる。ぜひ市民の声を現実に生かして、明るい未来を皆が向いていける働きをしてもらいたい。
- ◆子どもを望んでいる世帯、不妊治療をしている人たちにもう少し助成してほしい。
- ◆市に限らずだが、多子世帯や母子家庭への支援は手厚く有難い限りだが、子が1人や2人の世帯では損をしている気持ちになるのが正直なところだ。少子化なのは分かるが、産みたくても産めない事情がある家庭も少なくないと思う。保育料や各支援金などは人数での差はなくしてほしいと思っている。金銭面でも平等であってほしい。
- ◆妊婦検診の補助券の範囲を金額的に増やしてほしい。
- ◆医療費が無料になることや、3番目の子供の保育料無料や、給食費の無料などでとても助かっている。3番目の子供だけでなく子供全員が対象となるように充実してほしい。
- ◆赤ちゃんが産まれた方には、月1でいいのでおむつやミルクの無料提供があればいい。チャイルドシートを買うための助成金など、もう少し子育てに関するものに補助金など出ればとても助かる。幼稚園に入園するときも、物をそろえるための支援金などほしい。母子家庭にだけでなく、子育てしている家庭すべてに対して。

ほか59件

【2. 子育て支援 ④情報提供】

- ◆どの支援もそうだが、市の窓口相談に行っても、こちらから提案しないと情報を貰えない。もっと親切な対応と情報の発信をお願いしたい。
- ◆新庄には子ども食堂があることをこの間知った。Instagramでたまたま見つけて知ったので、もっといろ

いろんな人に知ってもらえれば、利用したいご家庭はたくさんあるだろうと思う。

- ◆子供の予防接種などの時期に通知がほしい。
- ◆新庄市外から転出してきたばかりで情報が少なく、何も知らない。転入の際に詳しく説明がほしい。見返せるような資料がほしい。小児科の情報もない。新庄病院では独自のワクチン推奨期間を勧められ、国のワクチンスケジュールと合わず混乱した。市外で受ける際も申請書が必要なことを後日知り、大変だった。子育てハンドブックのこともアンケートで初めて知った。もっと周知してほしい。
- ◆子育てをするにあたって、自分はどんな支援がほしいのか、どんな事業や取り組みが自分の生活スタイルに合っているのかというのが当事者には逆に見えにくく、そういったときに母子手帳と一緒にもらった資料や「母子モ」のアプリなど、見やすくまとまっているものがあると安心する。子どもがまだ小さいこともあり、まだ大きな困りごとには直面していないが、何かあったらここに行ってみよう、こんな支援があるのだなど見させてもらっている。

ほか 16 件

【2. 子育て支援 ⑤相談】

- ◆出産や育児などについて相談する場があるが、もう少し回数を増やしたり、いつどこでしているのか分かりやすく発信してほしい。
- ◆初めての妊娠・出産で不安なことが多かったが、正直今は気軽に相談したい、利用したいと思える場がない。幸い、義母や実母などの家族が近くにいるのでサポートしてもらえているが、公的なサービスで、困ったときなどにもっと気軽に頼れるところがあったらいいのと感じることがある。
- ◆子供の発達を気軽に相談できる窓口があると良い。専門のスタッフがいて発育相談ができると良い。

ほか 13 件

【2. 子育て支援 ⑥その他】

- ◆お金だけの支援でなく、楽しく子育てができるよう子育て世代のパパやママの心のケアなども支援してほしい。
- ◆特に、初めて赤ちゃんを育てるママが孤独にならないような支援が必要だと思う。園に入ればコミュニティも生まれるが、ママは0～2歳児を家で子育てをする。現在、自由に参加できる子育て支援センターなどはあるが、必ず行くものでなければ面倒に感じ、家でいいやとなるママもいる。本当に支援が必要なママほど自ら出向いて行かないと思うので、検診とまで行かなくても必ず参加して、身長や体重を測ったり、絵本の読み聞かせをしたり、孤独になりがちなママが必ず外に出て人と触れ合える時間を設けることが大事だと感じる。
- ◆市町村独自の子育て支援を頑張してほしい。お知らせ等でも支援に力を入れている姿を見ているので、より子育て世帯に寄り添った支援の強化をお願いしたい。
- ◆私は双子の母で、他県では産後サポートとして多子子育て世帯の訪問サービスがあり、看護師が訪問しミルクを作り飲ませてくれたり、沐浴を代わってくれたり、離乳食と一緒に食べさせてくれたりするサービスがあった。一部有料だったと思うが、このサービスはとても羨ましく思った。私は祖父母との同居だったが、双子の他に2人の子どもがいる状態だったので、本当に人の手が足りないと感じた。また、上の子が小さい頃にはよく利用していたわらすこ広場や保健センターにも、双子を連れて行くことは本当にハードルが高く、コロナ禍ということもあったが、わらすこに初めて連れて行ったのは2歳を過ぎてからだだった。産後サポートがもう少し充実されることを願う。
- ◆他の市町村に比べて子育て制度が充実していないと思うので、もっと力を入れてほしい。子育て支援が薄く、人口が減少すれば市町村の収入が減る。つまり、市町村を活性化させるためには手厚い子育て支援が必要だと考える。その点において、新庄市は子育て支援が弱い。
- ◆郡部に比べると、新庄市の子育て支援や制度は遅れていると感じる。子育て住宅がなかったり、市と市民の繋がりが薄く支援サポートが薄い。多子に関するサポートも少ない。本当は新庄で暮らしたいが、いろいろなサポートや子育て支援を考えると、将来的にサポートの手厚い地域に引っ越すことも考えている。他だと出産祝い金があったり特産を利用した玩具がもらえたり、支援センターとの親密な関係が聞こえてきたりするが、新庄の人からは何も聞こえてこない。
- ◆現在は祖父母の協力があり育児に困っていることもないが、頼れる場がない中で共働きをしていくことは本当に大変だと思う。市や保育園等のサポートが必須であり、有難いと感じている。今後も新庄で子育てしていきたいと思えるような取り組みをぜひお願いしたい。

ほか 47 件

【3. 医療 ①医療費】

- ◆予防接種（任意）の費用を全額負担してほしい。
- ◆子どもの医療費がかからないのはとても助かっている。
- ◆高校まで医療費無料になり嬉しく思った。

- ◆産後2週間健診や、1か月健診分の助成券もいただきたい。県外で里帰り出産をしたが、里帰り先や周辺市町村では産後の健診分の助成券を配布されていた。

ほか9件

【3. 医療 ②医療機関】

- ◆小児科や皮膚科が市内に増えてほしい。
- ◆出産時、助産師さんたちが人手不足なのかイライラしていたり、産後の体調回復が良くなくこちらも困っているのに「これでは退院できない」と責められたり、他の人も女性特有の小さな嫌がらせを受けていて、次の出産は市外の病院がいいと思うほどだった。市でも出産・産後ケアが安心して受けられる場所などあればなと強く希望する。
- ◆新庄市では県立新庄病院でしか出産ができず、産むことについてももっと選択肢があれば良いと思った。
- ◆妊婦健診や日常的に利用できる婦人科の病院が、市内に1つしかない状況を至急改善してほしい。

ほか16件

【3. 医療 ③健診】

- ◆乳幼児健診の頻度をもっと増やしてほしい。何か心配なことがあっても、わざわざ自分から連絡して相談するか、わざわざサービスを予約することを考えると、一歩引いてしまう。健診や自宅訪問などがあれば、もっと気軽な気持ちで相談したり話などできるかと思う。
- ◆乳幼児健診をもっと増やせないだろうか。4か月健診の後は1歳半まで何もなく、子供の成長に伴う相談などできなかった。

ほか10件

【4. 環境 ①遊び場】

- ◆遊び場が少ない。わらすこ広場の他に、広々とした屋内で遊べる施設があれば嬉しい。かむてん公園や最上公園の新しい公園の遊具は、3歳からの物が多くて、0～2歳の子が遊べる遊具があったらいいのにと思っている。
- ◆夏場に水遊びできる施設があればうれしい。
- ◆わらすこもすごくありがたいが、0～3歳とそれ以上の年齢で遊ぶスペースが分かれていて、兄弟で利用しても大人が1人しかいないときは、上の子にも下の子にも制限をもたせて遊ばせている。幼児～小中高とみんなが集まって遊べるスペースをぜひお願いしたい。
- ◆市内に大規模屋内施設などの遊び場がないため、必然的におでかけは他の地域になっている。そのため食事や買い物も、週末はほぼ市内にはいない。これでは市内の収益が下がるばかりなので先行きが不安だ。わらすこやこらっせも利用しているが、継続して利用するには魅力が足りない。
- ◆冬も安全に遊べる施設を増やしてほしい。わらすこ広場のような小さい子が遊ぶ場所だけでなく、小学生や中高生も楽しく過ごせるような場所がないと思うので、あると嬉しい。
- ◆わらすこ広場が無料になりとても有難く思う。小学低学年までの利用ということで制限があるが、年齢の幅を広げ、高学年まで楽しめる場所や施設がほしい。他地域の方が充実しているのでわざわざ遠出して利用することも多い。市長より、最上地域全域で協力していくという話は伺っているので、実現を望んでいる。
- ◆公園の砂場をきちんと整備してほしい。もっと幅広い年齢の子どもたちが体を動かして遊べるような屋内外の施設がほしい。
- ◆遊べる場所や施設を増やしてほしい。障害のある子が利用できる場所ももう少し増えてほしい。
- ◆道の駅建設の話があるが、ぜひ併設施設として天候に関係なく遊べる屋内遊び場と、冬場も雪を楽しめる屋外広場の検討をお願いしたい。地元の人が気軽に訪れて、子供からおじいちゃんおばあちゃんまでが立ち寄れる施設にすることで、継続できる施設になると思う。
- ◆わらすこのような、夏暑い時期や冬寒い時期に室内で遊べる環境がもっとあるといいと思う。

ほか95件

【4. 環境 ②交通】

- ◆子育て中の人々が気軽に使えるタクシーがあれば、病院に行ったりするとき便利だと思う。予防接種や妊婦健診の用紙も毎回名前を書くのが大変だった。このアンケートも書くのが大変なので、ネットで回答できればなお良かった。
- ◆歩道ががたがたで、ベビーカーでの移動が大変だった。歩道や道路の整備をしてほしい。
- ◆学校の通学でバスを利用できる範囲が広がってはいるが乗れない。通学距離が長い児童にとっては、登校時は複数人で一緒に行けるからいいが、下校時は一人で下校することもあり、暗くなったときに心配がある。スクールバスの対象地域を距離で判断するのではなく、通学する人数や人の通りが少ない道ではないか、暗い道では

ないかなども考慮してほしい。
ほか5件

【4. 環境 ③商業施設】

- ◆妊娠期のときからママ友をつくりたいので集まる場所がほしい。
 - ◆新庄市内で子どものものを買うところが少ないのでもう少し店が多いと嬉しい。商業施設があると嬉しい。
- ほか7件

【4. 環境 ④公共施設】

- ◆公共施設に、子ども用トイレの設置または新しいものへの交換、おむつ交換台の設置、授乳室の設置。
 - ◆図書館のあの狭い駐車場に、冬は離れたところに停めろというのは、もはや利便性が低すぎる。学術的な発展も、子供たちの学力向上も図れないと思う。
- ほか9件

【4. 環境 ⑤その他】

- ◆子どもを育てながら仕事をする人たちが、もう少し子育てしやすい、働きやすい環境の整備をしてほしい。他の市町村と比べてしまうと、子どもに対して優しくないと思う。
 - ◆人口を増やす工夫のできる、もっとユーモアある環境を心から願う。
 - ◆栄養面が不安であるため、できれば高校も給食が出るようにしてほしい。子どもたちの成長のため、親たちの負担軽減のためにも市や県にお願いしたい。
 - ◆子ども会などの町内での事業が減ってしまっている現状で、地域の子どもたちの交流が減っている。町内での子ども会は人数減少などにより難しくなっているが、地区などの、もう少し範囲を広くした子ども会のようなものがあつたらいいのかなと思っている。地域でのコミュニケーションが増え、安心で安全な地域になれば良いと思う。
 - ◆子どもが成長すると2LDKの賃貸が手狭になってくるため引っ越しを考えているが、新庄市は広めの賃貸が少ないため、戸沢村の子育て世代の賃貸の利用も考えている。好んで引っ越しをしたいわけではないが、核家族世帯の住みやすい住宅はどこにあるのか。
 - ◆おむつ交換できる場所は増えているとは思いますが、キッズトイレの整備を希望する。
 - ◆障害のある人やグレーゾーンの人が増えているように聞いている。対応する保育士や環境整備に力を入れてほしい。
- ほか24件

【5. その他】

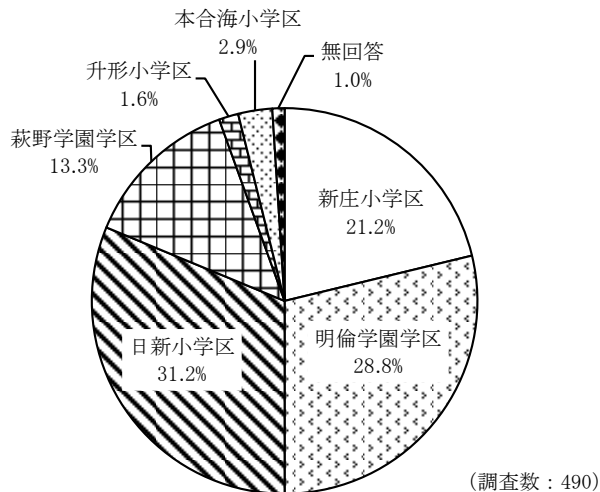
- ◆核家族にもっと支援してほしい。母と父で生計を立てなければいけないのに、子の預け先がないとすごく困る。病気のときに病児保育してくれるところを気兼ねなくスムーズに利用したい。
 - ◆発達障害児をもつ親が、発達障害に対してもっと理解できるようにしてほしい。
 - ◆教育・保育に携わる方々の働く環境を改善して、楽しく子どもたちと関わってほしい。人員不足であれば解消してほしい。賃金を上げてほしい。
 - ◆手続きが難しいものもあるので、わかりやすく簡単にしてほしい。行政の連携をしてほしい。同じ市役所内で同じことを何回も言わなければいけないので、相談しに行きたくなくなる。
 - ◆子育てしながら働くことに対して理解があり、子育てしながらでも働きやすい企業を増やしてほしい。
- ほか38件

Ⅱ－２ 小学生児童

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

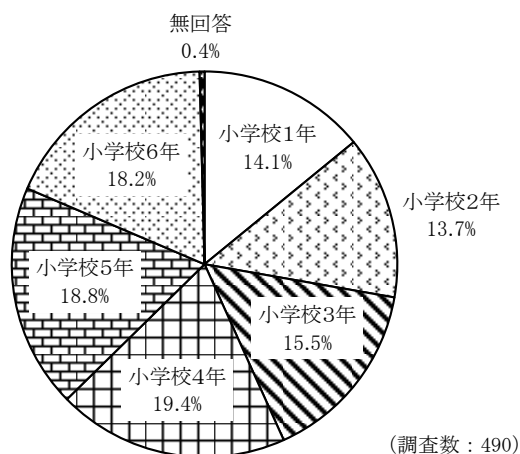


住まいの地区では、「日新小学区」(31.2%) が最も多く、次いで「明倫学園学区」(28.8%)、「新庄小学区」(21.2%) となっている。

2. お子さんと家族の状況について

(1) お子さんの学年【問2】

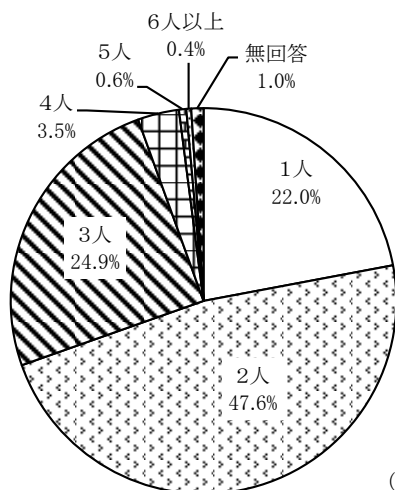
問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



学年では、「小学校4年」(19.4%) が最も多く、次いで「小学校5年」(18.8%)、「小学校6年」(18.2%) となっている。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。



(調査数: 490)

子どもの人数では、「2人」(47.6%)が最も多く、次いで「3人」(24.9%)、「1人」(22.0%)となっている。

また、子どもが2人以上いる方の末子の年齢では、「9歳」(13.5%)が最も多く、次いで「8歳」(12.2%)、「11歳」(11.1%)となっている。

【末子の年齢】[2人以上のお子さんがいらっしゃる場合]

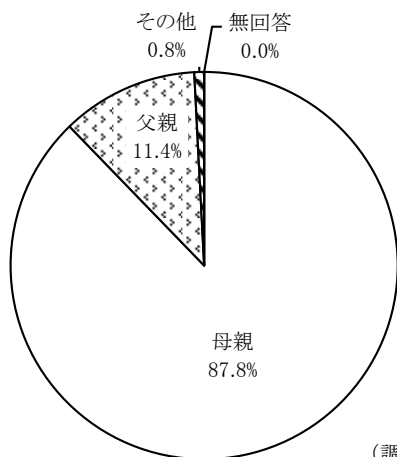
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
構成比	3.2%	1.3%	1.3%	3.7%	3.2%	5.6%	6.9%	10.6%
	9	10	11	12	13	無回答	合計	
	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳			
構成比	12.2%	13.5%	10.9%	11.1%	5.3%	11.1%	100.0%	

(調査数: 377)

(3) この調査票にご回答いただく方(宛名のお子さんからみた関係)【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

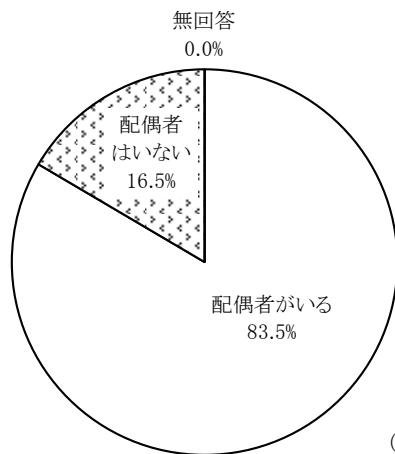


(調査数: 490)

調査の回答者では、「母親」が87.8%、「父親」が11.4%となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

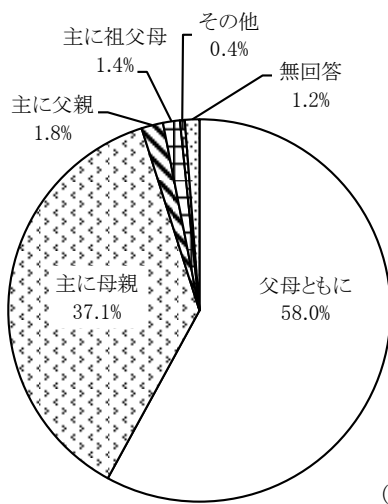
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



配偶者の有無では、「配偶者がいる」が83.5%、「配偶者はいない」が16.5%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

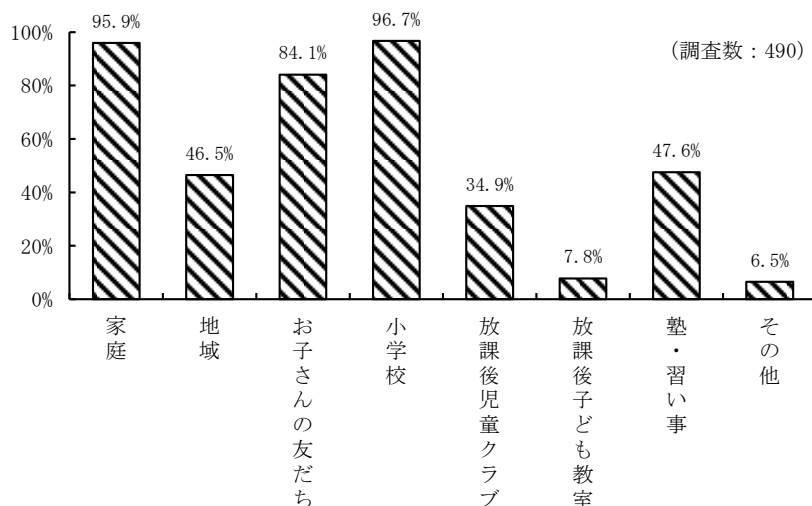


子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(58.0%) が最も多く、次いで「主に母親」(37.1%) となっている。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境【問7】

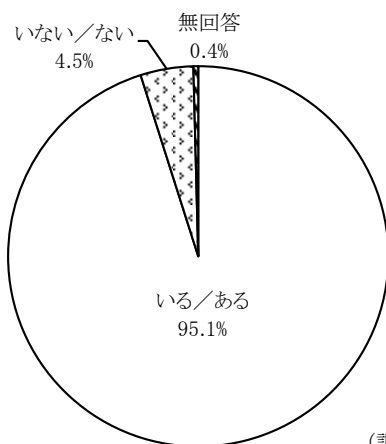
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境では、「小学校」が96.7%と最も多く、次いで「家庭」（95.9%）、「お子さんの友だち」（84.1%）となっている。

(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所の状況【問8】

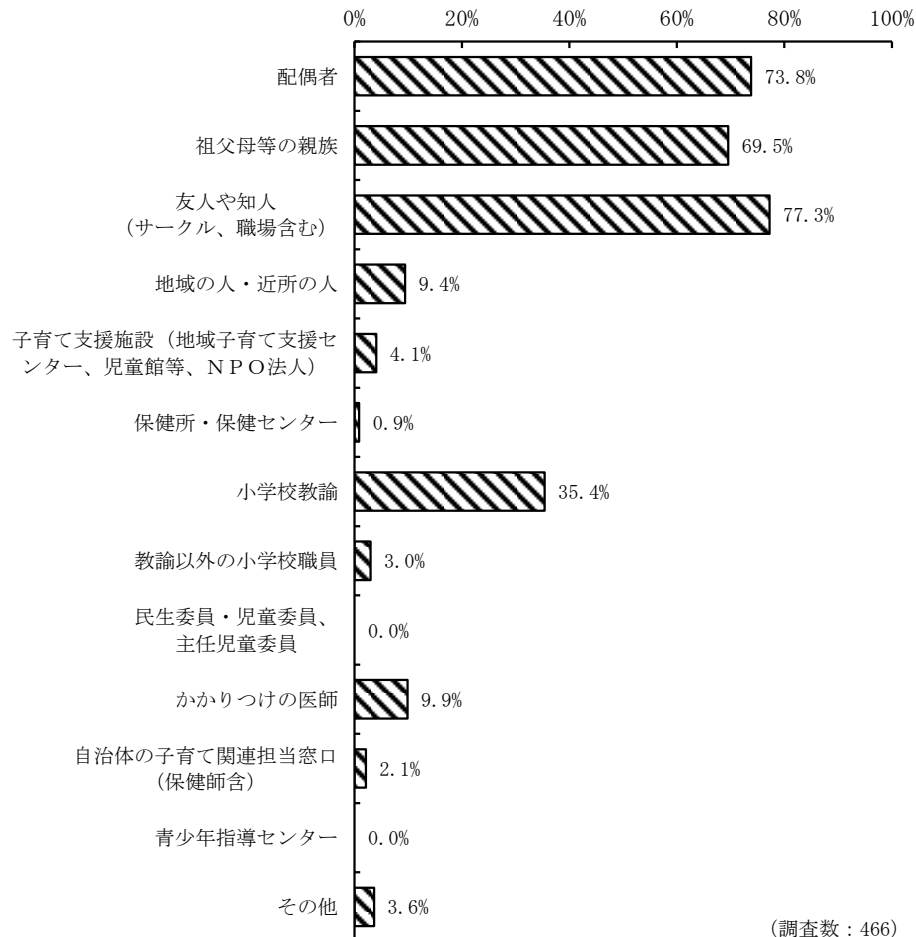
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、95.1%が「いる／ある」と回答している。

(3) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問8-1】

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「友人や知人（サークル、職場含む）」が77.3%と最も多く、次いで「配偶者」（73.8%）、「祖父母等の親族」（69.5%）となっている。

(4) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先がない理由【問8-2】

問8-2 問8で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。その理由をご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人、場所がない方に理由をたずねたところ、「引っ越してきてママ友もいなくて、実家も離れている」、「両親に頼れる状況ではないため」など15件の意見が寄せられた。

(5) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問9】

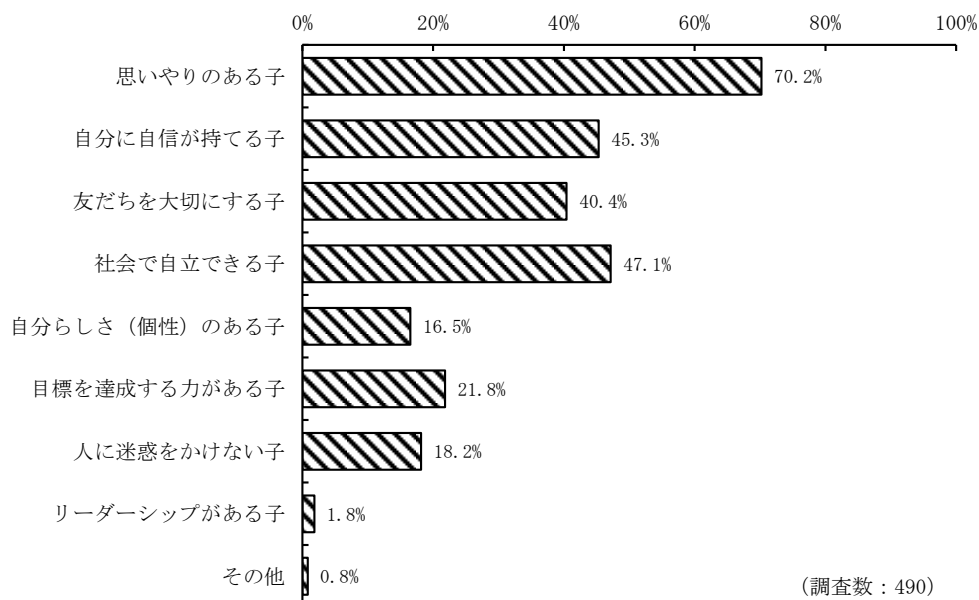
問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者、教員など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

分 類	件 数	構成比
相談できるサポート	35	16.1%
学校・教員のサポート	24	11.0%
金銭的なサポート	15	6.9%
身近な人による見守りサポート	13	6.0%
日常生活のサポート	12	5.5%
学校以外での学習のサポート	10	4.6%
情報提供	10	4.6%
病児に対するサポート	8	3.7%
送迎等のサポート	7	3.2%
集いの場によるサポート	7	3.2%
放課後のサポート	6	2.8%
親の休息のサポート	6	2.8%
行政に希望するサポート	6	2.8%
一時預かりサポート	6	2.8%
遊びの場のサポート	5	2.3%
障がい児に対するサポート	4	1.8%
その他	32	14.7%
特にサポートは不要：満足	12	5.5%
合 計	218	

子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいと考えるかについては、218件の意見が寄せられ、「相談できるサポート」、「学校・教員のサポート」に関する記述が多くなっている。

(6) 宛名のお子さんは、どんな子に育ってほしいと思うか【問10】

問10 宛名のお子さんは、どんなお子さんに育ってほしいと思いますか。当てはまる項目上位3つまで○をつけてください。

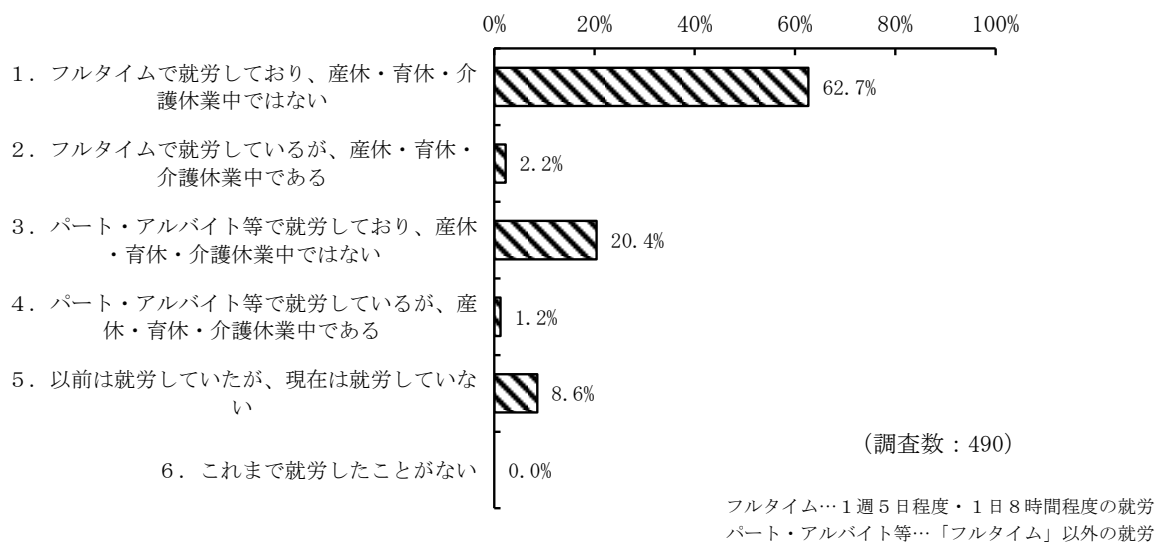


どんな子に育ってほしいと思うかでは、「思いやりのある子」が70.2%と最も多く、次いで「社会で自立できる子」(47.1%)、「自分に自信が持てる子」(45.3%)「友だちを大切にする子」(40.4%)となっている。

4. 保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 11(1)】

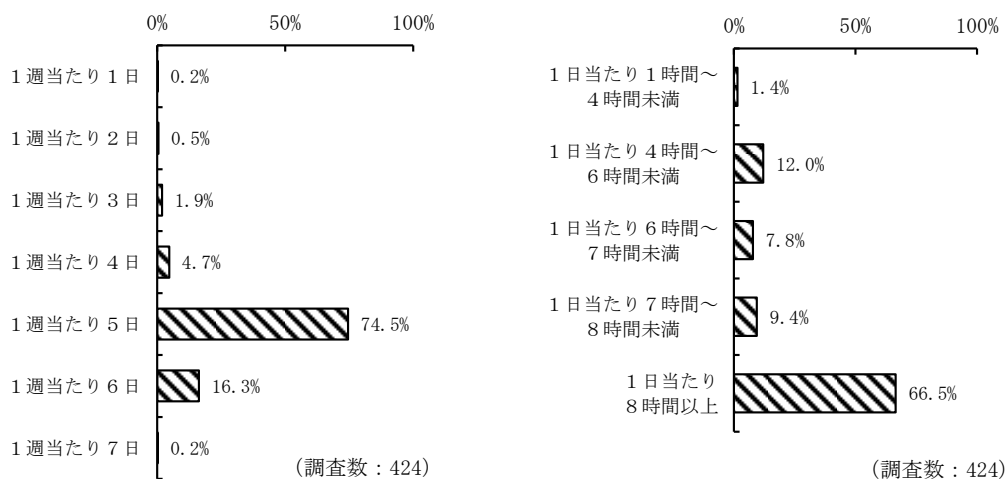
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が62.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（20.4%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（8.6%）となっている。

(2) 母親の就労日数、就労時間について【問 11(1)-1】

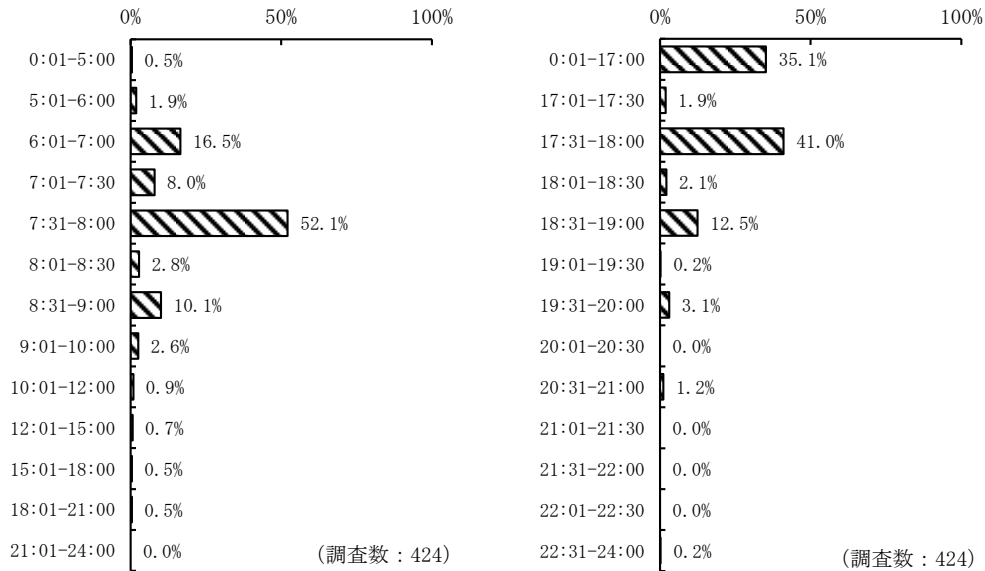
問 11(1)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が74.5%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が66.5%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(1)-2】

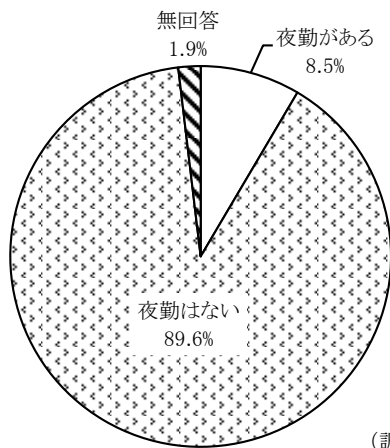
問 11(1)-2 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間は、「7 時 31 分～8 時」が 52.1%と最も多く、帰宅時間は、「17 時 31 分～18 時」が 41.0%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無【問 11(1)-3】

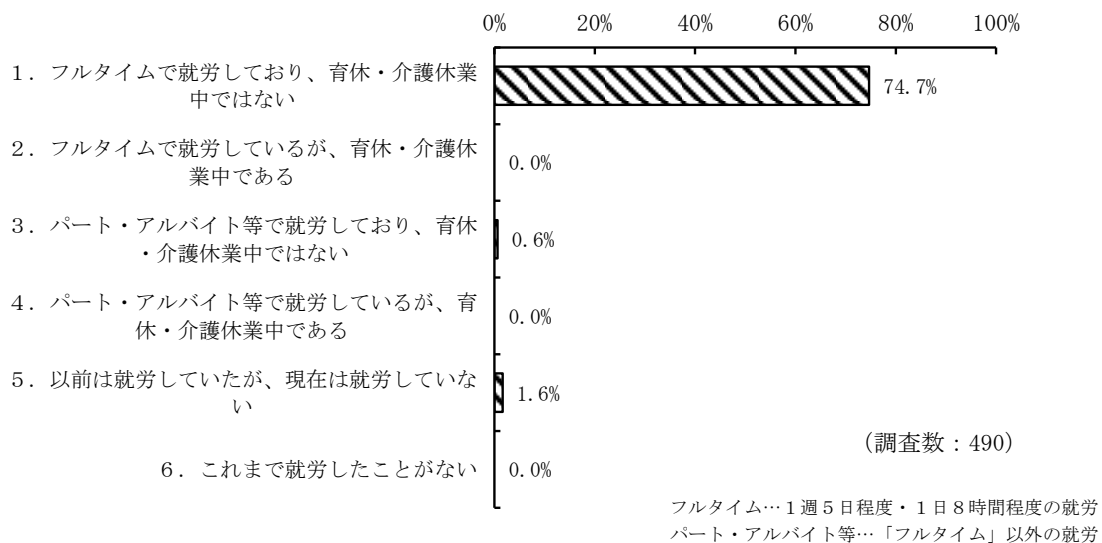
問 11(1)-3 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が 8.5%、「夜勤はない」が 89.6%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況〔母子家庭の場合は記入は不要〕【問 11(2)】

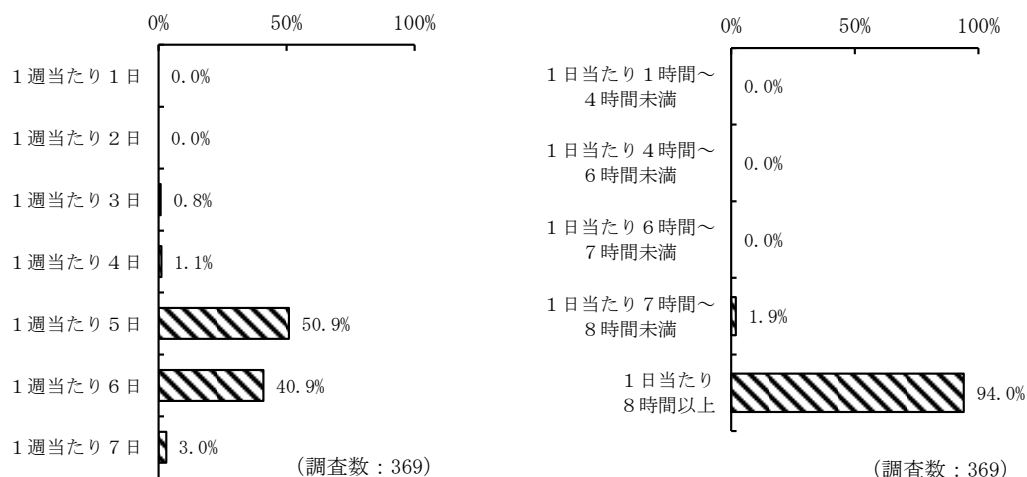
問 11(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が74.7%と最も多く、7割以上となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 11(2)-1】

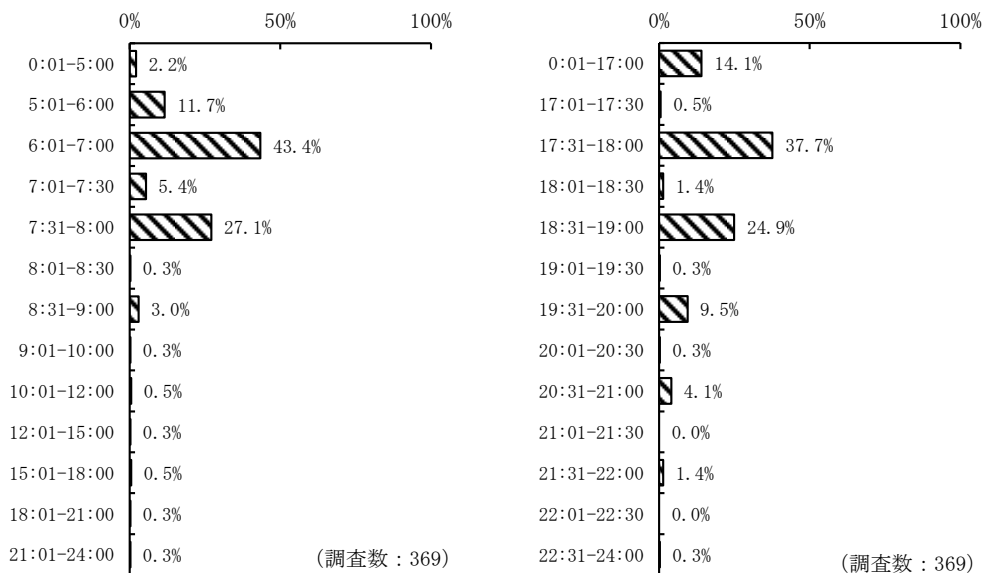
問 11(2)-1 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が50.9%と最も多く、次いで「6日」(40.9%)となっている。1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が94.0%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(2)-2】

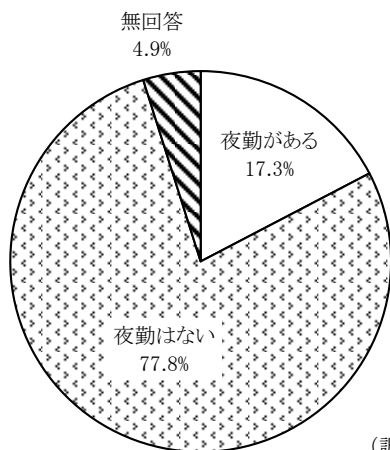
問 11(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「6時1分～7時」が43.4%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が37.7%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 11(2)-3】

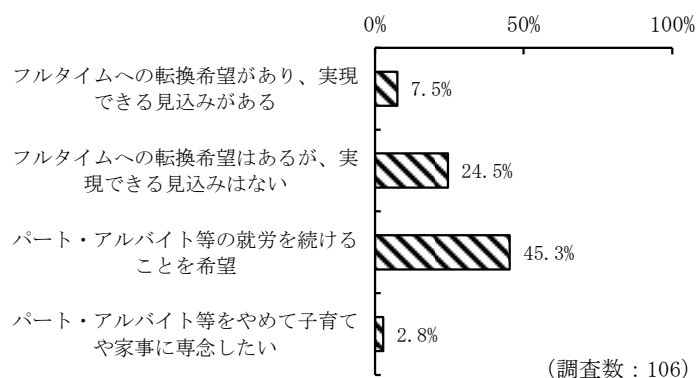
問 11(2)-3 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が17.3%、「夜勤はない」が77.8%となっている。

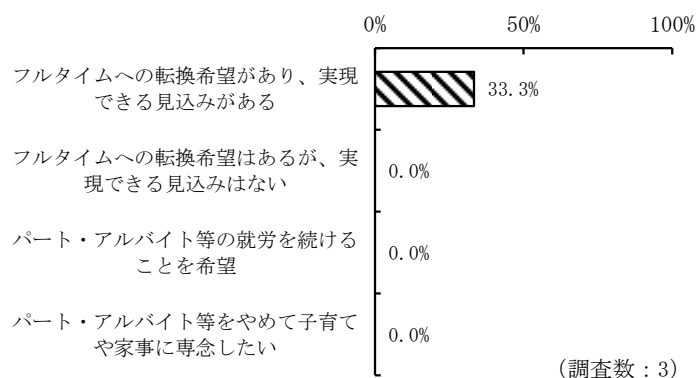
問 12 問 11 の（１）または（２）で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（９）母親のフルタイムへの転換希望【問 12(1)】



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 45.3%と最も多く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（24.5%）となっている。

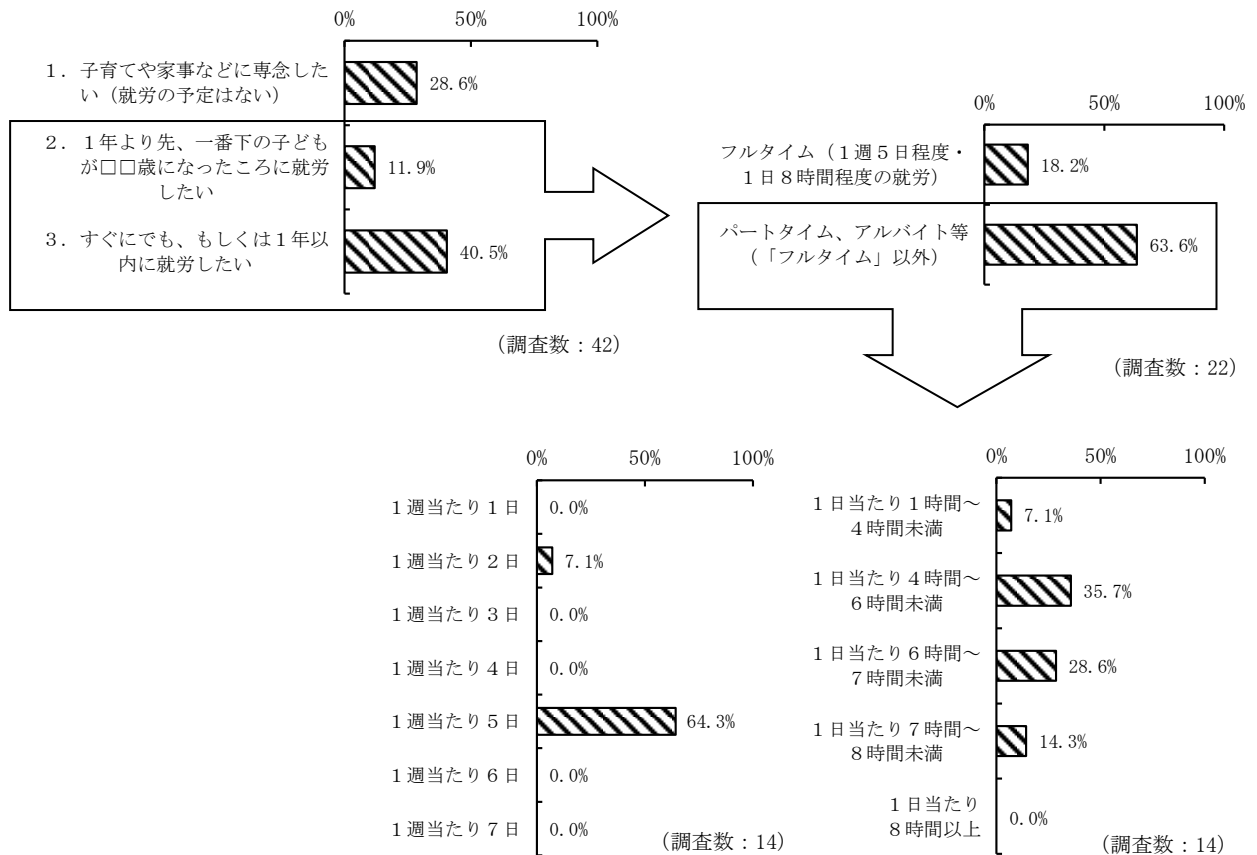
（10）父親のフルタイムへの転換希望【問 12(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 33.3%となっている。

問 13 問 11 の（１）または（２）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

（11）母親の就労希望【問 13(1)】



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】[問13(1)で2を選択]

（単一回答）

	1 1歳～2歳	2 3歳～5歳	3 6歳～8歳	4 9歳～11歳	5 12歳以上	無回答	合 計
構成比	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%

（調査数：5）

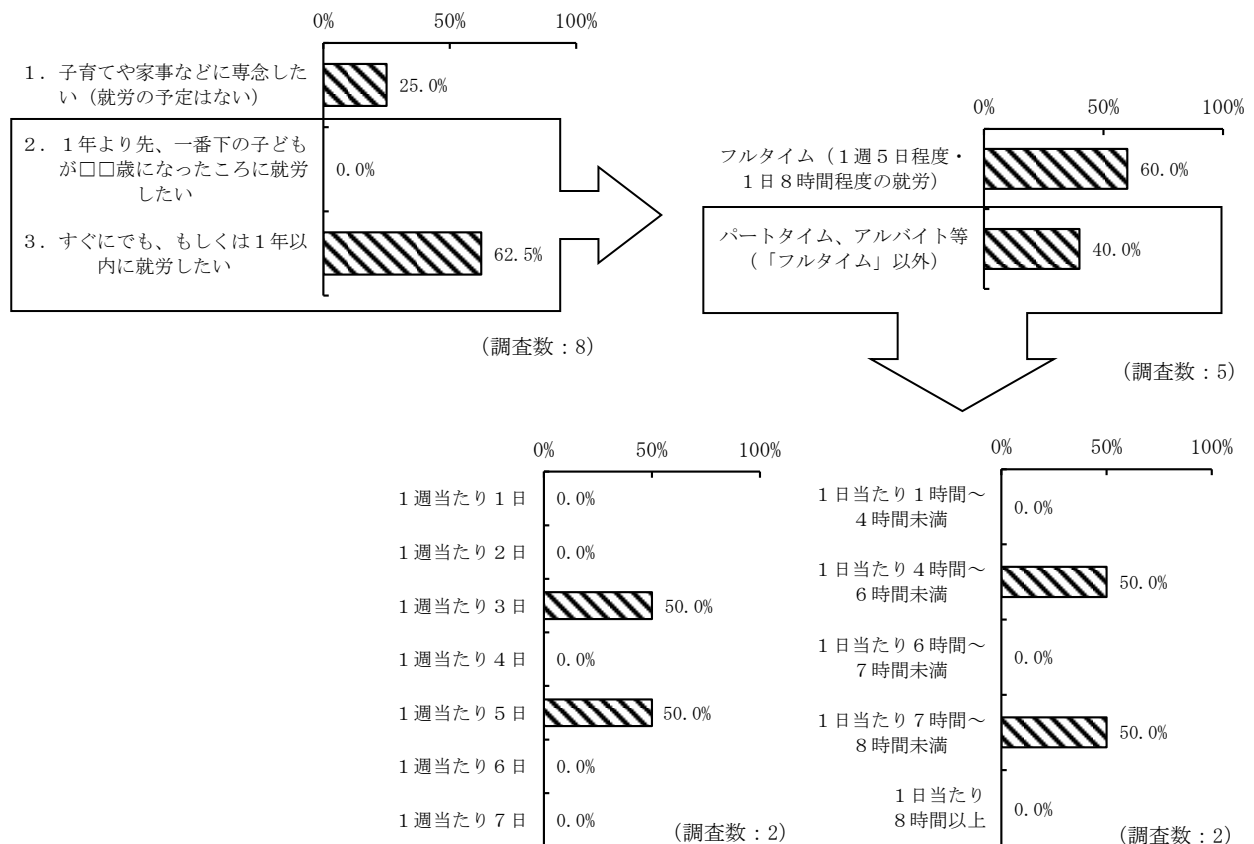
現在就労していない母親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.5%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が11.9%（「9歳～11歳」が最も多い）と5割以上の就労希望がある。

一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が28.6%となっている。

希望する就労形態では、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」（63.6%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（18.2%）となっている。

パートタイム・アルバイト等への就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「5日」が64.3%と最も多くなっている。また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が35.7%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 13(2)】



現在就労していない父親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%と、6割以上の就労希望がある。

一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が25.0%となっている。

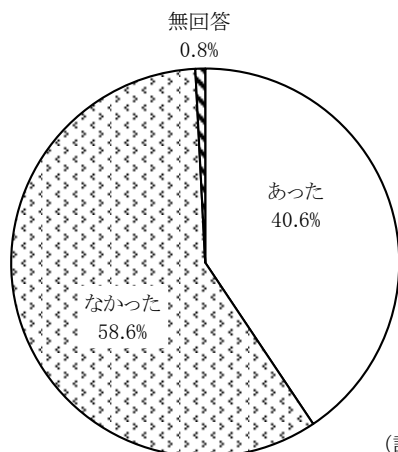
希望する就労形態では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（60.0%）、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」（40.0%）となっている。

パートタイム・アルバイト等への就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「3日」、「5日」がともに50.0%となっている。また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」、「7時間～8時間未満」がともに50.0%となっている。

5. 病気の際の対応について

(1) この1年間に、病気やケガで小学校が利用できなかった状況【問 14】

問 14 宛名のお子さんについて、この1年間に、病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要がありましたか。

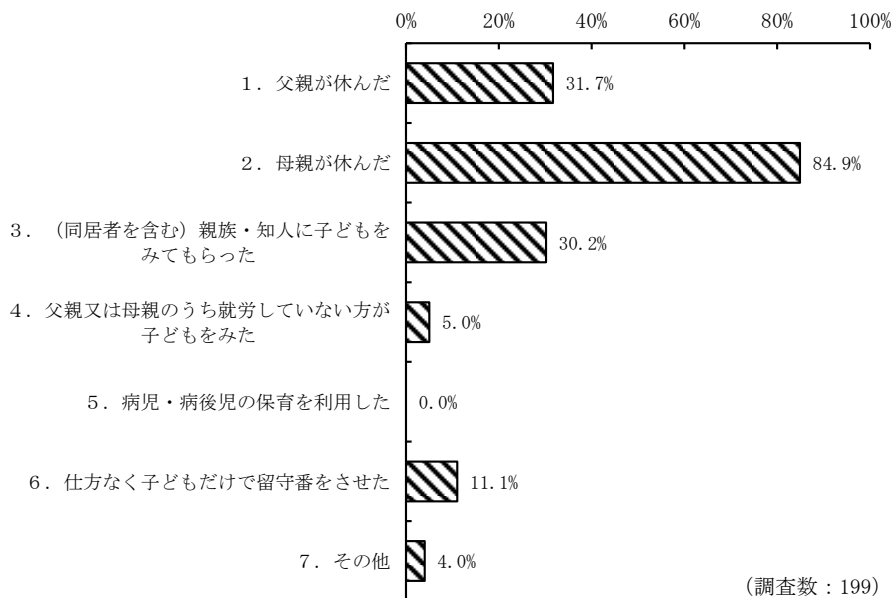


(調査数：490)

この1年間に、子どもが病気やケガで小学校が利用できなかった状況では、「あった」が40.6%、「なかった」が58.6%となっている。

(2) 小学校が利用できなかった場合の対処方法【問 14-1】

問 14-1 宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通うことができなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。



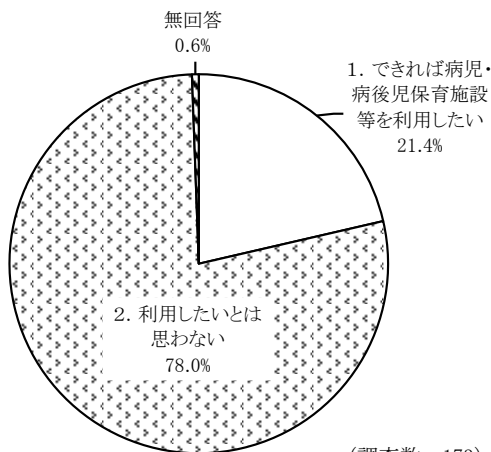
(調査数：199)

病気やケガで小学校が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が84.9%と最も多く、次いで「父親が休んだ」(31.7%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(30.2%) となっており、母親への依存度が高くなっている。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 14-2】

問 14-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。



病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が 78.0%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 21.4%となっている。

【保育施設等を利用したいと思われた日数】【問 14-2 で 1 を選択】

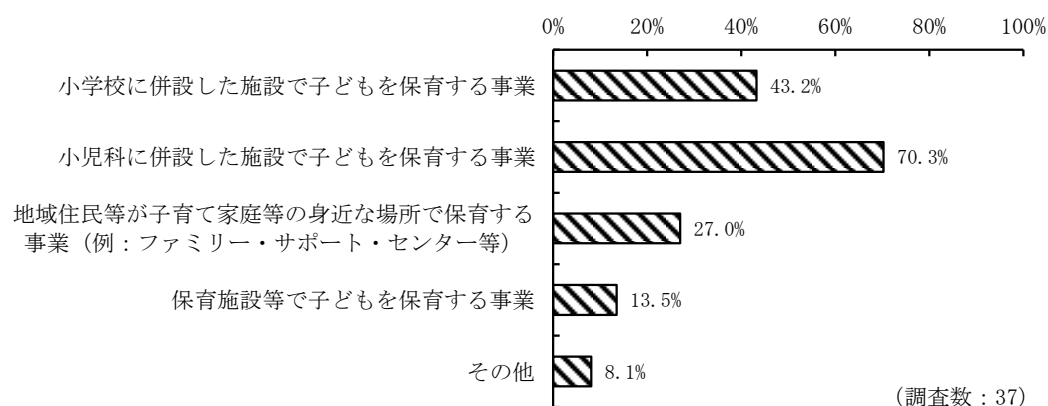
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	合 計
	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日 ～ 12 日	13 日 ～ 24 日	25 日 ～ 30 日	31 日 ～		
構成比	16.2%	16.2%	8.1%	0.0%	16.2%	2.7%	21.6%	2.7%	0.0%	0.0%	16.2%	100.0%

(調査数：37)

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 14-3】

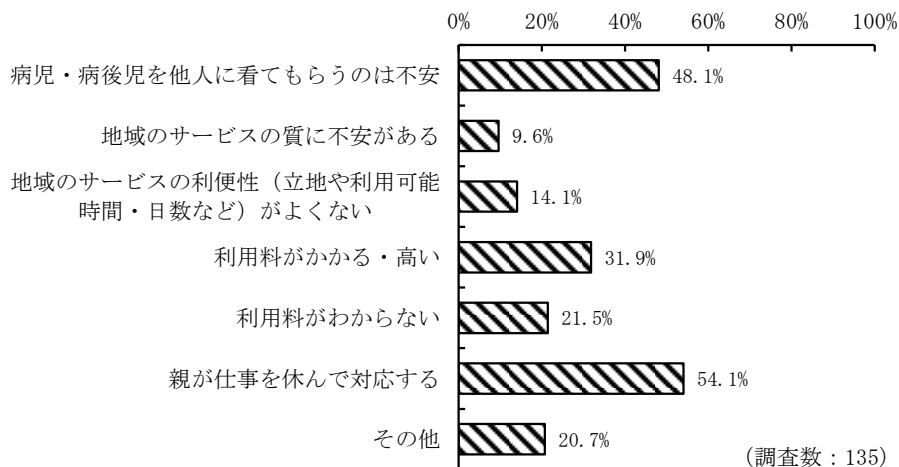
問 14-3 問 14-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.3%と最も多く、次いで「小学校に併設した施設で子どもを保育する事業」(43.2%)となっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 14-4】

問 14-4 問 14-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

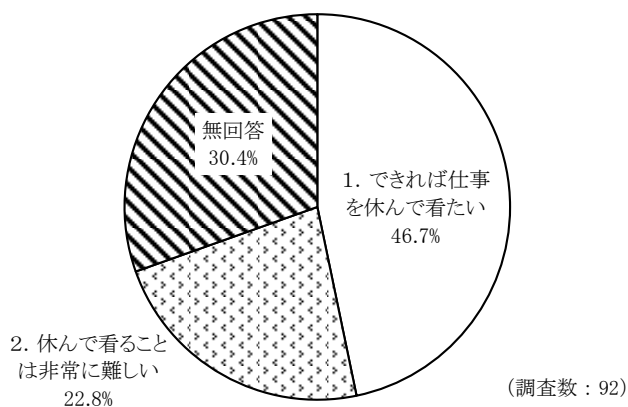


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が 54.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(48.1%)、「利用料がかかる・高い」(31.9%)となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 14-5】

問 14-1 で「3.」から「7.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 14-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「7.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。



病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が 46.7%、「休んで看することは非常に難しい」が 22.8%となっている。

【仕事を休んで看たかった日数】【問 14-5 で 1 を選択】

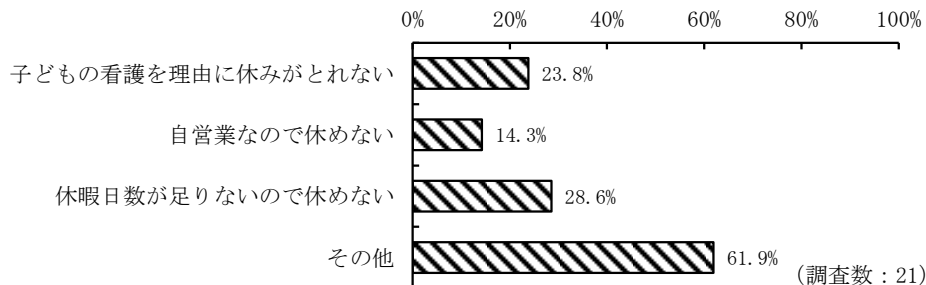
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	合 計
	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日 ～ 12 日	13 日 ～ 24 日	25 日 ～ 30 日	31 日 ～		
構成比	9.3%	18.6%	25.6%	0.0%	9.3%	2.3%	16.3%	9.3%	0.0%	0.0%	9.3%	100.0%

(調査数:43)

(7) 病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由【問 14-6】

問 14-6 問 14-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう
 われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

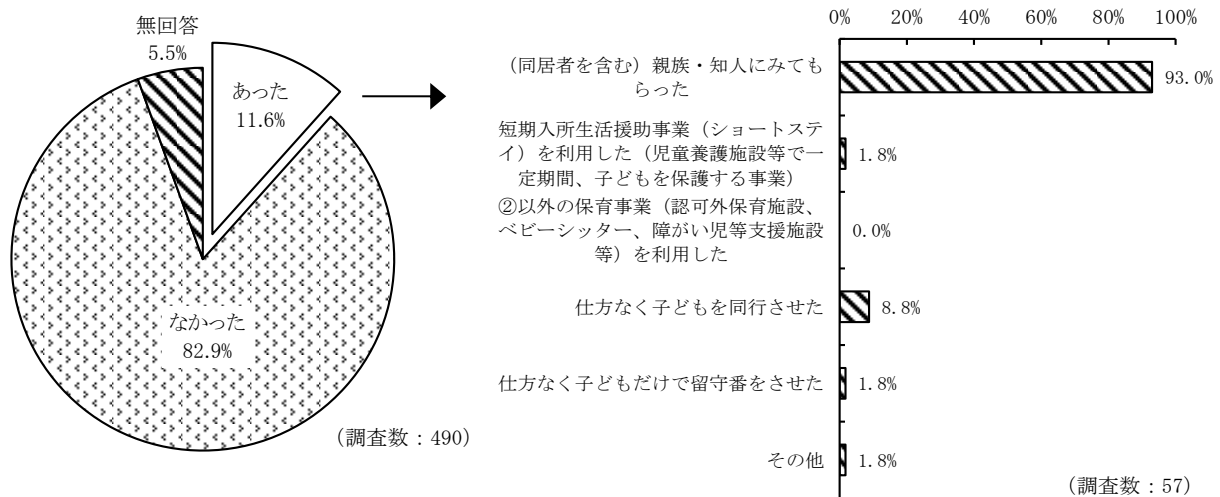


病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由では、「その他」が 61.9%と最も多く、次いで「休假日数が足りないので休めない」(28.6%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(23.8%)となっている。

「その他」では、「職場の人手不足」、「仕事を代理できる人がいない」などが挙げられた。

(8) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 15】

問 15 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。



【対処方法別の年間宿泊数】

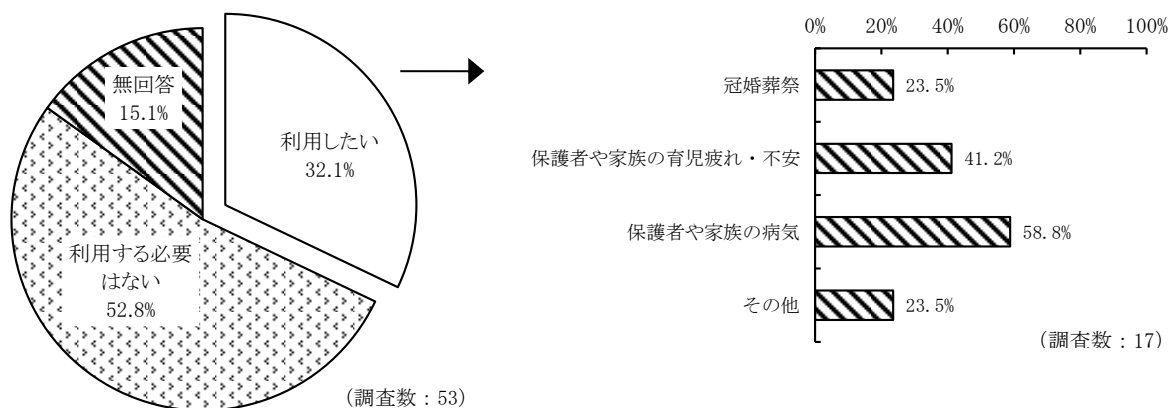
	1	2	3	4	5	6	7	無回答	合 計
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊～		
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった (n=53)	26.4%	13.2%	9.4%	5.7%	13.2%	3.8%	22.6%	5.7%	100.0%
短期入所生活援助事業を利用した (n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
仕方なく子どもを同行させた (n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 (n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

保護者の用事で、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が 11.6%、「なかった」が 82.9%となっている。

あった場合の対処方法では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 93.0%と最も多くなっている。

(9) 短期入所生活援助事業の利用希望の有無【問 15-1】

問 15 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
問 15-1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を口内に数字でご記入ください。



【対処方法別の年間宿泊数】

(単一回答)

	1 1泊	2 2泊	3 3泊	4 4泊	5 5泊	6 6泊	7 7泊～	無回答	合 計
冠婚葬祭 (n= 4)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%
保護者や家族の育児疲れ・不安 (n= 7)	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	100.0%
保護者や家族の病気 (n=10)	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
その他 (n= 4)	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%

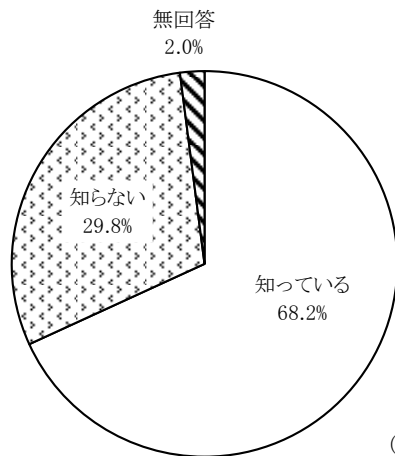
短期入所生活援助事業の利用希望の有無では、「利用したい」が32.1%、「利用する必要はない」が52.8%となっている。

利用したい理由では、「保護者や家族の病気」が58.8%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(41.2%)となっている。

(10) 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度【問 16】

問 16 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルを知っていますか。

(15歳未満：＃8000 または、TEL023-633-0299 午後6時～翌日午前8時)

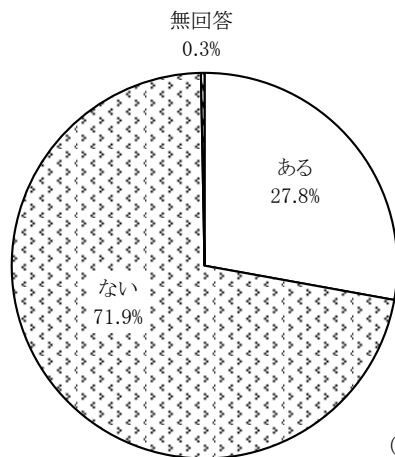


山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度では、「知っている」が68.2%、「知らない」が29.8%となっている。

(11) 利用の有無【問 16-1】

問 16 で「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-1 利用したことは、ありますか。

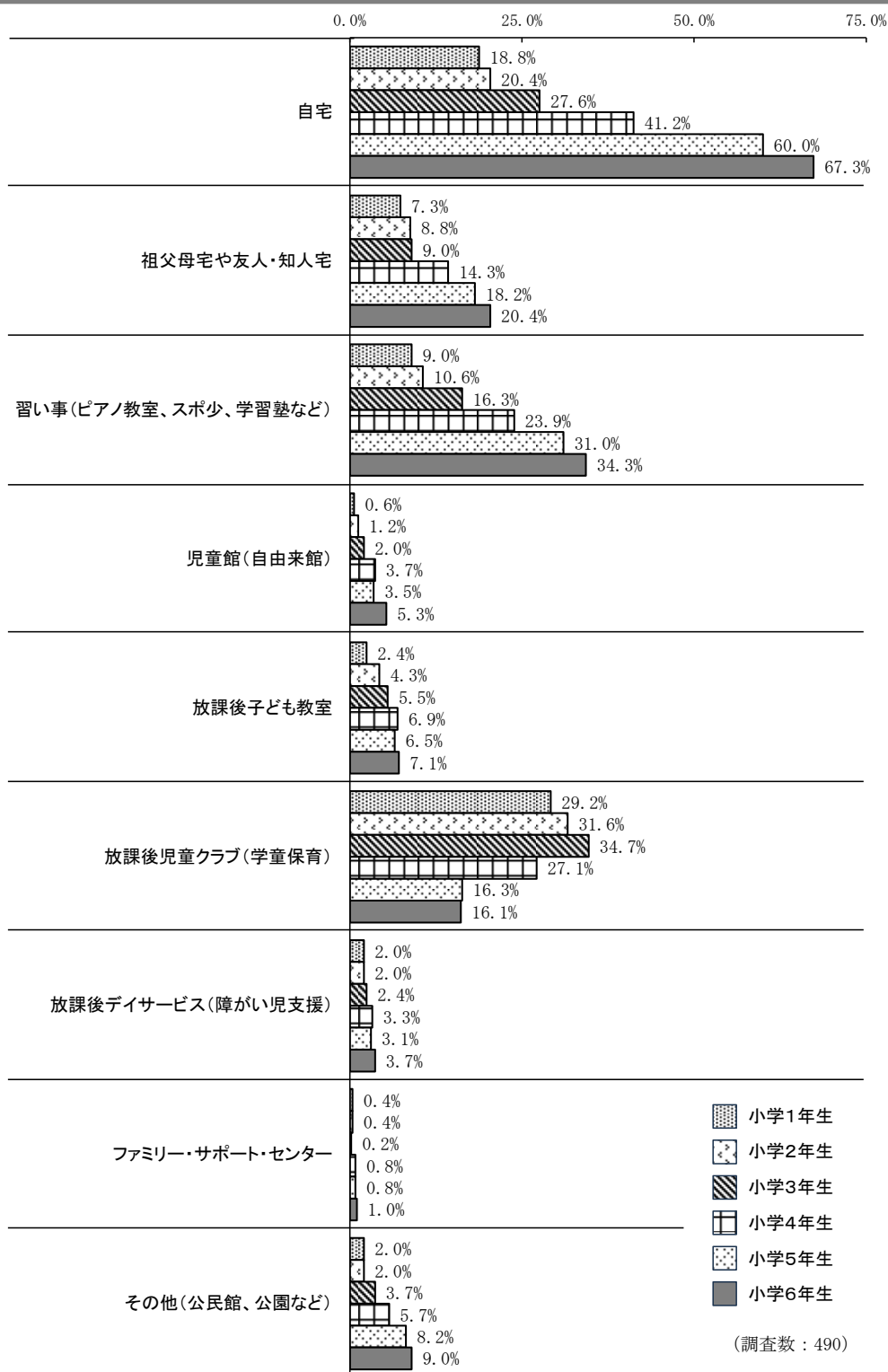


利用したことが「ない」が71.9%、「ある」が27.8%となっている。

6. 放課後の過ごし方について

(1) 過ごさせたい場所【問17】

問17 宛名のお子さんについて、現在の学年から6年生までの放課後を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別の欄に下記（選択肢1から9までの選択した番号すべてを記入してください。）



放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、低学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も多く、高学年では「自宅」、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」が多い傾向となっている。

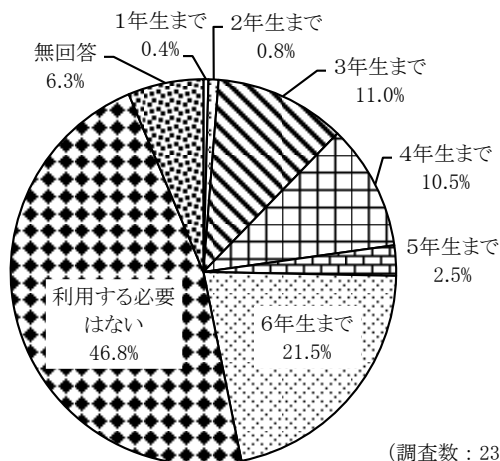
(2) 場所ごとの日数【問 18】

問 18 宛名のお子さんについて、問 17 で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、週何日ぐらいですか。選択した番号に対応する表の内に数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」の場合には、何時まで利用を希望するかも数字でお書きください。

		1 自宅	2 祖父母宅や友人・知人宅	3 習い事（ピアノ教室、スポーツ、学習塾など）	4 児童館（自由来館）	5 放課後子ども教室	6 放課後児童クラブ（学童保育）	7 放課後デイサービス（障がい児支援）	8 ファミリー・サポート・センター	9 その他（公民館、公園など）
小学1年生	週1日	5.4%	25.0%	43.2%	33.3%	33.3%	0.7%	0.0%	0.0%	60.0%
	週2日	12.0%	19.4%	25.0%	0.0%	0.0%	1.4%	20.0%	0.0%	10.0%
	週3日	12.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	週4日	2.2%	5.6%	2.3%	0.0%	0.0%	2.8%	10.0%	0.0%	0.0%
	週5日	29.3%	22.2%	0.0%	33.3%	25.0%	73.4%	20.0%	0.0%	10.0%
	週6日	6.5%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	20.0%	0.0%	0.0%
	週7日	19.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
小学2年生	週1日	5.0%	18.6%	26.9%	16.7%	28.6%	0.6%	0.0%	0.0%	60.0%
	週2日	7.0%	20.9%	42.3%	33.3%	9.5%	1.9%	10.0%	0.0%	10.0%
	週3日	14.0%	4.7%	9.6%	0.0%	4.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	週4日	3.0%	2.3%	1.9%	0.0%	0.0%	3.2%	10.0%	0.0%	0.0%
	週5日	29.0%	20.9%	0.0%	16.7%	23.8%	74.8%	20.0%	0.0%	10.0%
	週6日	6.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	週7日	22.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	10.0%	0.0%	0.0%
小学3年生	週1日	7.4%	22.7%	26.3%	20.0%	40.7%	0.6%	0.0%	0.0%	44.4%
	週2日	14.8%	20.5%	31.3%	30.0%	11.1%	3.5%	8.3%	0.0%	11.1%
	週3日	11.1%	2.3%	21.3%	10.0%	0.0%	6.5%	8.3%	0.0%	16.7%
	週4日	5.2%	4.5%	2.5%	0.0%	0.0%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	週5日	27.4%	27.3%	1.3%	20.0%	18.5%	68.8%	33.3%	0.0%	5.6%
	週6日	3.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	8.3%	0.0%	0.0%
	週7日	20.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
小学4年生	週1日	4.0%	25.7%	22.2%	27.8%	47.1%	1.5%	6.3%	50.0%	35.7%
	週2日	10.4%	14.3%	34.2%	22.2%	17.6%	3.0%	18.8%	0.0%	17.9%
	週3日	13.4%	7.1%	20.5%	11.1%	2.9%	6.0%	0.0%	0.0%	17.9%
	週4日	4.5%	4.3%	4.3%	0.0%	2.9%	6.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	週5日	38.1%	25.7%	0.9%	16.7%	5.9%	64.7%	37.5%	0.0%	10.7%
	週6日	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	週7日	15.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
小学5年生	週1日	3.4%	28.1%	15.8%	29.4%	40.6%	2.5%	6.7%	25.0%	40.0%
	週2日	7.8%	18.0%	37.5%	11.8%	15.6%	3.8%	20.0%	25.0%	25.0%
	週3日	10.2%	7.9%	22.4%	11.8%	9.4%	7.5%	0.0%	0.0%	15.0%
	週4日	4.4%	4.5%	7.9%	0.0%	6.3%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	45.9%	22.5%	3.3%	17.6%	3.1%	60.0%	33.3%	0.0%	5.0%
	週6日	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	週7日	16.3%	2.2%	0.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
小学6年生	週1日	3.9%	28.0%	14.3%	30.8%	40.0%	3.8%	11.1%	40.0%	36.4%
	週2日	7.3%	20.0%	36.3%	15.4%	14.3%	7.6%	22.2%	20.0%	27.3%
	週3日	10.6%	7.0%	24.4%	7.7%	5.7%	3.8%	0.0%	0.0%	18.2%
	週4日	3.9%	5.0%	6.0%	3.8%	2.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	46.1%	20.0%	4.2%	15.4%	5.7%	59.5%	33.3%	0.0%	4.5%
	週6日	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	7.6%	5.6%	0.0%	0.0%
	週7日	15.8%	1.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.3%

問 19 問 17 または問 18 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ等の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

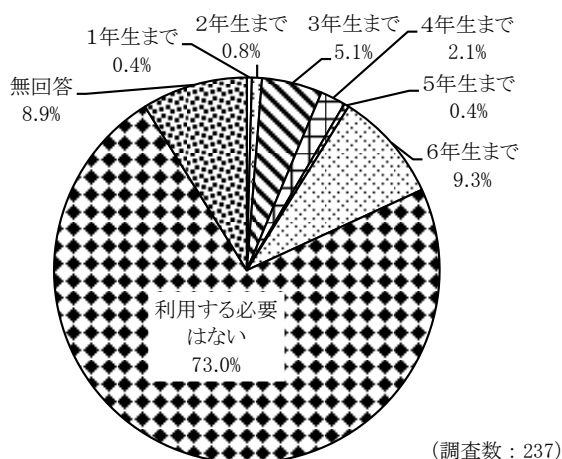
（3）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が21.5%、「3年生までは利用したい」が11.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」は46.8%となっている。

（4）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(2)】

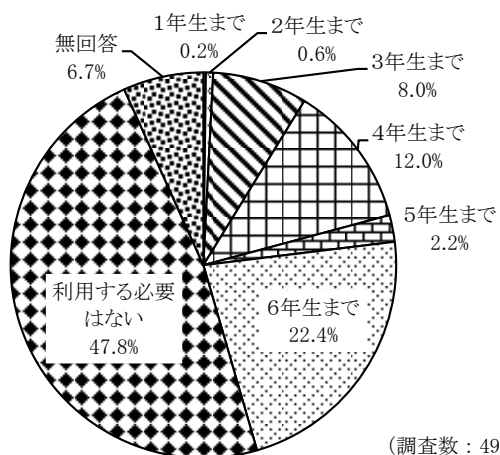


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が9.3%、「3年生までは利用したい」が5.1%となっている。（「無回答」除く）

一方、「利用する必要はない」は73.0%となっている。

（5）長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 20】

問 20 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

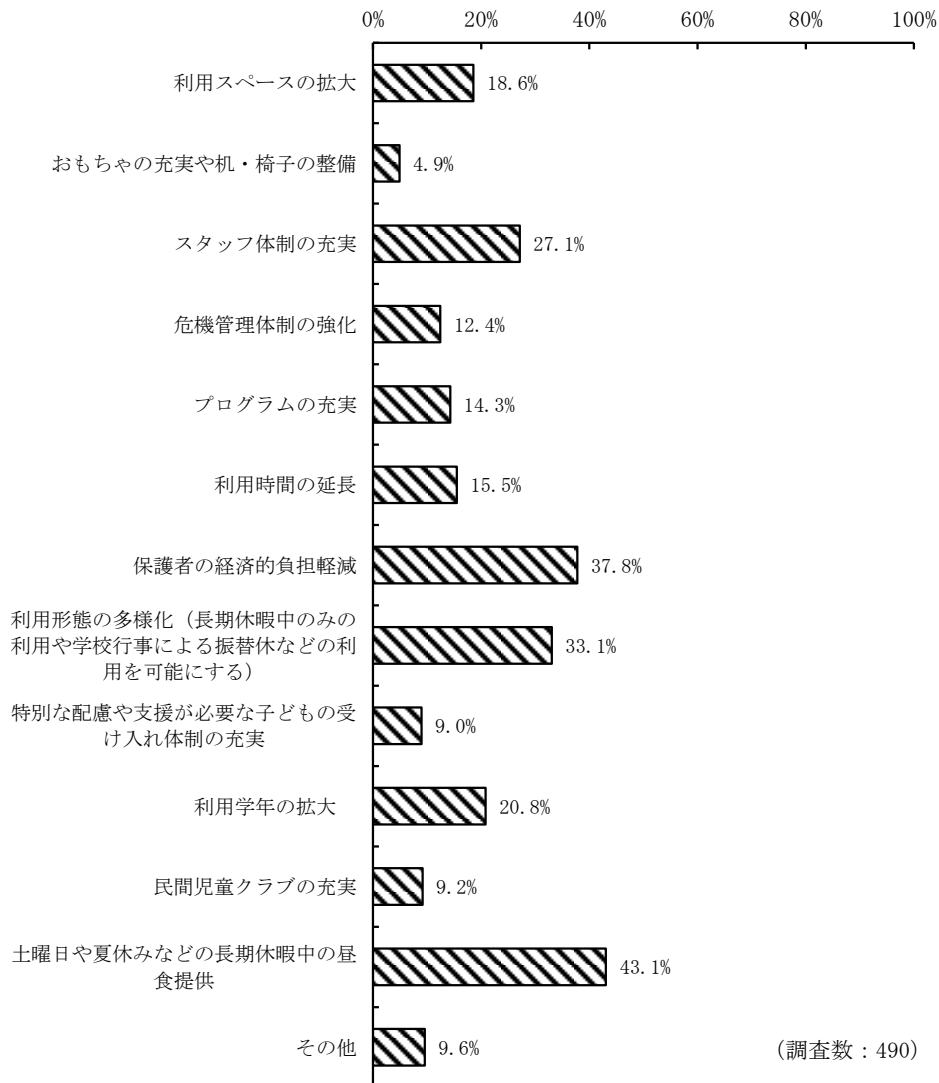


長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が22.4%、「4年生までは利用したい」が12.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」は47.8%となっている。

(6) 放課後児童クラブに今後望むこと【問 21】

問 21 放課後児童クラブに今後望むことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



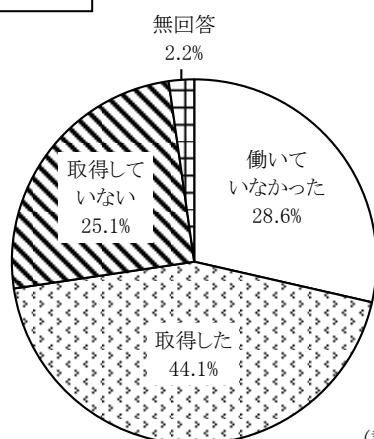
放課後児童クラブに今後望むことでは、「土曜日や夏休みなどの長期休暇中の昼食提供」が43.1%と最も多く、次いで「保護者の経済的負担軽減」(37.8%)、「利用形態の多様化（長期休暇中のみの利用や学校行事による振替休などの利用を可能にする）」(33.1%)、学習サポートなどの回答となっている。

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 22】

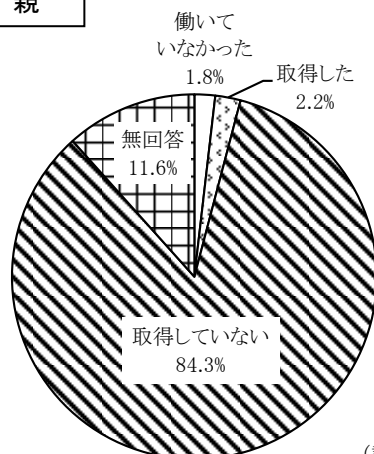
問 22 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母 親

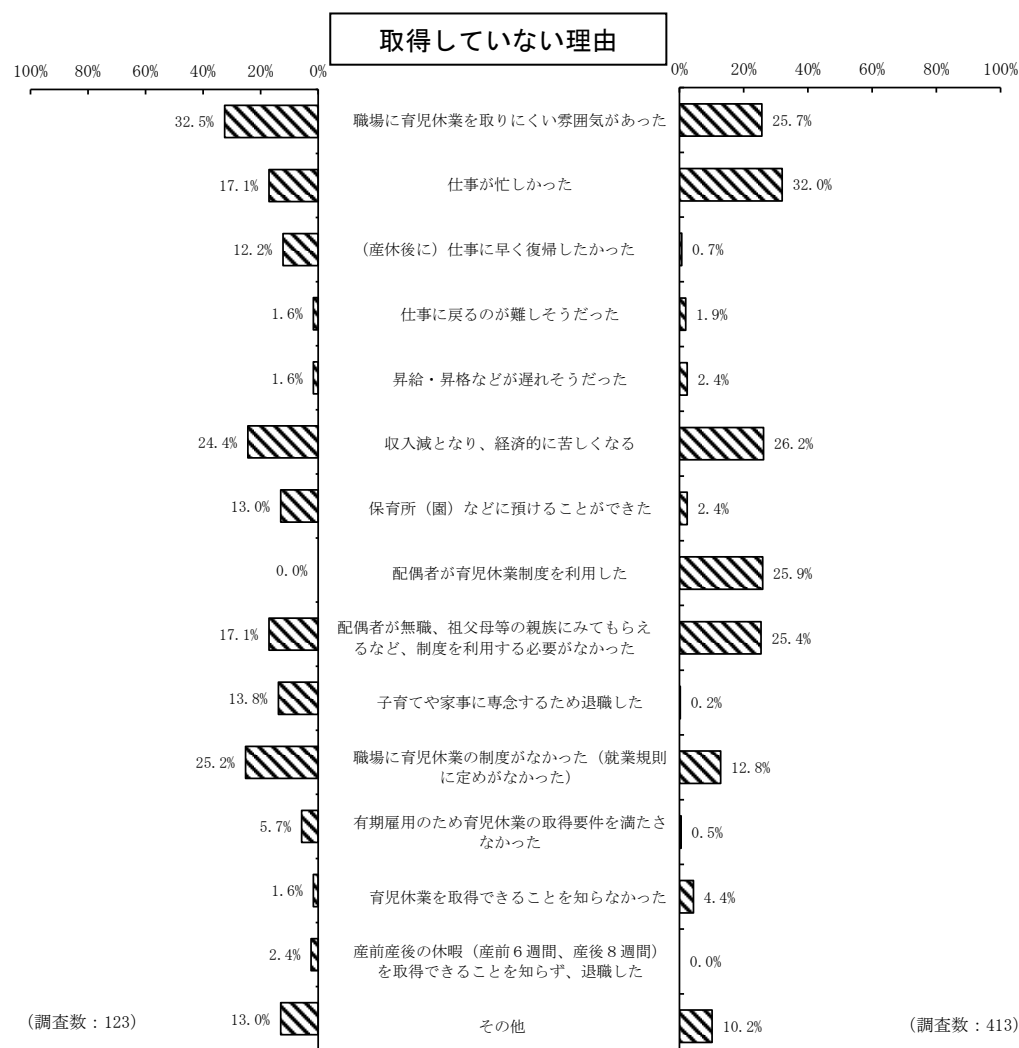


(調査数：490)

父 親



(調査数：490)



子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した」が44.1%、「取得していない」が25.1%となっている。

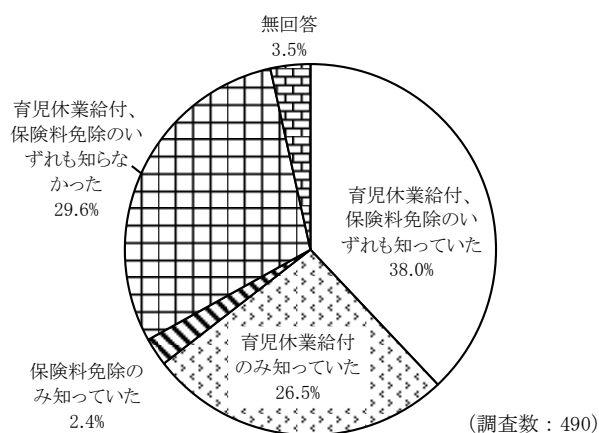
また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.5%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（25.2%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（24.4%）となっている。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した」が2.2%であり、「取得していない」が84.3%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が32.0%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」（26.2%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（25.9%）となっている。

（２）育児休業給付、保険料免除の認識度【問 22-1】

問 22-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

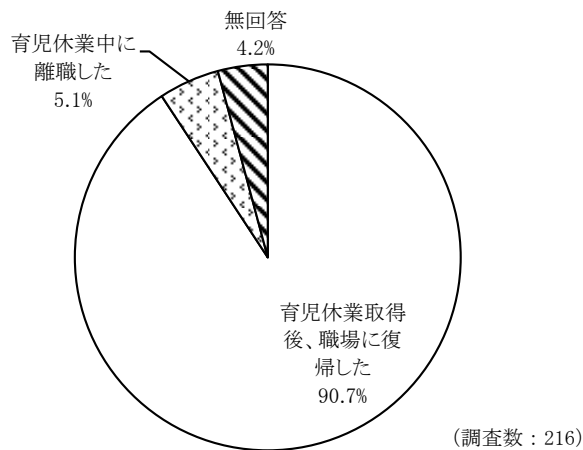


育児休業給付、保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が38.0%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（29.6%）、「育児休業給付のみ知っていた」（26.5%）となっている。

問 22 で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

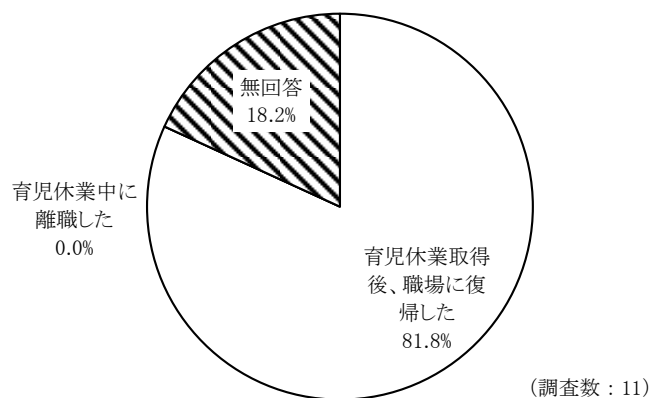
問 22-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（３）母親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(1)】



母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 90.7%となっている。

（４）父親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(2)】

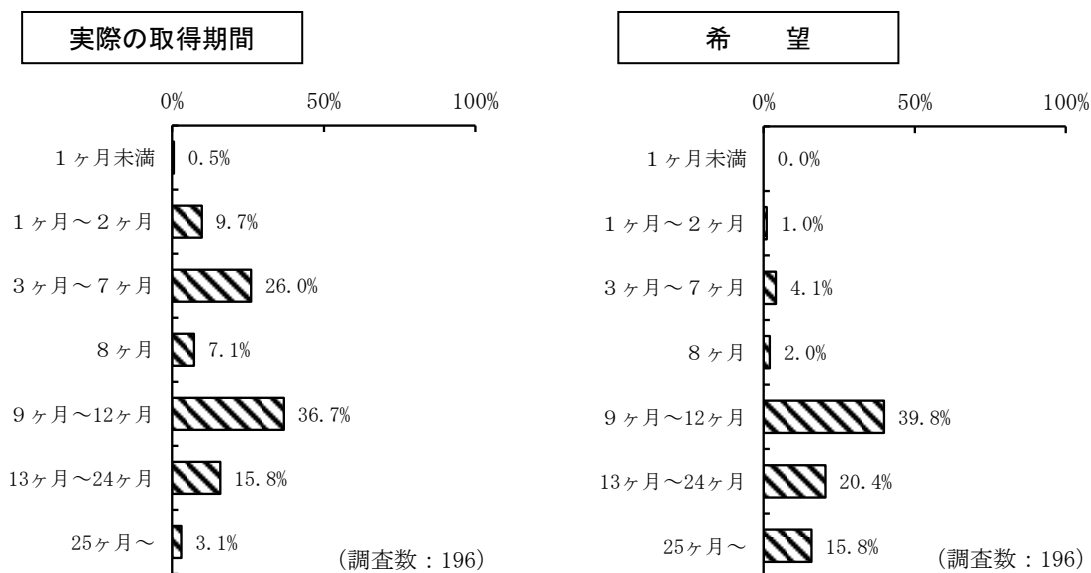


父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 81.8%となっている。

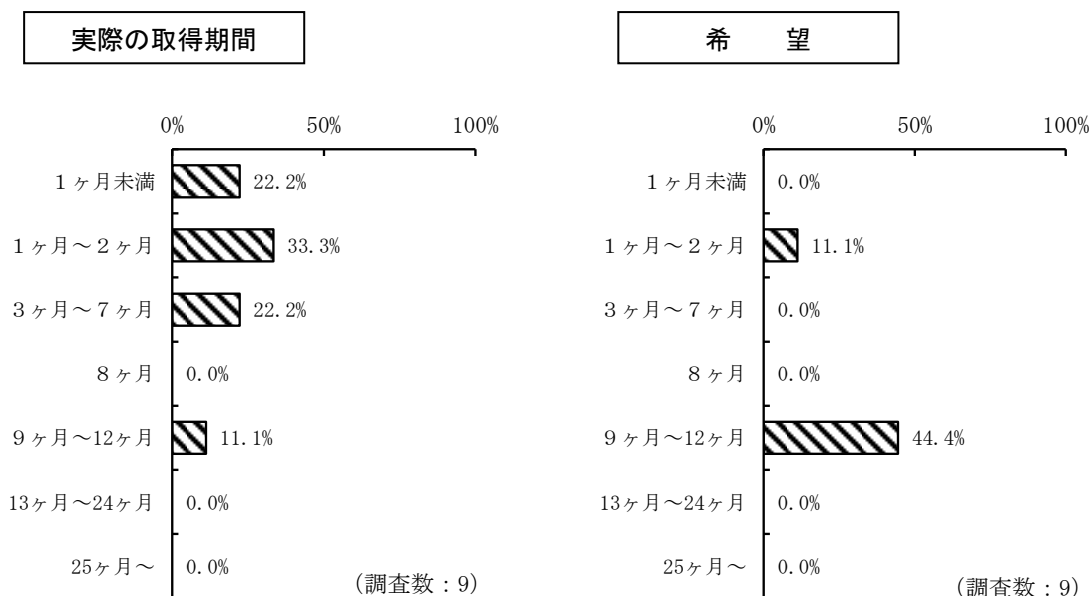
問 22-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 22-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(1)】



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(2)】



母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」が36.7%と最も多く、次いで「3ヶ月～7ヶ月」(26.0%)となっている。

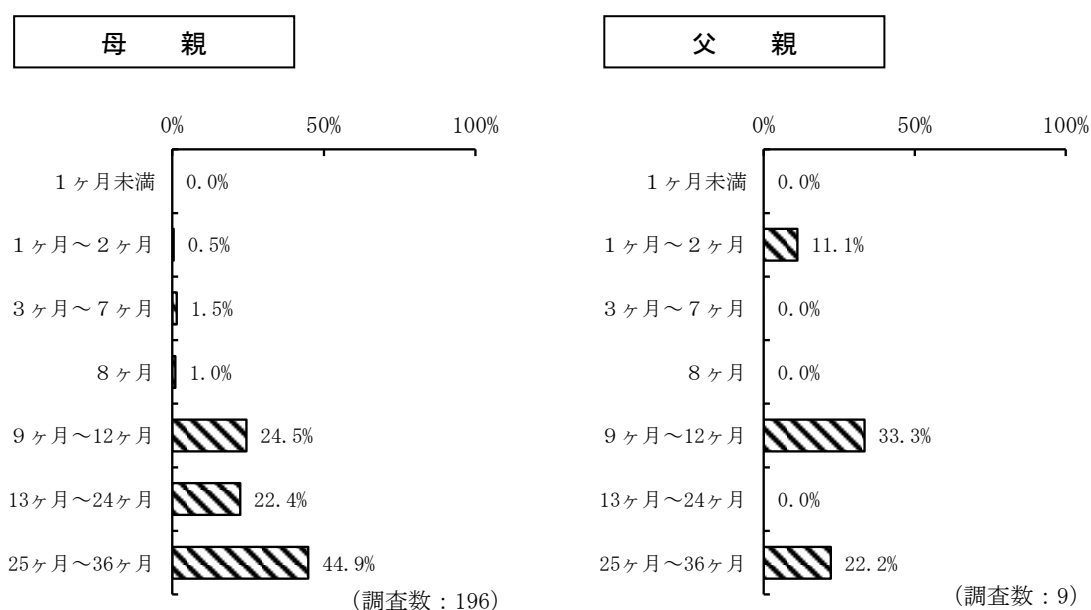
また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が39.8%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(20.4%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「1ヶ月～2ヶ月」が33.3%と最も多く、次いで「1ヶ月未満」、「3ヶ月～7ヶ月」(ともに22.2%)となっている。

また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が44.4%と最も多くなっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【問22-4(1)(2)】

問22-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。



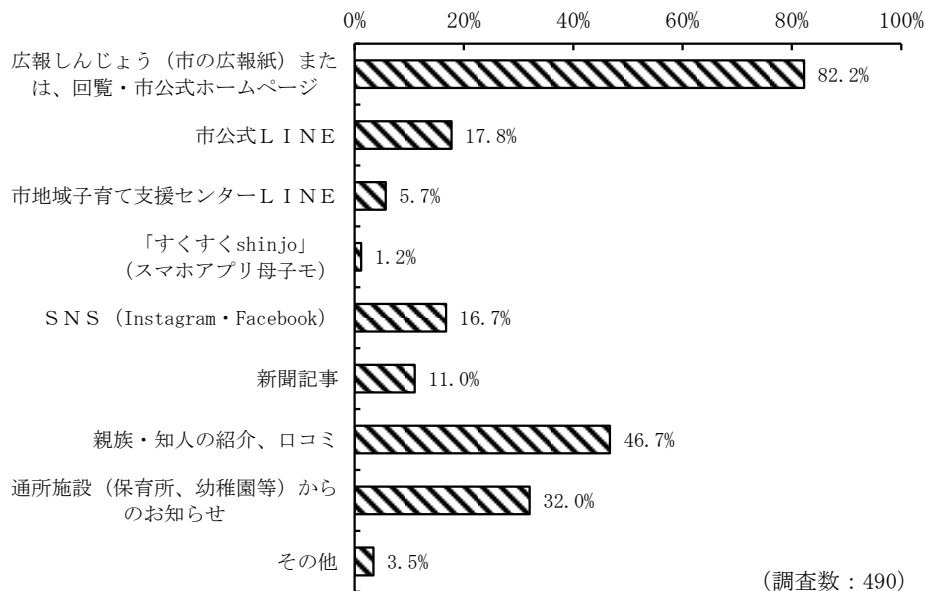
母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～36ヶ月」が44.9%と最も多くなっている。

父親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が33.3%と最も多くなっている。

8. 子育て支援に関する情報について

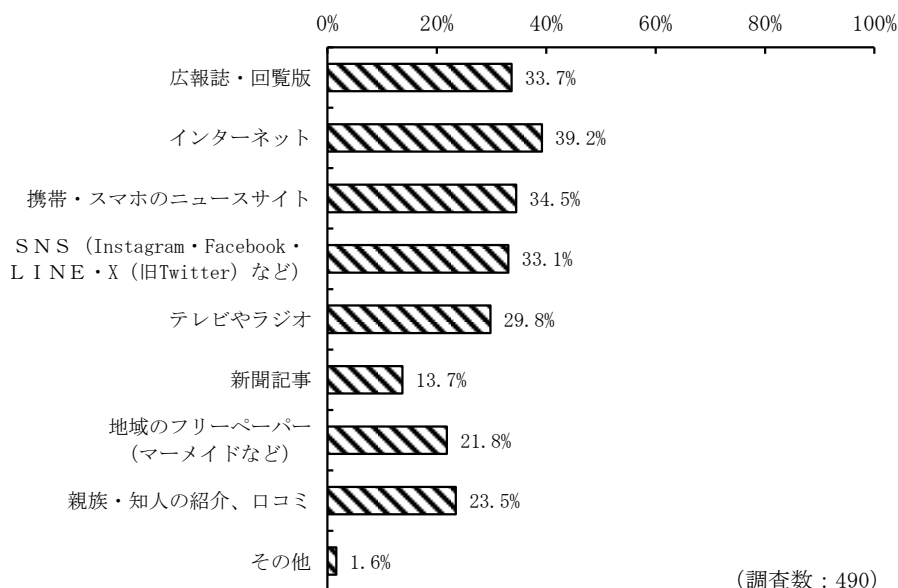
問 23 普段、どのように子育て支援に関する情報を得ているか、うかがいます。

(1) 本市の子育て支援に関する情報を得る方法【問 23(1)】



新庄市の子育て支援に関する情報を得る方法では、「広報しんじょう（市の広報紙）または、回覧・市公式ホームページ」が82.2%と最も多く、次いで「親族・知人の紹介、口コミ」（46.7%）、「通所施設（保育所、幼稚園等）からののお知らせ」（32.0%）となっている。

(2) 本市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法【問 23(2)】

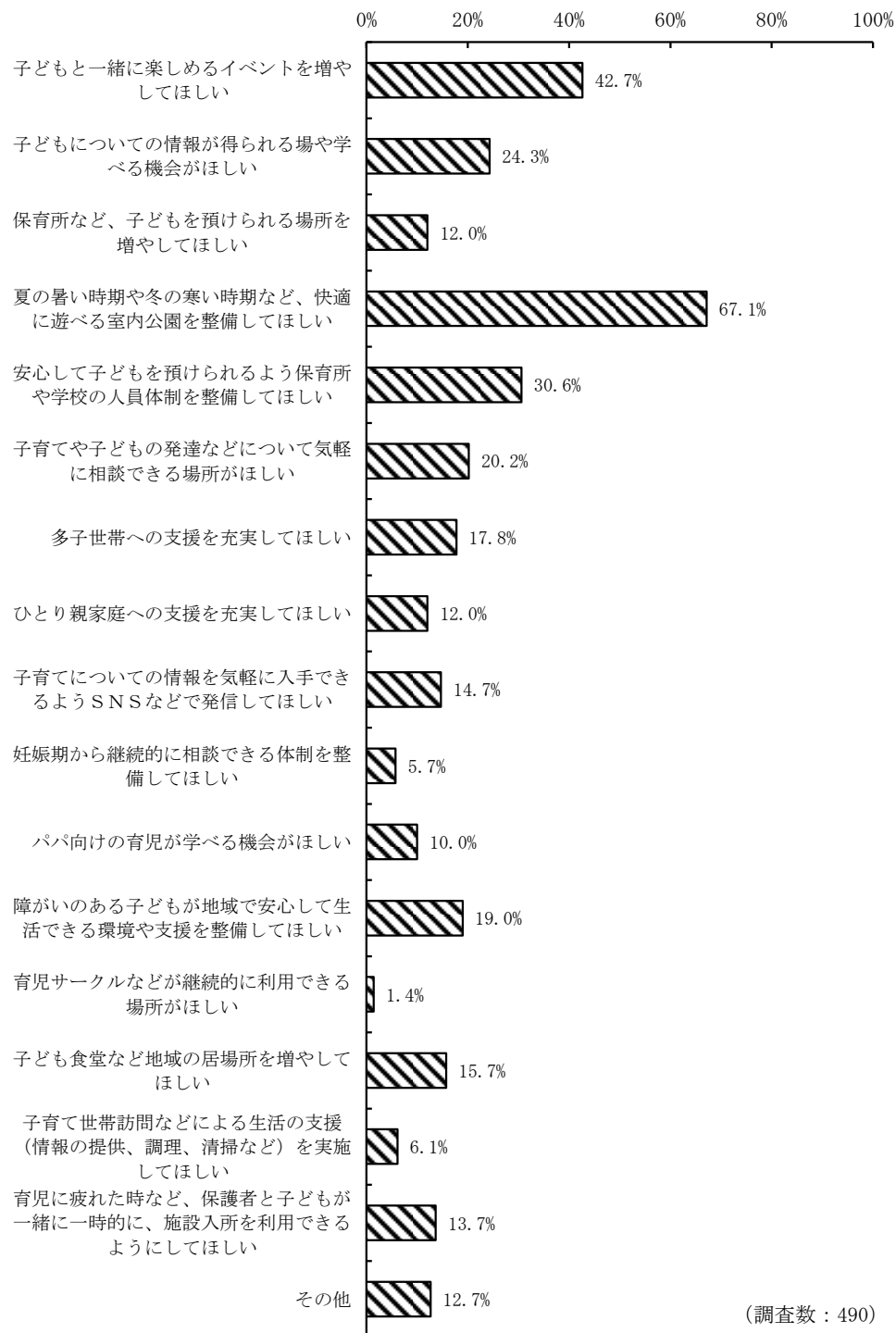


新庄市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法では、「インターネット」が39.2%と最も多く、次いで「携帯・スマホのニュースサイト」（34.5%）、「広報誌・回覧版」（33.7%）、「SNS（Instagram・Facebook・LINE・X（旧Twitter）など）」（33.1%）となっている。

9. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 充実を図ってほしい子育て支援【問 24】

問 24 本市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

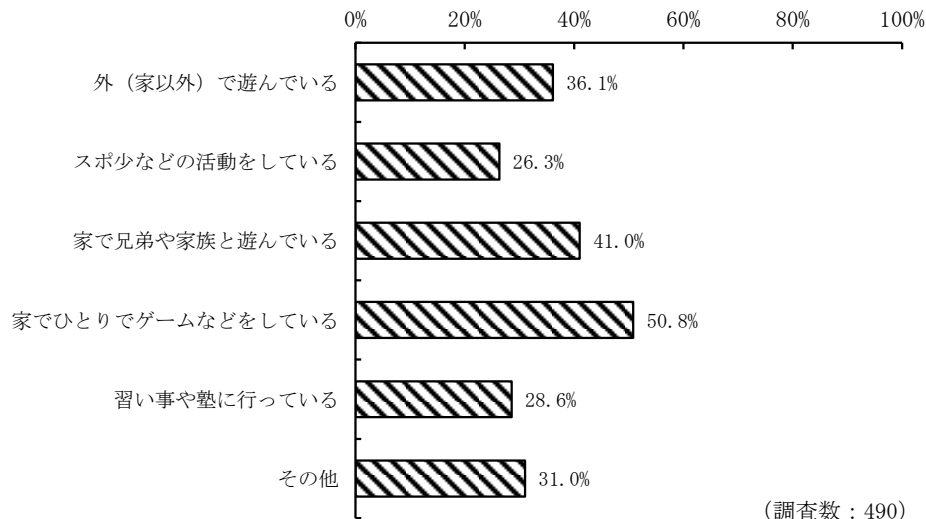


新庄市に充実を図ってほしい子育て支援では、「夏の日暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる室内公園を整備してほしい」が 67.1%と最も多く、次いで「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」(42.7%)、「安心して子どもを預けられるよう保育所や学校の人員体制を整備してほしい」(30.6%)となっている。

10. 宛名のお子さんご本人への設問

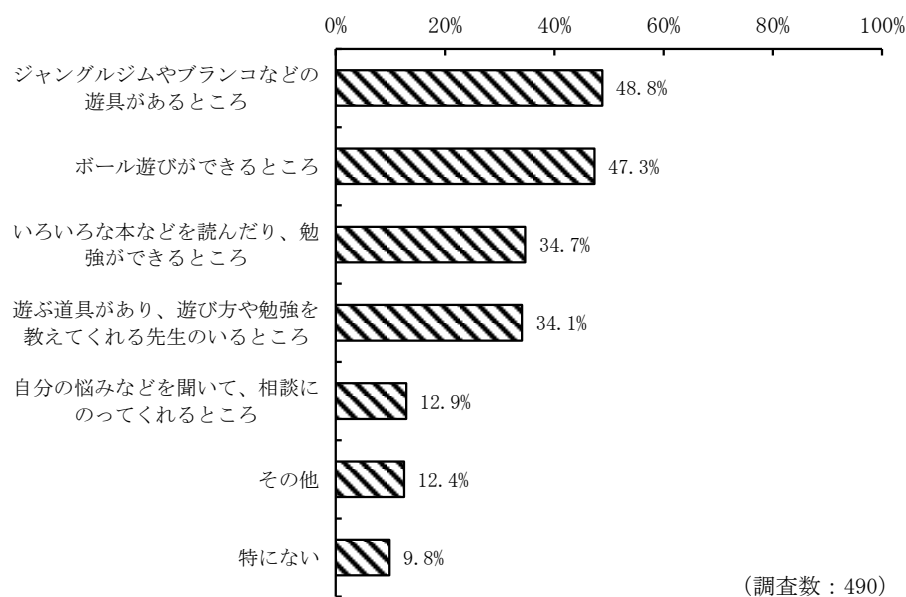
問 25 問 25（１）～（４）については、宛名のお子さんへ、将来の夢などについてうかがいます。
宛名のお子さんが、直接アンケートにお答えください。
（お子さんが低学年の場合や、質問が分かりにくい場合は、保護者の方が質問文の説明など、
回答の補助をおこなってください。）

（１）放課後の過ごし方【問 25(1)】



放課後の過ごし方では、「家でひとりでゲームなどをしている」が 50.8%と最も多く、次いで「家で兄弟や家族と遊んでいる」（41.0%）、「外（家以外）で遊んでいる」（36.1%）となっている。

（２）家の近くにあったらよいと思うところ【問 25(2)】



家の近くにあったらよいと思うところでは、「ジャングルジムやブランコなどの遊具があるところ」が 48.8%と最も多く、次いで「ボール遊びができるところ」（47.3%）、「いろいろな本などを読んだり、勉強ができるところ」（34.7%）、「遊ぶ道具があり、遊び方や勉強を教えてくれる先生のいるところ」（34.1%）となっている。

（３）将来の夢【問 25(3)】

将来の夢をたずねたところ、444 件の意見が寄せられた。以下は一部抜粋したものである。

将来の夢	件数	将来の夢	件数
サッカー選手	21	建築士	4
警察官	12	社長	4
看護師	11	消防士	4
パティシエ	10	料理人	4
バスケット選手	9	アイスクリーム屋さん	3
美容師	9	ファッションデザイナー	3
Y o u T u b e r	8	プロゲーマー	3
スポーツ選手	8	絵を描く人	3
ケーキ屋さん	7	新幹線の運転士	3
医者	7	花屋	3
学校の先生	7	保育園の先生	3
大工	7	幼稚園の先生	3
野球選手	7	N B A のプロバスケットボール選手	2
イラストレーター	6	お金持ち	2
農家	6	ダンサー	2
保育士	6	メジャーリーガー	2
パン屋	5	歌手	2
獣医	5	画家	2
ゲームクリエイター	4	自衛隊	2
デザイナー	4	小学校の先生	2
ネイリスト	4	薬剤師	2
ペットショップ店員	4	有名人	2

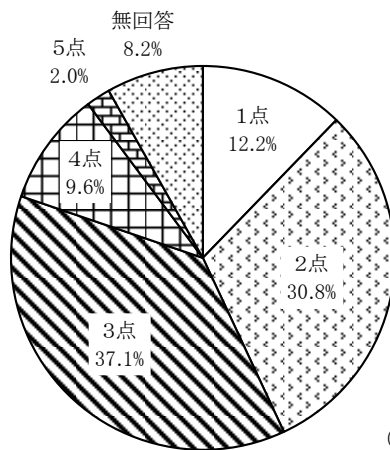
（４）新庄市の好きなところ（もの）・気に入っているところ（もの）【問 25(4)】

新庄市の好きなところ（もの）・気に入っているところ（もの）をたずねたところ、439 件の意見が寄せられた。「新庄まつり」が 136 件、「新庄まつり／雪まつり」が 22 件、「雪まつり」、「人が優しいところ」が 10 件、「祭り」、「自然が豊か」が 9 件、「最上公園」、「新庄まつり／公園」、「新庄まつり／最上公園」が 3 件などである。

11. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 26】

問 26 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



(調査数：490)

新庄市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が37.1%と最も多くなっている。

また、「4点」(9.6%)と「5点」(2.0%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は11.6%となっている。

一方、「1点」(12.2%)と「2点」(30.8%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は43.0%と4割を超えている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを

取り巻く環境に関する意見【問 27】

問 27 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関して 415 件の意見が寄せられ、「遊び場」、「手当て・補助金」、「学校」に関する記述が多くなっている。

大分類	小分類	件数	構成比
1. 保育サービス	①保育所	5	1.2%
	②幼稚園・こども園	1	0.2%
	③保育料	2	0.5%
	④一時保育・休日保育	12	2.9%
	⑤学童保育	16	3.9%
	⑥病児保育	4	1.0%
	⑦障がい児保育	3	0.7%
	⑧教育	36	8.7%
	⑨その他	15	3.6%
2. 子育て支援	①子育て支援センター	3	0.7%
	②イベント	7	1.7%
	③手当て・補助金	43	10.4%
	④給食費	12	2.9%
	⑤教育費	9	2.2%
	⑥情報提供	10	2.4%
	⑦相談	15	3.6%
	⑧その他	42	10.1%
3. 医療	①医療費	11	2.7%
	②医療機関	13	3.1%
	③健診	4	1.0%
	④その他	4	1.0%
4. 環境	①遊び場	61	14.7%
	②公共施設	15	3.6%
	③商業施設	6	1.4%
	④交通	10	2.4%
	⑤その他	9	2.2%
5. その他		47	11.3%
合 計		415	

【１．保育サービス ①保育所】

- ◆保育園に通っている頃、希望した近くの保育園に入れず、少し遠い保育園になってしまい送迎が大変だった。受け入れ人数が限られているため、仕方がないと思うのだが、利用しやすいように保育園の環境や保育士の配置など考えてもらえれば、これから子育てする人にとっていいのではないかと思う。

- ◆不審者対応などで男性の保育士が増えると安心できる。

ほか３件

【１．保育サービス ②幼稚園・こども園】

- ◆保育所、幼稚園、こども園、小学校は親が働いていないと育休中などでも預かり保育ができない。理由があれば延長預かり保育があるこども園だったが、給食が出ずお弁当だった。なぜ自分だけがお弁当で、みんなと一緒に食べられないのかと子供に泣かれた。有料でもいいので同じ食事ではダメなのか。

【１．保育サービス ③保育料】

- ◆保育料が高すぎて、何のために仕事に行っているのかわからない時期もあった。所得に応じての金額設定だったり、２人目以降の条件に当てはまる人とそうでない人の格差も大きく、経済的な不安から２人目を断念した。

ほか１件

【１．保育サービス ④一時保育・休日保育】

- ◆自分の具合が悪くなった時に子供を預けられる場所が欲しい。入院するほど具合が悪いのに、子供を預けられないという事で、自宅で療育した時がありとても苦しかった。放課後デイサービスなどで、学校が終わってから浣腸をしてお風呂に入れてくれるサービスをしてほしい。毎日とは言わないので、週に何日かで良いので、そんなサービスが欲しい。

- ◆日曜・祝日の一時預かりが増えるとよい。ファミリーサポートセンターにはとてもお世話になっていて助けているが、やはり気軽に使える料金ではないため。

- ◆ファミサポなども利用しているが、金額的に高額だ。夫婦で働いているのでどうしても年末年始やお盆などに利用する機会がある。学童やファミサポの支援体制について、ぜひ検討いただきたい。

ほか９件

【１．保育サービス ⑤学童保育】

- ◆学童の定員を増やしてほしい。６年生まで申し込めても、実際は定員オーバーで４年生以上は入れない。

- ◆子供が多くいても、学童などで所得制限があるのは納得いかない。

- ◆学童利用の拡充や長期休みへの対応。普段の体調不良等で有休休暇を使い切った場合に預け先がないと、職場に頭を下げて無給で長期休みを取らなければならない。民間学童は断られてしまった。

- ◆学校の長期休み中の学童への弁当準備は負担だ。欲を言えば、弁当の宅配等のような他の選択肢があれば嬉しい。

ほか１２件

【１．保育サービス ⑥病児保育】

- ◆病児保育の充実をお願いしたい。

ほか３件

【１．保育サービス ⑦障がい児保育】

- ◆障がい児を育てながらフルタイムで働いているが、放課後の過ごし方について、学童は１８時３０分までお迎えだが、放課後デイサービスは１８時までお迎えに行かなければならない。帰宅後は家事と子育ての全てを行わなければならない、冬は除雪もあり、体調を崩してしまうこともあるため、子育てや家事の手助けをしてくれるサービスがあればと思う。

- ◆発達障害を持つ子が月１～２回程度でなく、週２～３日以上通えるような療育を受けられる施設や事業所をつくってほしい。

ほか１件

【1. 保育サービス ⑧教育】

- ◆少子化の今、将来急激な回復も見込めないなら、いっそ学校数を減らし、一つの学級に先生を2人配置し、多くの子どもに先生の手と目をかけてもらえる機会を増やしてほしい。先生の数が増えれば先生の負担も減り、時間に余裕が持てれば生徒にも目が行き、勉強や生活で困難を抱える子が減るのではないだろうか。また、学園で学んでいるが、5年生からの制服と指定靴（小学生のうち）廃止を願う。成長期でもあるし、壊したり汚したりすることが多く、経済負担が大きい。成長のことも家庭事情も個人差はあるが、どちらも感じている人は多いと思う。
- ◆漢検や英検等、学校によって校内で受けられる所とそうではない所があるので、統一してほしい。もしくは、他校でも日程が合えば受けられたらいいと思う。
- ◆小学校に子供を送って行って学校に入りたがらない日に、先生がうちの車まで歩いてきて、学校に行ってみるようになって連れて行ってもらって大変助かった。友達関係で悩んで教室に行けなくて、保健室にまっすぐ行っている子供にも勉強を教えていただいて、とても助かっている。
- ◆子供の数に対して先生数が足りない。理想は少人数学級では。
- ◆特別支援学校に通っているが、担任の異動・休職・不在が多すぎて困惑している。支援が必要なのに、十分に支援を受けられる環境が整っていないのは非常に残念だ。教員不足もあると思うが、そういう場合にバックアップしてくれる体制を構築してほしい。
- ◆年々子供の数が減り、小学校ではどの学年も複式となっている。今後どうなっていくのだろうか。小規模の良さもあるが、学友が少ないというのともかわいそうだなと思う。
- ◆学校で使用するものについて。物価高により、子供のしたいこともさせてあげられない。学校で必ず使用するものはお金がかからない市もあると聞いている。制服もなぜ5年生からなのだろうか。絶対に一回は買い替えなければならず、親の負担が増えるだけである。最悪、5年生からの制服はいいが、無料になったり、補助があったりしてほしい。自分はもう手遅れだが。

ほか29件

【1. 保育サービス ⑨その他】

- ◆子供が3人いるが、1人は重症児である。他の兄弟の行事等で、その兄弟の預け先などで苦労してきた。市内もしくは郡内で入所できる施設の充実を願う。
- ◆ふるさとの食材を取り入れた美味しい給食を提供していくことで、子供たちの心に新庄の味がしっかりと残っていくことと思う。それが新庄を愛することに繋がっていくことだろう。
- ◆長男と次男が学校に行けない時期が続いたとき、フリースクールがあればいいなと思った。

ほか12件

【2. 子育て支援 ①子育て支援センター】

- ◆こらっせについて、おむつを替える場所まで行くのに、赤ちゃんを抱っこしながら靴を履くのが大変なので、テーブルスペースとの間の壁に入り口を設けた方がいいと思う。

ほか2件

【2. 子育て支援 ②イベント】

- ◆祖父母教室とかあってもいいと思う。
- ◆祭りやイベント等が増えていて、子どもが楽しく参加できているので、これからも続けてもらいたい。
- ◆親にも一人の場所を与えたり、小さい子だけでなく、新庄市民のイベントやリサイクル支援をもっと広げてほしい。おさがりでもいいので、学校の物を中心に、制服も自転車も支援してほしい。

ほか4件

【2. 子育て支援 ③手当て・補助金】

- ◆物価高騰でとにかくお金がかかる。ひとり親支援や非課税世帯への支援ばかりでなく、日々頑張っている一般の子育て世帯へも支援があるといいと思う。
- ◆今年度はインフルエンザの補助金があったり、高校生の医療負担がなしになったりと助かった。
- ◆低所得や非課税の世帯だけでなく、子育て世帯への支援を充実させてほしい。
- ◆医療費無料を高校生まで拡大、給食費半額・無償化は大変ありがたく助かっている。加えて、所得に関わらず、制服や体育着、部活用品購入への補助などの中学・高校生への支援、放課後等デイサービスを利用していない障がい児が有償の輸送サービスを利用した際の料金への補助が少しでもあれば助かると思う。年少扶養控除の有無等があるが、幼児教育無償化で宛名の子供が幼稚園児の頃よりは支援が手厚い気がするので、今度は中学・高校

生がいる家庭への支援を考えていただければと思う。

◆第1子も第2子、第3子と同じように平等に、各種費用の免除対象にしてほしい。

◆学費などの免除はあるが、一度支払いをしてから、まとめて戻ってくるという制度になっていると思う。多子世帯からすると、毎月の収入からの生活費にお金がかかり、毎月の支払いも大変だ。一度払わなくてはならない制度ではなく、最初から免除にしてくれる制度だとすごく助かる。

ほか37件

【2. 子育て支援 ④給食費】

◆小・中学校の給食費の無償化をお願いしたい。制服購入時に補助があるとありがたい。

◆幼稚園、小・中学校の給食費を無償化してほしい。多子世帯だけでなく子供がいる全世帯を対象とした金銭的支援をしてほしい。妊婦検診の補助金の充実をしてほしい。

ほか10件

【2. 子育て支援 ⑤教育費】

◆高校の授業料無償化

◆部活動やスポ少などの遠方への練習や試合の為に、市のスクールバスの貸出等を前向きに検討していただきたい。

ほか7件

【2. 子育て支援 ⑥情報提供】

◆教育に関して保護者間でも差があるので、親同士のコミュニケーションを取る場や情報が大切だと思う。子育ての情報をもっと発信してほしいと思う。障がい児への支援や取り組みの情報をもっと発信すべきだと思う。

◆市外から転居してきたため、アパートの家賃に自治会費も含まれているはずだが、年度によって市報が届かない年が多い。また、回覧板が回ってこないの、子供が小学校に入るまで廃品回収なども知らなかった。なので、幼稚園や小学校から持ってきたチラシなどで自分で調べて行事等を探したりしなければならない。

ほか8件

【2. 子育て支援 ⑦相談】

◆相談窓口はあるのだと思うが、もっと気軽に相談できたり、親同士が話すことができる場所が多くあればいいと感じる。

◆発達障害やグレーゾーンで周りの理解も得られにくい為、本人の学校での付き合いや、家での親・祖父・母でのぶつかり合いなどで心が苦しいが、どこへ相談できるのかわからない。このように困っている人は自分以外にもいるだろう。

◆子供が生まれたばかりの頃は精神的にも不安定な事もあり、気軽に悩みが共有できる場があるといいと思う。子供の成長に伴い、悩みは変化していくので、各年代に応じた幅広い支援をしていただきたいのはもちろんだが、悩みを話せない人もいるので、その様な人にも手を差し伸べてくれる気持ちの支援が一番有難いと思う。

◆発達障害等について相談する所がない。先生でなくても専門性のある方に、気軽に相談できる場や機会が設定されていると助かる。

ほか11件

【2. 子育て支援 ⑧その他】

◆他市の方々と情報交換をする機会があり、保育環境や障がい児支援等の内容があがった際に感じたことは、新庄市の支援状況や他施設との連携、サポートが手厚く、児童一人ひとりの発達面において、寄り添いの支援をいただいているということだ。障がいのある子を持つ保護者の方にとっては心強くもあり、有難い環境であると感じた。

◆これから出産をして働く人たちが、安心して生活できる環境ができればいいと思う。

◆子供一人ひとりに対しての支援をしてほしい。この子は2番目、3番目とかではなく1人を中心として考え、障害があればそれに対する個人的な支援をプラスで行ってあげればいいと思う。

◆産後うつ予防のための取り組み、ワンオペ育児による精神面へのケアなど、若い世代への子育てサポートの充実。

◆他の県で子育てをしたことがある経験から、新庄は祖父母が見て当たり前だったり、乳児期の子育てサポートや検診が少なく、子どもに対して親が知識や意識を持てる機会が少ないように思う。小さい時、始めを手厚くすればその先の教育に大きく繋がっていく。がちがちに親が教育に一生懸命になりすぎるのではなく、うまく息

抜きもできる等のケアも含めて。他所から来た人にとっては本当にどうしていいかわからないことが多すぎると思う。地元色が強くてなかなか打ち解けるのが難しいと思う。自然が多かったり、祭りで小さい頃から山車を作って参加できたり、地元のいいところや強みはたくさん使って、もっと窓口が大きくなったらいいと思う。

- ◆宿泊型の産後ケアを始めてほしい。デイケアでの利用もあるが、委託される助産師の人数が少ないため、利用の拡大には難しい状況だと思う。子育てに疲弊している母親が、休息し、また育児ができるように産後ケアの利用拡大、充実に取り組んでもらいたい。

ほか 36 件

【3. 医療 ①医療費】

- ◆インフルエンザ予防接種の助成はとても助かる。
- ◆高校生の医療費無償化は大変ありがたい。

ほか 9 件

【3. 医療 ②医療機関】

- ◆フルタイムで仕事をしていると、子供の体調不良時になかなか受診できない。医師や病院が増えたり、遅くに受診可能であればいいと思う。また、専門医を増やしてほしい。最上地域にも上山のような療養センターがあればいいと思う。
- ◆小児科のある病院など選べる候補が少なく、どうしても集中してしまうため、もう少し整っていればいいと思う。
- ◆病院を新しくするにあたって、上山のこども医療療育センターのような所も考えてほしかった。
- ◆発達障害等の医療機関がない。

ほか 9 件

【3. 医療 ③健診】

- ◆乳幼児の健診回数などが、管内に比べて少ない。

ほか 3 件

【3. 医療 ④その他】

- ◆就学児検診の際に知的の検査で再検査をしたが、担当の方が大変丁寧に説明や対応をしてくださり、子供も安心して検査できた。その後の結果の際も同様に丁寧な対応をしてくださり、お陰様でスムーズに就学を迎える事ができた。

ほか 3 件

【4. 環境 ①遊び場】

- ◆幼児が遊ぶ施設はあるが、小学生などが冬でも体を動かして遊べる施設があれば良いと思う。
- ◆わらすこ広場をよく利用しているが、小学3年生までの利用となっており、それ以降の学年が遊べる場所が少ないと感じる。
- ◆わらすこもとても素敵な場所だが、小学生高学年以上の子供たちや、低学年でももっと体を動かして遊びたい子供たちのためにも、冬でも気軽に遊べる室内公園や体育館があるといいと長年思っている。大雪を活かして環境にも優しい設備があったらいい。ジム以外に、気軽に行ける屋内プールが市内にあったら嬉しい。
- ◆天気が悪いときや暑い夏、外で遊べない日に屋内で過ごせる施設が新庄にあると思う。子供が小さいときに、わらすこ広場にはとてもお世話になった。楽しかった思い出もいくつもある。コロナで利用が減ってしまったが、うちは来年で3年生なのでわらすこ広場卒業になる。子供がのびのびと遊べる、学べる屋内施設を県内で何度も利用しているが、こんな場所が年齢制限関係なく新庄にもあればいいと思った。
- ◆環境や設備が整った子供の遊び場が少ないと感じる。公園があっても、子供だけでも行ける距離ではなく、学校から帰ってきて家でゲームなどして過ごすことが多く、外で体を動かして遊んでほしいと思っても、遊ぶ場が近距離にない。同様に、小・中・高校生くらいの子供が健全に遊べる場がない。
- ◆新庄市は子供の遊べる場所が少なく、現在ある施設も規模が小さく、他の市にある施設に出向くことが多い。結果的に買い物等も他市で行うことが多くなるため、新庄市への経済効果が少なくなっていると思う。
- ◆子供達が年齢問わず、のびのびと遊べる公園や施設が充実してくれたらいいと思う。
- ◆室内公園は、車で行って、一日中遊べる場所だと嬉しい。わらすこ広場は駐車場に限られているし、狭いため子供同士の事故も気になり、アクセスしづらい。道の駅に併設する形で、いろんな体験ができる複合施設があれば素晴らしいと思う。

ほか 53 件

【4. 環境 ②公共施設】

- ◆スポーツ環境が整っておらず、力を伸ばせない。遠くに行く必要があり、時間とお金がかかる。
- ◆スポ少や子供会、個人でもだが、宿泊や運動ができる施設がなく、他地区を使用している。体育館を使いたくても、東山もわくわく新庄もほぼ埋まっており、諦めたり、他地区に行くことになる。新庄市で活動できる場所が増えれば子供達の新庄離れもなくなるし、逆に他地区からの往来も増え活気につながるのではないだろうか。宿泊、調理、室内運動ができる施設が欲しい。
- ◆もっと子供がスポーツ、学習、音楽などの様々なことを学べる場がほしい。スイミング、スケート場、室内ランニング施設など。
- ◆新庄の市立図書館が狭い。せっかく素晴らしい蔵書があるのに、車が停められないせいで何回か帰ったことがある。子供達は本が大好きなので、もっと行きたいのだが、何とかならないだろうか。

ほか 11 件

【4. 環境 ③商業施設】

- ◆文房具屋等を増やしてほしい。トイレの場所を増やしてほしい。子連れできる所を増やしてほしい。
- ◆子供服を売っている店や、子供が喜ぶような店が少ない。子供達の喜ぶ場所や、小中学生が興味を持てる場所が、新庄にあったらよかった。

ほか 4 件

【4. 環境 ④交通】

- ◆送迎ができないと使用できない施設やスポーツクラブなどは、親が共働きだと難しいことが多い。公共のバスなども市内は巡回していても、市内から少し離れると利用できず、不公平に感じる。
- ◆安全に登下校できるように、歩道や雪問題をどうにかしてほしい。
- ◆スクールバスが年間通して走っていないのは不便だ。学校に通わせるのに、まずどうやって通えるかを心配しないとイケない。学校や各種機関が、送り迎えをしてくれる祖父母がいる前提になっているような気がする。新庄市にある、私立を含めた小学校から高校までの通学交通の充実を図ってほしい。

ほか 7 件

【4. 環境 ⑤その他】

- ◆子供たちが親、家族だけでなく、赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃん世代まで、幅広くたくさんの方とふれあい、交流できるような場所を作ってほしい。時代だからといってパソコンやスマホ、ゲームなどにしがみつくと時間が多くなり、いろいろな方と対面で接したり話をしたりする機会が減るのは寂しいし、コミュニケーションを取るのにもいろいろな問題が出てくると思う。
- ◆市に対しては子供の医療費も無料だし、我が家で利用してきた保育園にも不満はない。ただ、企業においては育休をとっている父母は少ないのではないだろうか。もっと育休を取りやすくするよう、企業への介入を希望する。

ほか 7 件

【5. その他】

- ◆スポ少は知人からの紹介での入会が多い気がする。繋がりがなくても、どのようなスポ少があり、活動内容も分かるものがあれば良いと思う。
- ◆子供目線では、新庄にいいところはないように見えるだろうが、地域の人も優しく、危ない場所も少なく子育てしやすい場所だと思う。もっともっと生活しやすい場所になることを願う。
- ◆発達障害の子供が増加している中で、教員や保護者などの理解が低く、子供の特性を活かせていない。非常に悔しく思う。専門の先生がいるか、もう少し理解があれば、もっと伸びるのではないかとつくづく思う。現在、新庄市で行っているフリースクールも、全く活かせる様な物ではなく、がっかりした。
- ◆新庄の男性は育児に関心がないと思うことが多い。若連は頑張るのに、子育ては丸投げする文化はそろそろ改めるべきだと思う。今のお父さん世代は少しは良くなってきたと思うが、上の世代から変わらないと意味がない。アンケートなどで、本音を調査して意識改革をしてみてもうどうだろうか。また、子育てハンドブックは全戸配布できないのだろうか。関係ない人でもこんな取り組みをしているんだということを知ってもらえれば、子育てや孫育てのサポートのヒントになるのではと思う。

- ◆生活水準レベルがずっと高くなってきており、仕事をしながら子育てをするのはとてもハードルが高い。物価高などもあるため、さらに仕事を増やしたり、切り詰めたりなどもできるが、それにも限度がある。結婚や出産、子育ても多様化してきているので、子供が豊かに健康に過ごしてゆけるようなシステムを、実際に子を持つ親の意見を反映させながらつくってほしい。
- ◆仕事と家庭の両立が大切なので、様々な支援と産業振興を両立してもらいたい。

ほか 41 件

Ⅲ ニーズ量の推計

Ⅲ－１ ニーズ量の推計

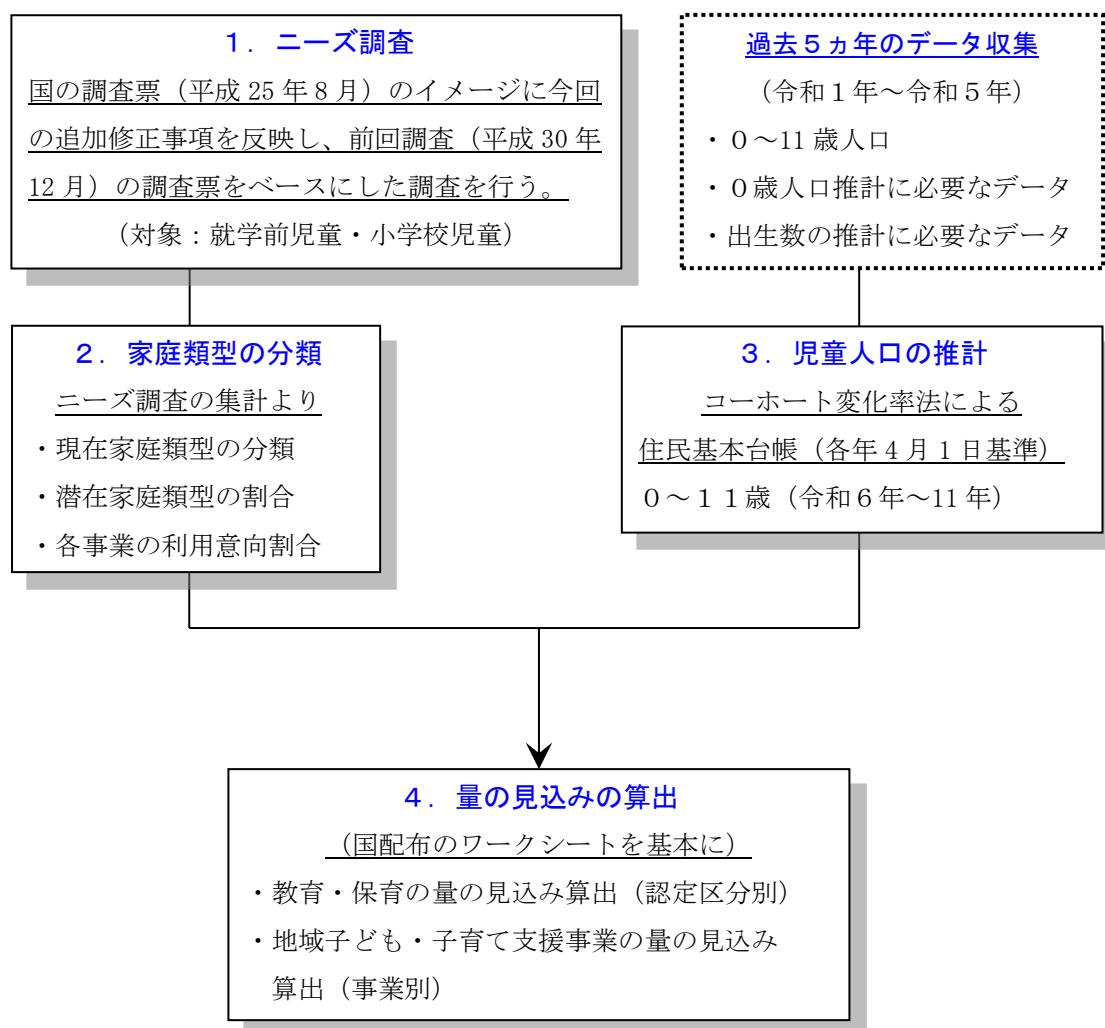
子育て家庭の教育・保育事業や子育て支援事業に対する潜在的なニーズを探るため、アンケート調査（ニーズ調査）を実施した。

このニーズ調査結果から、国の『第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方（改定版 ver. 1）令和 6 年 3 月 11 日』に基づき、家庭類型（父親・母親の同居状況や就労状況から家庭の状況を分類したもの）や年齢区分別に「ニーズ量」を算出するものである。

ニーズ量の算出手順は次のとおりである。

- ①現在の家庭類型の算出
- ②潜在的な家庭類型の算出
- ③各事業の利用意向割合
- ④児童人口の推計
- ⑤教育・保育の量の見込み算出（認定区分別）
- ⑥地域子ども・子育て支援事業の量の見込み算出（事業別）

量の見込みの算出フロー



1. 家庭類型の分類

ニーズ調査の集計結果から算出した、「現在の家庭類型」及び「潜在的な家庭類型」は下表のとおりである。

■ 0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	31	8.3%	31	8.3%
タイプB フルタイム×フルタイム	237	63.5%	251	67.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	55	14.7%	51	13.7%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	10	2.7%	8	2.1%
タイプD 専業主婦(夫)	39	10.5%	32	8.6%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	0.3%	0	0.0%
全 体	373	100.0%	373	100.0%

■ 0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	1	2.6%	1	2.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	25	65.8%	29	76.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	5.3%	4	10.5%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	4	10.5%	2	5.3%
タイプD 専業主婦(夫)	6	15.8%	2	5.3%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全 体	38	100.0%	38	100.0%

■ 1歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	8	11.9%	8	11.9%
タイプB フルタイム×フルタイム	41	61.2%	44	65.7%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	7	10.4%	6	9.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2	3.0%	1	1.5%
タイプD 専業主婦(夫)	9	13.4%	8	11.9%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全 体	67	100.0%	67	100.0%

■ 2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	1	2.0%	1	2.0%
タイプB フルタイム×フルタイム	34	68.0%	34	68.0%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	5	10.0%	4	8.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1	2.0%	0	0.0%
タイプD 専業主婦(夫)	8	16.0%	11	22.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	1	2.0%	0	0.0%
全 体	50	100.0%	50	100.0%

■ 3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	21	9.6%	21	9.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	137	62.8%	144	66.1%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	41	18.8%	37	17.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	1.4%	5	2.3%
タイプD 専業主婦(夫)	16	7.3%	11	5.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全 体	218	100.0%	218	100.0%

※就学前調査有効回答489件から 家庭類型無効68件、6歳児48件を除く

2. 児童人口の推計

児童人口は、令和元年から令和5年は減少しており、令和6年以降も減少が見込まれ、今後もこの傾向が続くと考えられる。

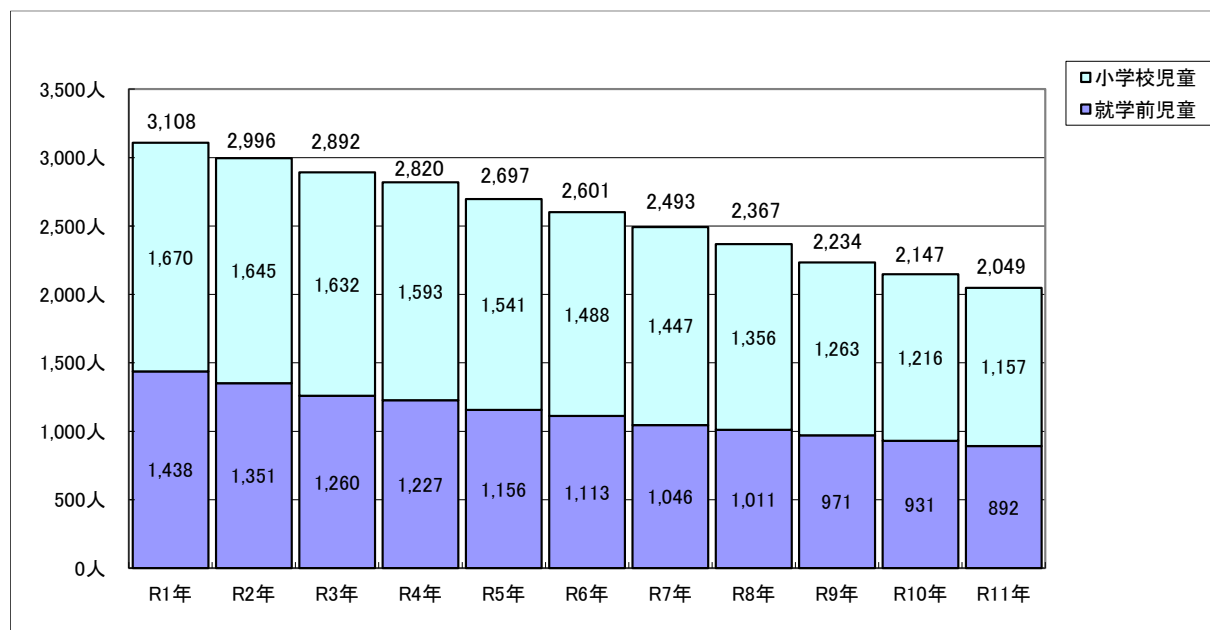
児童年齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	0～5歳合計
推 計 人 口	令和6年	161人	173人	182人	188人	186人	223人	1,113人
	令和7年	151人	164人	176人	183人	186人	186人	1,046人
	令和8年	146人	154人	167人	177人	181人	186人	1,011人
	令和9年	141人	149人	157人	168人	175人	181人	971人
	令和10年	136人	144人	152人	158人	166人	175人	931人
	令和11年	131人	139人	147人	153人	156人	166人	892人

児童年齢		6歳児（小1）	7歳児（小2）	8歳児（小3）	9歳児（小4）	10歳児（小5）	11歳児（小6）	6～11歳合計
推 計 人 口	令和6年	210人	235人	227人	277人	277人	262人	1,488人
	令和7年	224人	209人	234人	226人	279人	275人	1,447人
	令和8年	187人	223人	208人	233人	228人	277人	1,356人
	令和9年	187人	186人	222人	207人	235人	226人	1,263人
	令和10年	182人	186人	185人	221人	209人	233人	1,216人
	令和11年	176人	181人	185人	184人	223人	207人	1,157人

	0歳	1・2歳	3～5歳	0～5歳
令和6年	161人	355人	597人	1,113人
令和7年	151人	340人	555人	1,046人
令和8年	146人	321人	544人	1,011人
令和9年	141人	306人	524人	971人
令和10年	136人	296人	499人	931人
令和11年	131人	286人	475人	892人

	6～8歳	9～11歳	6～11歳
令和6年	672人	816人	1,488人
令和7年	667人	780人	1,447人
令和8年	618人	738人	1,356人
令和9年	595人	668人	1,263人
令和10年	553人	663人	1,216人
令和11年	542人	615人	1,157人

	0～5歳合計 就学前児童	6～11歳合計 小学校児童	合計
R1年	1,438人	1,670人	3,108人
R2年	1,351人	1,645人	2,996人
R3年	1,260人	1,632人	2,892人
R4年	1,227人	1,593人	2,820人
R5年	1,156人	1,541人	2,697人
R6年	1,113人	1,488人	2,601人
R7年	1,046人	1,447人	2,493人
R8年	1,011人	1,356人	2,367人
R9年	971人	1,263人	2,234人
R10年	931人	1,216人	2,147人
R11年	892人	1,157人	2,049人



資料：令和元年～令和5年は住民基本台帳（各年4月1日）

令和6年以降は、コーホート変化率法による推計

3. ニーズ量の推計

ニーズ量（量の見込み）は、家庭類型、各事業の利用意向割合及び児童の推計人口から、令和6年度～令和11年度までの期間について算出したものである。

算出した「教育・保育の量の見込み（認定区分別）」及び「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの（事業別）」は、下表のとおりである。

	対象事業	対象児童年齢	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	教育・保育								
1	1号認定（認定こども園及び幼稚園）	3～5歳	人	33	31	30	29	27	26
2	2号認定（学校教育の利用希望が強い者）	3～5歳	人	9	8	8	8	7	7
	2号認定（認定こども園及び保育所）	3～5歳	人	539	501	491	473	451	429
3	3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳	人	131	123	119	115	111	107
		1歳	人	142	135	126	122	118	114
		2歳	人	131	127	120	113	109	106
	地域子ども・子育て支援事業								
4	時間外保育事業	0～5歳	人	21	20	19	19	18	17
5	放課後児童健全育成事業	1～3年生	人日	416	412	382	368	342	335
		4～6年生	人日	345	329	312	282	280	260
6	子育て短期支援事業（ショートステイ）	0～5歳	人日	0	0	0	0	0	0
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳	人回	1,998	1,901	1,808	1,731	1,673	1,614
8	一時預かり								
	・幼稚園型								
	①1号認定（②以外）による利用	3～5歳	人日	0	0	0	0	0	0
	②2号認定（学校教育の利用希望が強い者）による利用	3～5歳	人日	2,372	2,205	2,161	2,082	1,983	1,888
	・幼稚園型以外	0～5歳	人日	6,299	5,920	5,721	5,495	5,268	5,047
9	病児保育事業	0～5歳	人日	1,642	1,543	1,492	1,433	1,374	1,316
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	1～3年生	人日	0	0	0	0	0	0
		4～6年生	人日	0	0	0	0	0	0

令和5年度
第3期新庄市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査
結果報告書

令和6年3月

発 行 : 新庄市
企画・編集 : 子育て推進課